

**2020年度
法学部 履修の手引き**

法政大学

HOSEI University

2020年度法学部「履修の手引き」

この冊子(以下、手引き)には、法学部で学び、単位を修得し、進級・卒業するために必要な内容が記載されています。毎年、年度初めに手引きを一読し、記載内容を必ず確認してください。また、手引きの記載内容をすべて確認・理解したうえで、単位修得や進級・卒業するために必要な手続きをおこなわなければなりません。不明な点がある場合は、勝手な解釈や判断をせず、法学部窓口で確認してください。

手引きの内容に訂正や変更等が発生した場合には、法政ポータルサイト(Hoppii)内 WEB 掲示板上にお知らせします。法政ポータルサイト(Hoppii)内には、その他にも授業や試験等に関わる重要なお知らせを掲載しますので、必ず確認するようにしてください。

■ 入学年度

大学では、「入学年度」が重要です。「入学年度」が異なると、進級・卒業に必要な条件(単位数・科目など)が異なる場合があります。そのため、本書を利用する場合、自分の「入学年度」を念頭に置いて確認しなければなりません。「入学年度」は、原則として、学生証番号の頭2桁で判断できます。

※「編入学・転部・転科・転籍・継続学士入学」で入学した場合、入学年度が頭2桁の数字とは異なる場合があるため、必ず法学部窓口で「入学年度」を確認してください。

■ 法政ポータルサイト Hoppii (Hosei portal to pick up information)

大学には履修や成績、シラバスなど、学生が利用する様々なシステムやサイトがあります。それら全てのリンク先をひとまとめにしたポータルサイトが「法政ポータルサイト(Hoppii)」です。今後、授業や成績、大学からの情報を確認したい場合には、まず「Hoppii」(右下 QR コード)にアクセスしてみましょう。

トップページには各種システムやサイトのリンク先が掲載されており、キャンパス毎のお知らせ(災害等による休講等の重要なお知らせも含む)も確認できます。ぜひ、自分のパソコン・スマートフォン等にブックマークしておいてください。なお、パソコンとスマートフォンでは、利用できる機能が異なりますのでご注意ください。



<Hoppii からアクセスできる主なサイト・リンク先>

- 情報システム(履修登録(本登録)するシステム)
- 学習支援システム(2020 年度より「授業支援システム」から名称を変更しました)(仮登録するシステム)
- Web 掲示板
- Web シラバス
- オンデマンドシステム
- 授業改善アンケート
- Web メール(法政大学専用 Gmail)
- 法政大学公式サイト災害時の休講情報等緊急時の連絡

※法政大学公式 twitter でも緊急連絡を通知しています。(https://twitter.com/hosei_pr)

※情報システムと学習支援システムは別のシステムです。学習支援システムで履修登録はできません。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

所定の単位の修得により、以下に示す水準に達した学生に対して「学士（法学）」を授与する。

〔法律学科〕

1. 条文の解釈や判例の読み方といった法技術的な知識を身につけた学生
2. 基礎法学・実定法学の各分野での理論的・実践的な法学教育を通じて、法学の体系的・専門的な知識を身につけた学生
3. 法の内容それ自体に対する批判的な見方を可能にするような多角的観点から分析する能力と柔軟な思考力を修得した学生
4. 身につけた知識と修得した分析能力・思考力を活用して、法的な問題の妥当な解決を図ることができるリーガル・マインドをもつ学生

〔政治学科〕

1. 基礎科目として開講される教養科目の履修により、政治学ないし社会科学の領域を超えた教養と学識を獲得した
2. 専門教育科目の必修科目および選択科目を履修することにより、政治学に係る専門知識を獲得した
3. 口頭報告ないしレポート・論文等によって、研究結果を取りまとめ報告することができる
4. 演習・ワークショップ等の場において積極的に討論するなど、コミュニケーションをはかることができる

〔国際政治学科〕

1. グローバル時代に活躍するのに必要な国際政治学の領域を超えた幅広い教養と学識を獲得している
2. 専門科目を履修することにより、地球規模問題群やアジア地域の諸問題に対する観察力と分析力、さらには積極的に行動する地球市民意識を有している
3. 専門科目の中の実践講座科目等を履修することにより、実践的な英語力を含む語学力と異文化理解力を習得している
4. 必修科目である演習や選択科目である卒業論文、リサーチペーパー等によって、構想力・独創性・主体性・コミュニケーション能力を備えている

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

ディプロマ・ポリシーを実現するために、各学科で独自の教育課程を編成している。

〔法律学科〕

■カリキュラム編成の方針

1. 1・2年生に向けて、基礎となる法律学教育の充実や学問的な視野を広げる科目群を展開し、3・4年生には、各志望に適合的な科目を多数開講するとともに、演習による少人数指導等を通して教育の専門性を深めていくことを目指してカリキュラムを編成する。
2. 系統的な科目履修を可能にすると同時に、科目選択の自由を必要以上に制約しないとの考え方にに基づき、ガイドライン型のコース制を採用し、各コースに沿って履修すれば、系統的で総合的な勉強ができるように編成する。
3. 幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共に市ヶ谷基礎（ILAC）科目をもつて学部教育課程を構成する。

■専門教育科目の構成と特色

1. 1年次は法学入門、法学入門演習などの入門的な科目や憲法・民法・刑法といった基本科目の履修を中心とし、2年次以降にコースの独自性が出てくるように編成する。
2. 6つのガイドライン型コースを提示する。
 - ① 法律専門職や公務員等を目指す学生に適した「裁判と法コース」
 - ② 公務員、マスコミ、教育関係を目指す学生に適した「行政・公共政策と法コース」
 - ③ 公認会計士・司法書士等の専門職や各種企業への就職、企業の法務部担当者等を目指す学生に適した「企業・経営と法コース（商法中心）」
 - ④ 社会保険労務士・労働基準監督官等の専門職や各種企業への就職等を希望する学生に適した「企業・経営と法コース（労働法中心）」
 - ⑤ 国際関係・国際業務などに適した「国際社会と法コース」
 - ⑥ 法哲学・法史学・外国法など法的教養を深めるのに適した「文化・社会と法コース」
3. 3・4年次には、1・2年次までの基本的な科目の履修を踏まえて、選択したコースに即して科目を履修するとともに、多角的観点から分析する能力と柔軟な思考力を一層修練する場として少人数のゼミナール（演習）を履修させる。

〔政治学科〕

1. 政治学の対象はあらゆる社会領域に及ぶまでに範囲が広く、必ずしも初等中等教育において十分な準備を経て入学する学生ばかりではない。そこで初年次必修科目として所属教員のリレーによる「政治学の基礎概念」を配し、政治学諸領域の導入を図る。
2. 政治学の対象に係る性質上、その学習および研究には幅広い教養に基礎を置くことが欠かせない。そこで、幅広い教養科目を市ヶ谷基礎（ILAC）科目として配する。
3. 非常に多岐にわたる政治学の専門領域はさまざまに分類することができる。本政治学科においては、「理論・歴史・思想」と「政策・都市・行政」の科目群に大別し、学生の関心に応じて効果的かつ効率的に学識が得られるように科目を配置する。
4. 学生の知的好奇心を尊重しつつ現代社会のさまざまに変化する要請に応え得る人材を育成するために、多彩な科目を配置し、なるべく自由に選択できるように必修科目および学年による履修制限を最小限に抑える。

〔国際政治学科〕

1. 国際政治学の対象は範囲が広く、必ずしも初等中等教育において十分な準備を経て入学する学生ばかりではない。そこで初年次必修科目として所属教員のリレーによる「国際政治への案内」を配し、国際政治学の諸分野への導入を図る。
2. 国際政治学の対象に係る性質上、その学習および研究には幅広い教養に基礎を置くことが欠かせない。そこで、幅広い教養科目を市ヶ谷基礎（ILAC）科目として配する。
3. 4年間を通じて、実践的な英語力を向上させるために、基礎科目だけでなく、専門科目にも英語力向上を主な目的とした科目を配置する。
4. 多岐にわたる国際政治学の専門領域はさまざまに分類することができる。本国際政治学科においては、「グローバル・ガバナンス」と「アジア国際政治」の2つのコースに大別し、学生の関心に応じて効果的かつ効率的に学識が得られるように科目を配置する。
5. 学生の知的好奇心を尊重しつつ国際社会のさまざまに変化する要請に応えるためにコース別科目や選択科目として多彩な科目を配置するとともに、現実とのダイアログができる人材を育成するために、総合講座科目として、グローバル社会の第一線で活躍する実務家たちによるオムニバス形式の科目も開設する。
6. 国際政治学科のすべての学生が、特定のテーマに焦点を絞って、専門的かつ主体的に学習する機会を持つことができるように、演習を必修科目とする。

大学の学修成果の把握に関する方針（アセスメント・ポリシー）

〔法律学科〕

1. 教養教育段階の少人数教育におけるアクティブラーニング、ディスカッション、レポート作成等を通じて、外国語能力等の幅広い教養のほか、自主的、主体的かつ能動的な学習態度が身についているかを測定する。
2. 基礎法学および実定法学の各分野における専門科目等の学習や研究活動の発表、レポート作成等を通じて、法律学科が求める体系的・専門的な知識・能力が身に付いているかを測定する。
3. 専門教育段階の専門演習等の少人数教育におけるアクティブラーニング、ディスカッション、レポート作成等を通じて、法律学において求められる法技術的な知識と法的思考力、判断力、表現力が身についているかを測定する。
4. 単位の修得状況や成績評価等を用いて、ディプロマ・ポリシーで求める必要な能力が身に付いているかを測定する。

〔政治学科〕

1. 政治学入門演習等、少人数教育の場での討論、報告、レポート作成等を通じて、主体的、自主的、能動的な学修態度や、学科課程で求める思考力、判断力、表現力が身に付いているかを測定する。
2. 授業やゼミ等における学習・研究活動の発表、各種のPBL、課題解決型フィールドワーク、レポート作成、等の教育ならびに研究成果の実績・評価等を用いて、政治学科が求める幅広い教養、専門知識・能力が身に付いているかを測定する。
3. 単位取得状況、成績評価等を用いて、ディプロマ・ポリシーで求める必要な能力が身に付いているかを測定する。

〔国際政治学科〕

1. 科目ごとの成績評価と単位取得状況を通じて、幅広い教養と学識、問題発見力、課題発見力と分析力の学修成果を測定する。
2. TOEIC、TOEFL、TOEFL ITP（2019年度からはELPAの大学生向けプレイスメント・テスト）の成績、科目ごとの成績評価、単位取得状況を通じて、実践的な語学力とコミュニケーション能力の学修成果を測定する。
3. 科目ごとの成績評価と単位取得状況を通じて、グローバル化時代に活躍するために必要な構想力、独創性、主体性、異文化理解力の学修成果を測定する。

目次

履修の手引きについて

法学部におけるディプロマ、カリキュラム、アセスメントポリシーについて

目次

I. スケジュール

1. 2020 年度授業予定表	1
2. 年度開始から(1 年間の流れ)	2

II. 履修

1. 単位制度	3
2. 修業年限及び在学年限	3
3. 進級に関する規程	4
4. 卒業所要単位	4
(各卒業所要単位一覧)	
5. 各学年の履修可能単位数	15
6. 履修登録	17
7. 履修登録上の注意事項	18
8. 履修登録科目確認通知書について	19
9. 登録科目の訂正について	19
9-1. 秋学期科目の登録修正について	20
10. 国際政治学科のコース登録について	20
11. 早期卒業について	21

III. 科目

1. ILAC (アイラック) 科目	
1-1. ILAC 科目 100 番台～300 番台／0 群～5 群の履修について	22
1-2. ILAC 科目 0 群～3 群	37
1-3. 外国語の履修(ILAC 科目 4 群) (法律・政治)	40
1-4. 外国語の履修(ILAC 科目 4 群) (国際政治)	46
1-5. 5 群(体育科目)の履修	48

2. 専門科目

2-1. 法学部専門科目一覧表	49
2-2. 演習科目の履修について	57
2-3. 各学科専門科目履修時の注意事項	61
3. 再履修	71

IV. 授業・試験・成績

1. 授業	72
2. 試験	72
3. 期末試験・期末レポート回収日に欠席した場合について	75
4. 成績	76
5. 進級・卒業および成績発表について	77
6. 進級再試験制度について	78
7. 卒業再試験制度について	79

V. その他

1. 海外留学について	80
2. 英語外部試験と対策講座について	80
3. 公務員講座・法職講座について	80
4. 法政大学法科大学院について	81
5. 法政大学大学院進学について	82
6. 法政大学大学院科目の履修について	82
7. 法学志林について	82
8. 学籍(休学・退学・除籍)	83
9. 学費	84
10. 各種証明書の発行	85

新旧対応表	87
-------	----

※「履修の手引き」市ヶ谷共通項目は、法政ポータルサイト(Hoppii)内に掲載されています。

I. スケジュール

1. 2020年度授業予定表 (変更は法政ポータルサイト「Hoppii」内Web掲示板で確認してください)

2020年4月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		
4月下旬 WEB履修登録						

・4月10日(金)創立記念日は5月1日(金)に振替
 ・4月30日(木)はレクリエーションデーにより休講

2020年5月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	*9
10	11	12	13	14	15	*16
17	18	19	20	21	22	*23
24	25	26	27	28	29	30
31	5月中旬 履修取消					

・5月1日(金)は創立記念日の振替により休講
 ・5/9・16・23(土)5時限目以降補講

2020年6月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	*27
28	29	30				

・6/27(土)5時限目以降補講

2020年7月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	*4
5	6	7	8	9	10	*11
12	13	14	15	16	17	試18
19	試20	試21	試22	試23	24	試25
26	試27	試28	サ29	サ30	サ31	

・7/4・11(土)5時限目以降補講

2020年8月						
日	月	火	水	木	金	土
						サ1
サ2	サ3	サ4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2020年9月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	才11	才12
才13	才14	才15	才16	才17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			
9月上旬 春学期成績発表						
9月下旬 WEB履修変更						

9/12(土)9月卒業学位交付式/秋学期入学式

2020年10月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	*17
18	19	20	21	22	23	*24
25	26	27	28	29	30	*31
10月上旬 履修取消						

・10/17・24・31(土)5時限目以降補講

2020年11月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	*補4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

・11/4(水)1～2時限補講
 ・11/4(水)3時限目以降大学祭準備のため休講予定
 ・11/5(木)～11/8(日)大学祭実施予定

2020年12月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2021年1月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	*補15	16
17	18	補19	補20	試21	試22	試23
試24	試25	試26	試27	試28	試29	試30
31						

・1/15(金)1～2時限補講、大学入学共通テスト準備のため3限以降を休講
 ・1/16(土)は大学入学共通テスト実施のため休講

2021年2月						
日	月	火	水	木	金	土
	試1	試2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

2021年3月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	ス9	ス10	ス11	ス12	ス13
ス14	ス15	ス16	ス17	ス18	ス19	ス20
ス21	ス22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			
3月上旬 秋学期成績/進級卒業発表						

3/24(水)学位授与式

	授業日
*	授業日 (5時限以降補講)
補	補講日
* 補	補講日 (1～2時限補講)
試	定期試験日
サ	サマーセッション
オ	オータムセッション
ス	スプリングセッション

授業時間割	
1時限	8:50-10:30
2時限	10:40-12:20
3時限	13:00-14:40
4時限	15:00-16:40
5時限	16:50-18:30
6時限	18:35-20:15
7時限	20:20-22:00

学年暦



2. 年度開始から(1年間の流れ) (変更は、法政ポータルサイト「Hoppii」内Web掲示板で確認してください)

時期	内容	詳細
4月	資料配布	履修の手引きを配布します。時間割・シラバスはWeb上で確認してください。
	各種ガイダンス	学務部ガイダンス(1年生)、保健体育ガイダンス(1年生・再履修者)などがあります。自分に必要なガイダンスに出席してください。
	春学期授業開始	科目によっては、初回授業開始前や初回授業で事前抽選、事前登録をおこなものがあります。 <u>必ず、学習支援システム内で仮登録(授業自己登録)をしてください。</u>
	Web履修登録	1年間の全ての科目(通年、春学期、秋学期、集中、セッション)を登録してください。 登録エラーがなくなるまで履修登録は完了しません。
5月	Web履修取消	可能な処理は履修取消のみです。科目取り消し後に新規で科目を追加することはできません。
	履修登録手続き完了	履修登録科目確認通知書を出力し、1年間保管してください。
6月		
7月	春学期試験	
8月	追試験	詳細はP75で確認してください
	サマーセッション オータムセッション	
	春学期成績発表	Web上で成績通知書を確認してください。発表される成績は「春学期科目・春学期集中科目・サマーセッション科目・前年度スプリングセッション科目」です。
9月	秋学期授業開始	
	秋学期科目の追加、変更、削除	秋学期授業開始後、指定された期間内に秋学期科目のみ追加・変更・削除を認めます。 科目変更後も必ず履修登録科目確認通知書を出力し、保管してください。
10月		
11月		
12月		
1月	秋学期試験	
2月	追試験	詳細はP75で確認してください
	秋学期成績発表 進級・卒業発表	Web上で成績通知書を確認してください。発表される成績は「秋学期科目・秋学期集中科目・年間科目・オータムセッション科目」です。
3月	再試験	詳細はP78・79で確認してください
	スプリングセッション	

【注意】

履修登録とその確認は学生本人の自己責任です。履修登録確認を怠ったことにより、結果的に本人の意に反して進級や卒業ができないケースが毎年発生しています。Web上で「履修登録科目確認通知書」を必ず確認し、進級・卒業に必要な単位を正確に理解して科目を履修してください。

Web履修登録は、情報システム上でおこないます。学習支援システム上での仮登録(授業自己登録)とは異なりますので、十分注意してください。

Ⅱ．履修

法学部の授業科目はILAC科目(基礎科目)および専門教育科目からなり、これを4か年に配当して授業を実施しています。また、教育職員・図書館司書教諭・博物館学芸員等の資格取得志望者ならびに社会教育主事志望者のためには、教職・資格に関する科目が設置されています。

1年間の授業は約28週で、春・秋学期の2学期に分けられています。学士の学位を得るためには、4か年以上(最長8年)在学し、所定の単位を修得しなければなりません。学士の学位取得に必要な単位数、およびその内容に関する規程はきわめて厳格なものであり、1単位の不足があっても学士の学位は与えられないので、各自、科目の履修にあたってはこの手引きを熟読し、誤りのないよう十分注意してください。

1. 単位制度

(1) 単位制度

本学における教育課程はすべて単位制度を採用しています。なお、各授業科目に対する単位数は次の基準によります。1単位は、1学期間において学生が、ある科目について行う毎週約3時間半の学習活動により修得する教育課程を意味します。この約3時間半は教室授業時間に組み込まれる時間と学生が自主的に行う自習時間からなっていますが、その割合は科目の性質によって異なります。

(2) 単位の修得

単位は、履修を終了した科目についての平素の学習状況、出席状況、および筆記試験またはレポート・論文等による成績評価の結果、合格した場合に与えられます。

2. 修業年限及び在学年限

- (1) 大学の修業年限は4か年です。但し、学生は休学期間を除き、本大学に8か年を超えて在学することはできません。(学則第13条)
- (2) 春学期在学し、秋学期に休学、退学及び除籍になった場合の在学期間は0.5年となります。(学則第13条の2)
- (3) 2年次編入者(通信教育部からの転籍者を含む)は、6か年を超えて在学することはできません。ただし、休学期間を除きます。(学則第13条の3)
- (4) 3年次編入者(通信教育部からの転籍者を含む)は、4か年を超えて在学することはできません。ただし、休学期間を除きます。(学則第13条の3)

※春学期に在学し、秋学期に休学、退学および除籍となった場合、あるいは秋学期に復学および復籍した場合や、春学期に休学し秋学期に在学した場合、当該年度の在学期間は0.5年として計算します。

3. 進級に関する規程

在学年数(年次毎に1年以上)を満たし、必要単位を修得すると、春学期入学生は4月に自動的に進級します。

進級については次の規程によります。厳しく条件付けられているので、各年次とも余裕を持った科目履修を心がけてください。なお、進級に関する修得単位数に教職・資格科目は含みません。

〔進級に関する規程(2012年度以降入学者)〕

- | | |
|-----|--|
| 第1条 | 第1年次から第2年次へ進級する者は、 <u>基礎科目※</u> 、SSI科目、専門教育科目を問わず20単位以上を修得しなければならない。 |
| 第2条 | 第2年次から第3年次に進級する者は、次の単位を修得しなければならない。
(1) <u>基礎科目※</u> 、SSI科目、専門教育科目を問わず、第2年次において年間4単位以上
(2) <u>基礎科目※</u> 、SSI科目、専門教育科目を問わず、第2年次修了までに36単位以上 |
| 第3条 | 第3年次から第4年次に進級する者は、第3年次修了までに次の単位を修得しなければならない。
(1) <u>基礎科目※</u> のうち4群(外国語科目)及び5群(保健体育科目)の卒業所要単位
(2) 前号の単位を含め、 <u>基礎科目※</u> 、SSI科目、専門教育科目を問わず84単位以上 |
| 第4条 | 前条における不足単位数がある場合は、次により第3年次の当該年度末に再試験を受けることができる。
(1) <u>基礎科目※</u> と専門教育科目をあわせて2科目まで(実験・実習・実技・演習科目を除く。) |
| 第5条 | 第4年次においては、4単位以上を修得しなければならない。また、第3年次修了までに卒業所要単位を満たしている場合も同じ扱いとする。 |
| 第6条 | 進級は学年度初め(4月1日付)をもって行う。 |

※ 2017年度以降入学者は、「ILAC科目」として履修します。

4. 卒業所要単位 学科や入学年度により異なりますので注意してください

在学年数(4年以上)を満たし、必要単位を修得すると3月に卒業となります。春学期入学生の9月卒業希望者は、4月末までに申請が必要です。

法学部を卒業して、学士の学位を得るためには、4年以上(最長8年まで)在学し、入学年度に応じて定められた単位を修得しなければなりません。学士の学位取得に必要な単位数およびその内容に関する規程は、きわめて厳格なものであって、単位の不足・履修内容の不備があると学士の学位は与えられません。なお、卒業要件を満たした後での希望留年はできません。

卒業するまでに修得すべき単位は、P5～13で必ず確認してください。

●法律学科生(2017年度以降入学者)●

基礎/専門		必要単位数										
I L A C (ア イ ラ ツ ク) 科 目	1 0 0 番 台	基 盤 科 目	0群		選択					14 単位 以上	22 単位 以上	
			1群		選択必修	4 単位 以上						
			2群		選択必修	4 単位 以上						
			3群		選択必修	4 単位 以上						
			5群		必修	2 単位 (スポーツ総合演習)						
		選択 (上限2単位)										
		外 国 語 科 目	4群	英語	必修	4 単位						8 単位
				諸外国語	必修	4 単位						
	2 0 0 番 台	リ ベ ラ ル ア ー ツ 科 目	0群		選択					6 単位 以上	44 単位 以上	
			1群		選択必修	2 単位 以上						
			2群		選択必修	2 単位 以上						
			3群		選択必修	2 単位 以上						
			4群		選択							
			5群		選択							
		外 国 語 科 目	4群	諸外国語	必修	2 単位				4 単位 以上		10 単位 以上
				英語 または 諸外国語 ※1	選択必修	2 単位 以上						
				英語 諸外国語 共通	選択							
専 門 科 目	選 択 必 修 科 目 ※3	憲法科目		4 単位 以上				32 単位 以上	68 単位 以上	88 単位 以上		
		行政法科目		4 単位 以上								
		民法科目		8 単位 以上								
		商法科目		6 単位 以上								
		民事訴訟法科目		2 単位 以上								
		刑事法科目		4 単位 以上								
		労働法科目※2		2 単位 以上								
		国際関係法科目		2 単位 以上								
	選択科目											
	自由科目		20単位分まで卒業所要単位として算入されます。									
卒業所要単位合計 132 単位 以上												

※1 「英語」または「諸外国語(入学時に選択した言語です。変更はできません。)」のどちらかを選択します。詳細は、P25以降を参照してください。

※2 2018年度以降入学者は「社会法科目」

※3 法曹コースに所属する学生は、選択必修科目を修得した上で、別途定める必修科目を修得する必要があります。詳細はP65で確認してください。

- ・上記一覧表に記載されている単位数をすべて満たしてください。
- ・ILAC科目で多く修得した単位を専門科目の単位として取り扱うことはできません。
- (例)ILAC科目の合計単位数が46単位となった。多く修得した2単位分を専門科目の不足に充てられるか？
⇒充てられません。同様に専門科目で多く修得した単位をILAC科目に充てることもできません。

●法律学科生(2017年度以降入学者・留学生用)●

基礎/専門		必要単位数									
I L A C (ア イ ラ ツ ク) 科 目	1 0 0 番 台	基 盤 科 目	0群		選択			14 単位 以上	22 単位 以上		
			1群		選択必修	4 単位 以上					
			2群		選択必修	4 単位 以上					
			3群		選択必修	4 単位 以上					
			5群	必修	2 単位 (スポーツ総合演習)						
				選択 (上限2単位)							
		4群	日本語	必修	4 単位		8 単位				
			英語または 諸外国語	必修	4 単位						
	2 0 0 番 台	リ ベ ラ ル ア ー ツ 科 目	0群		選択			6 単位 以上	10 単位 以上		
			1群		選択必修	2 単位 以上					
2群			選択必修	2 単位 以上							
3群			選択必修	2 単位 以上							
4群			選択								
5群			選択								
4群		日本語	必修	4 単位		4 単位 以上					
		英語 諸外国語 共通	選択								
専 門 科 目	選択必修科目	憲法科目			4 単位 以上		32 単位 以上	68 単位 以上	88 単位 以上		
		行政法科目			4 単位 以上						
		民法科目			8 単位 以上						
		商法科目			6 単位 以上						
		民事訴訟法科目			2 単位 以上						
		刑事法科目			4 単位 以上						
		労働法科目※1			2 単位 以上						
		国際関係法科目			2 単位 以上						
	選択科目										
	自由科目		20単位分まで卒業所要単位として算入されます。								
卒業所要単位合計 132 単位 以上											

※1 2018年度以降入学者は「社会法科目」

- ・上記一覧表に記載されている単位数をすべて満たしてください。
 - ・ILAC科目で多く修得した単位を専門科目の単位として取り扱うことはできません。
- (例) ILAC科目の合計単位数が46単位となった。多く修得した2単位分を専門科目の不足に充てられるか？
⇒ 充てられません。同様に専門科目で多く修得した単位をILAC科目に充てることもできません。

●政治学科生(2017年度以降入学者)●

基礎/専門				必要単位数							
I L A C (アイ ラ ッ ク) 科 目	1 0 0 番 台	基 盤 科 目	0群		選択			14 単位 以上	22 単位 以上		
			1群		選択必修	4 単位 以上					
			2群		選択必修	4 単位 以上					
			3群		選択必修	4 単位 以上					
			5群		必修	2 単位 (スポーツ総合演習)					
					選択 (上限2単位)						
		外国語科目	4群	英語	必修	4 単位		8 単位			
				諸外国語	必修	4 単位					
	2 0 0 番 台	リ ベ ラ ル ア ー ツ 科 目	0群		選択			6 単位 以上	44 単位 以上		
			1群		選択必修	2 単位 以上					
			2群		選択必修	2 単位 以上					
			3群		選択必修	2 単位 以上					
4群			選択								
5群			選択								
外国語科目		4群	諸外国語		必修	2 単位		4 単位 以上			
			英語 または 諸外国語※		選択必修	2 単位 以上					
			英語 諸外国語 共通		選択						
		専 門 科 目	必修科目		政治学の基礎概念Ⅰ		2 単位			4 単位	88 単位 以上
					政治学の基礎概念Ⅱ		2 単位				
			選択科目							84 単位 以上	
自由科目			※20単位分まで卒業所要単位として算入されます。								
卒業所要単位合計 132 単位 以上											

※「英語」または「諸外国語(入学時に選択した言語です。変更はできません。)」のどちらかを選択します。詳細は、P25以降を参照してください。

- ・上記一覧表に記載されている単位数をすべて満たしてください。
 - ・ILAC科目で多く修得した単位を専門科目の単位として取り扱うことはできません。
- (例)ILAC科目の合計単位数が46単位となった。多く修得した2単位分を専門科目の不足に充てられるか?
⇒充てられません。同様に専門科目で多く修得した単位をILAC科目に充てることもできません。

●政治学科生(2017年度以降入学・留学生用)●

基礎/専門		必要単位数										
I L A C (アイ ラ ッ ク) 科 目	1 0 0 番 台	基 盤 科 目	0群		選択					14 単位 以上	22 単位 以上	
			1群		選択必修	4 単位 以上						
			2群		選択必修	4 単位 以上						
			3群		選択必修	4 単位 以上						
			5群		必修	2 単位 (スポーツ総合演習)						
					選択 (上限2単位)							
		外 国 語 科 目	4群	日本語	必修	4 単位				8 単位		
				英語または 諸外国語	必修	4 単位						
	2 0 0 番 台	リ ベ ラ ル ア ー ツ 科 目	0群		選択					6 単位 以上	10 単位 以上	
			1群		選択必修	2 単位 以上						
2群			選択必修	2 単位 以上								
3群			選択必修	2 単位 以上								
4群			選択									
5群			選択									
外 国 語 科 目		4群	日本語	必修	4 単位				4 単位 以上			
			英語 諸外国語 共通	選択								
専 門 科 目		必修科目		政治学の基礎概念Ⅰ			2 単位				4 単位	88 単位 以上
				政治学の基礎概念Ⅱ			2 単位					
	選択科目									84 単位 以上		
	自由科目		※20単位分まで卒業所要単位として算入されます。									
卒業所要単位合計 132 単位 以上												

・上記一覧表に記載されている単位数をすべて満たしてください。
 ・ILAC科目で多く修得した単位を専門科目の単位として取り扱うことはできません。
 (例)ILAC科目の合計単位数が46単位となった。多く修得した2単位分を専門科目の不足に充てられるか？
 ⇒充てられません。同様に専門科目で多く修得した単位をILAC科目に充てることもできません。

●国際政治学科生(2017年度以降入学者)●

基礎/専門			必要単位数							
I L A C (ア イ ラ ッ ク) 科 目	1 0 0 番 台	基 盤 科 目	0群		選択			14 単位 以上	22 単位 以上	
			1群		選択必修	4 単位 以上				
			2群		選択必修	4 単位 以上				
			3群		選択必修	4 単位 以上				
			5群		必修	2 単位 (スポーツ総合演習)				
					選択 (上限2単位)					
		外 国 語 科 目	4群	英語	必修	4 単位		8 単位		
				諸外国語	必修	4 単位				
	2 0 0 番 台	リ ベ ラ ル ア ー ツ 科 目	0群		選択			6 単位 以上	44 単位 以上	
			1群		選択必修	2 単位 以上				
			2群		選択必修	2 単位 以上				
			3群		選択必修	2 単位 以上				
			4群		選択					
			5群		選択					
		外 国 語 科 目	4群	英語	選択必修	4 単位 以上		6 単位 以上		
				諸外国語	必修	2 単位				
				英語 諸外国語 共通	選択					
	専 門 科 目	必修科目		国際政治への案内		4 単位		24 単位	88 単位 以上	
Hosei Oxford Programme (HOP)				2 単位						
Sustainable Training for English Proficiency (STEP)				2 単位						
演習				16 単位						
選択必修科目		コース共通科目		14 単位 以上		44 単位 以上				
		実践講座科目		10 単位 以上						
		総合講座科目		2 単位 以上						
		コース別科目		18 単位 以上						
選択科目		他コース科目 卒業論文 リサーチペーパー								
		自由科目		※20単位まで卒業所要単位として算入します		0～20 単位				
卒業所要単位合計 132 単位 以上										

- ・上記一覧表に記載されている単位数をすべて満たしてください。
 - ・ILAC科目で多く修得した単位を専門科目の単位として取り扱うことはできません。
- (例)ILAC科目の合計単位数が46単位となった。多く修得した2単位分を専門科目の不足に充てられるか？
⇒充てられません。同様に専門科目で多く修得した単位をILAC科目に充てることもできません。

●法律学科生(2012～2016年度入学者)●

基礎/専門		必要単位数				
基礎科目	0群	選択				0～5群の合計 44 単位 以上
	1群	選択必修	4 単位 以上	1～3群の合計 24 単位 以上	1～5群の合計 36 単位 以上	
	2群	選択必修	4 単位 以上			
	3群	選択必修	4 単位 以上			
	4群	必修	10 単位 以上			
		選択				
	5群	必修	2 単位 以上			
		選択(上限2単位)				
専門科目	選択必修科目	憲法科目	4 単位 以上	32 単位 以上	68 単位 以上	88 単位 以上
		行政法科目	4 単位 以上			
		民法科目	8 単位 以上			
		商法科目	6 単位 以上			
		民事訴訟法科目	2 単位 以上			
		刑事法科目	4 単位 以上			
		労働法科目	2 単位 以上			
		国際関係法科目	2 単位 以上			
	選択科目					
	自由科目	20単位分まで卒業所要単位として算入されます。				
卒業所要単位合計 132 単位 以上						

- ・上記一覧表に記載されている単位数をすべて満たしてください。
 - ・基礎科目で多く修得した単位を専門科目の単位として取り扱うことはできません。
- (例) 基礎科目の合計単位数が46単位となった。多く修得した2単位分を専門科目の不足に充てられるか？
⇒充てられません。同様に専門科目で多く修得した単位を基礎科目に充てることもできません。

基礎科目1～3群について

- ・1～3群で最低限修得すべき単位数(各群4単位)だけでは、「1～3群の合計24単位」を満たすことはできません。1～3群の各群4単位を満たした後は、1～3群の範囲内で合計24単位となるよう自由に履修を組んでください。
- (例) 1群8単位、2群8単位、3群8単位 ←OK 1群16単位、2群4単位、3群4単位 ← OK
1群14単位、2群8単位、3群2単位 ←NG(1～3群の合計が24単位となっているが、3群で最低限修得すべき単位に不足がある)
- ※「0～5群の合計が44単位以上」も上記と同様の考え方です。

●政治学科生(2012～2016年度入学者)●

基礎/専門		必要単位数				
基礎 科 目	0群	選択			0～5群の合計 44 単位 以上	
	1群	選択必修	4 単位 以上	1～3群の合計 24 単位 以上		1～5群の合計 36 単位 以上
	2群	選択必修	4 単位 以上			
	3群	選択必修	4 単位 以上			
	4群	必修	10 単位 以上			
		選択				
	5群	必修	2 単位 以上			
		選択(上限2単位)				
専門 科 目	必修科目	政治学の基礎概念 I	4 単位		88 単位 以上	
	選択科目					
	自由科目	※20単位分まで卒業所要単位(選択科目)として算入されます。				
卒業所要単位合計 132 単位 以上						

・上記一覧表に記載されている単位数をすべて満たしてください。
 ・基礎科目で多く修得した単位を専門科目の単位として取り扱うことはできません。
 (例) 基礎科目の合計単位数が46単位となった。多く修得した2単位分を専門科目の不足に充てられるか？
 ⇒充てられません。同様に専門科目で多く修得した単位を基礎科目に充てることもできません。

基礎科目1～3群について

・1～3群で最低限修得すべき単位数(各群4単位)だけでは、「1～3群の合計24単位」を満たすことはできません。
 1～3群の各群4単位を満たした後は、1～3群の範囲内で合計24単位となるよう自由に履修を組んでください。
 (例) 1群8単位、2群8単位、3群8単位 ←OK 1群16単位、2群4単位、3群4単位 ← OK
 1群14単位、2群8単位、3群2単位 ←NG(1～3群の合計が24単位となっているが、3群で最低限修得すべき単位に不足がある)
 ※「0～5群の合計が44単位以上」も上記と同様の考え方です。

●国際政治学科生(2016年度入学者)●

基礎/専門		必要単位数						
基礎科目	0群	選択					0～5群の合計 44 単位 以上	
	1群	選択必修		4 単位 以上		1～3群の合計 24 単位 以上		40 単位 以上
	2群	選択必修		4 単位 以上				
	3群	選択必修		4 単位 以上				
	4群	英語	必修	4 単位		14 単位 以上		
			選択必修	4 単位 以上				
		諸外国語	必修	6 単位 以上				
			選択					
5群	必修		2 単位 以上		2 単位 以上			
	選択(上限2単位)							
専門科目	必修科目	国際政治への案内		4 単位			24 単位	88 単位 以上
		Hosei Oxford Programme (HOP)		2 単位				
		Sustainable Training for English Proficiency (STEP)		2 単位				
		演習		16 単位				
	選択必修科目	コース共通科目		14 単位 以上			44 単位 以上	
		実践講座科目		10 単位 以上				
		総合講座科目		2 単位 以上				
		コース別科目		18 単位 以上				
	選択科目	他コース科目 卒業論文 リサーチペーパー						
		自由科目		※20単位まで卒業所要単位として算入します			0～20 単位	
卒業所要単位合計 132 単位 以上								

- ・上記一覧表に記載されている単位数をすべて満たしてください。
 - ・基礎科目で多く修得した単位を専門科目の単位として取り扱うことはできません。
- (例) 基礎科目の合計単位数が46単位となった。多く修得した2単位分を専門科目の不足に充てられるか？
⇒充てられません。同様に専門科目で多く修得した単位を基礎科目に充てることもできません。

基礎科目1～3群について

・1～3群で最低限修得すべき単位数(各群4単位)だけでは、「1～3群の合計24単位」を満たすことはできません。1～3群の各群4単位を満たした後は、1～3群の範囲内で合計24単位となるよう自由に履修を組んでください。

(例) 1群8単位、2群8単位、3群8単位 ←OK 1群16単位、2群4単位、3群4単位 ← OK
1群14単位、2群8単位、3群2単位 ←NG(1～3群の合計が24単位となっているが、3群で最低限修得すべき単位に不足がある)

※「0～5群の合計が44単位以上」も上記と同様の考え方です。

●国際政治学科生(2012～2015年度入学者)●

基礎/専門		必要単位数						
基礎 科目	0群	選択				0～5群の合計 44 単位 以上		
	1群	選択必修		4 単位 以上	1～3群の合計 24 単位 以上		40 単位 以上	
	2群	選択必修		4 単位 以上				
	3群	選択必修		4 単位 以上				
	4群	英語	必修	4 単位	14 単位 以上			
			選択必修	4 単位 以上				
		諸外国語	必修	6 単位 以上				
			選択					
5群	必修		2 単位 以上	2 単位 以上				
	選択(上限2単位)							
専門 科目	必修科目	国際政治学の基礎概念Ⅰ		4 単位	26 単位	88 単位 以上		
		国際政治学の基礎概念Ⅱ		2 単位				
		Hosei Oxford Programme (HOP)		2 単位				
		Sustainable Training for English Proficiency (STEP)		2 単位				
		演習		16 単位				
	選択必修科目	コース共通科目		14 単位 以上	42 単位 以上			
		実践講座科目		10 単位 以上				
		総合講座科目		2 単位 以上				
		コース別科目		16 単位 以上				
	選択科目	他コース科目 卒業論文 リサーチペーパー					0～20 単位	
自由科目		※20単位まで卒業所要単位として算入します						
卒業所要単位合計 132 単位 以上								

- ・上記一覧表に記載されている単位数をすべて満たしてください。
 - ・基礎科目で多く修得した単位を専門科目の単位として取り扱うことはできません。
- (例) 基礎科目の合計単位数が46単位となった。多く修得した2単位分を専門科目の不足に充てられるか？
⇒充てられません。同様に専門科目で多く修得した単位を基礎科目に充てることもできません。

基礎科目1～3群について

- ・1～3群で最低限修得すべき単位数(各群4単位)だけでは、「1～3群の合計24単位」を満たすことはできません。1～3群の各群4単位を満たした後は、1～3群の範囲内で合計24単位となるよう自由に履修を組んでください。
- (例) 1群8単位、2群8単位、3群8単位 ←OK 1群16単位、2群4単位、3群4単位 ← OK
1群14単位、2群8単位、3群2単位 ←NG(1～3群の合計が24単位となっているが、3群で最低限修得すべき単位に不足がある)
※「0～5群の合計が44単位以上」も上記と同様の考え方です。

5. 各学年の履修可能単位数 【2012年度以降入学生】

科目の履修登録は、各年次とも「履修登録できる単位数」と「修得できる単位数」に上限を設けています。また学科による違いもありますので、確認の上、必ず条件を満たすように履修登録してください。

1年次

< 修得可能単位数の上限42単位 >

< 履修可能単位数の上限48単位(春学期に修得できなかった単位がある場合) >

■ 法律学科

$$\boxed{\text{ILAC科目}} + \boxed{\text{専門科目(16単位まで修得可能)}} = 42\text{単位(修得可能最大単位数)}$$

■ 政治学科

$$\boxed{\text{ILAC科目}} + \boxed{\text{専門科目}} = 42\text{単位(修得可能最大単位数)}$$

※2017年度以降入学者は「政治学の基礎概念Ⅰ」および「政治学の基礎概念Ⅱ」を必ず履修すること。

※2016年度以前入学者で「政治学の基礎概念Ⅰ(4単位)」を未修得の学生は、「政治学の基礎概念Ⅰ」および「政治学の基礎概念Ⅱ」を必ず一緒に履修登録すること。なお、本科目の成績発表は秋学期のみ。

■ 国際政治学科

$$\boxed{\text{ILAC科目}} + \boxed{\text{専門科目}} = 42\text{単位(修得可能最大単位数)}$$

※春学期履修登録時は原則40単位を上限に履修登録し、秋学期に英語(Academic EnglishⅡ)2単位を履修登録してください。

※「国際政治への案内」、「HOP」、「STEP」は必ず履修登録すること。

※1年次に「コース別科目」を修得した場合、2年次のコース配属の後に「コース別科目」もしくは「自由科目」に振り分けられます。

※2015年度以前入学者で「国際政治学の基礎概念Ⅰ／Ⅱ(計6単位)」を未修得の学生は、「国際政治への案内」および「国際政治学入門」を必ず一緒に履修登録すること。

■ 共通

- ・ 教職・資格科目(卒業所要単位外科目)は、上記の単位数上限とは別に16単位まで履修登録および修得が可能です。
- ・ 1年次留級生は42単位から過年度に修得済の単位数を減じた単位が最大修得可能単位数です。

$$\boxed{42\text{単位}} - \boxed{\text{過年度修得単位数}} = \text{修得可能単位数}$$

2年次

< 修得可能単位数の上限42単位 > ※法律学科法曹コースを除く

< 履修可能単位数の上限48単位(過年度、当該年度春学期に修得できなかった単位がある場合) >

■ 法律学科(法曹コース以外)

$$\boxed{\text{ILAC科目}} + \boxed{\text{専門科目(1・2年次の合計で52単位まで修得可能)}} = 42\text{単位(修得可能最大単位数、1・2年次の合計で84単位まで)}$$

※ 法律学科法曹コース

$$\boxed{\text{ILAC科目}} + \boxed{\text{専門科目(1・2年次の合計で58単位まで修得可能)}} = 48\text{単位(修得可能最大単位数、1・2年次の合計で90単位まで)}$$

■ 政治学科

$\boxed{\text{ILAC科目}} + \boxed{\text{専門科目}} = 42\text{単位}$ (修得可能最大単位数、1・2年次の合計で84単位まで)

■ 国際政治学科

$\boxed{\text{ILAC科目}} + \boxed{\text{専門科目}} = 42\text{単位}$ (修得可能最大単位数、1・2年次の合計で84単位まで)

■ 共通

- ・ 教職・資格科目(卒業所要単位外科目)は、上記の単位数上限とは別に24単位まで履修登録および修得が可能です。
- ・ 2年次留級生は通算修得単位数の上限が変わります。

$\boxed{\text{修得済単位}} + 42\text{単位} = \text{修得可能単位数}$

3年次

< 修得可能単位数の上限44単位 > ※法律学科法曹コースを除く

< 履修可能単位数の上限48単位 (過年度、当該年度春学期に修得できなかった単位がある場合) >

■ 全学科とも (法律学科法曹コース以外)

$\boxed{\text{ILAC科目}} + \boxed{\text{専門科目}} = 44\text{単位}$ (修得可能最大単位数、1～3年次の合計で128単位まで)

※ 法律学科法曹コース

$\boxed{\text{ILAC科目}} + \boxed{\text{専門科目}} = 48\text{単位}$ (修得可能最大単位数、1～3年次の合計で138単位まで)

- ・ 教職・資格科目(卒業所要単位外科目)は、上記の単位数上限とは別に24単位まで履修登録および修得が可能です。
- ・ 3年次留級生は通算修得単位数の上限が変わります。

$\boxed{\text{修得済単位}} + 44\text{単位} = \text{修得可能単位数}$

※ただし3年次で卒業所要単位を満たしても、4年次に進級した際、卒業要件を満たすには4単位以上を修得する必要があります。(P4「進級に関する規程」を参照のこと)

4年次

< 修得可能単位数の上限44単位 > ※法律学科法曹コースを含む

< 履修可能単位数の上限48単位 (過年度、当該年度春学期に修得できなかった単位がある場合) >

■ 全学科とも

$\boxed{\text{ILAC科目}} + \boxed{\text{専門科目}} = 44\text{単位}$ (修得可能最大単位数、1～4年次の最大修得単位は合計で172単位まで)

- ・ 4年次生の教職・資格科目(卒業所要単位外科目)の履修登録できる単位数に上限はありません。ただし、履修可能最大単位数は72単位です。

$(\boxed{\text{ILAC科目}} + \boxed{\text{専門科目}} < 48\text{単位}) + \boxed{\text{教職・資格科目}} < 72\text{単位}$

- ・ 4年次留級生(1回目の4年次に休学した者を含む)は、履修登録可能単位数上限が変わります。

(卒業までに24単位以内の不足者)

$\boxed{\text{ILAC科目}} + \boxed{\text{専門科目}} = 44\text{単位}$ まで履修登録が可能です。

(卒業までに25単位以上の不足者)

$\boxed{\text{ILAC科目}} + \boxed{\text{専門科目}} = 48\text{単位}$ まで履修登録が可能です。

※この場合、教職・資格科目(卒業所要単位外科目)は、上記の各単位数上限とは別に24単位まで履修登録および修得が可能です。

6. 履修登録

科目を履修し、その単位を修得するためには、履修しようとする科目を登録しなければなりません。履修登録は原則として4月に、春学期科目・秋学期科目・年間科目に関わらず、1年間分すべての科目を登録してください。履修登録をしないまま授業を受け、試験を受けてもその科目の単位は修得できません。履修の手引き、ガイダンス、時間割掲示等にしがたい、正確に履修登録をしてください。履修登録にあたっては、①卒業所要単位、進級条件、卒業に必要な科目と単位をこの手引きで確認し、②履修済科目と単位を成績通知書で確認し、③時間割表、講義概要(シラバス)を熟読のうえ、年間履修計画をたててWeb上で登録する必要があります。

教員免許状や資格科目(図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、博物館学芸員)を履修する場合は、それらに必要な科目と単位を十分に理解して、履修登録をしてください。

履修登録を期限までに行わない学生は、当該年度の受講・受験資格が認められず現学年に留年となることもあります。また、除籍の対象となることもあるので十分注意してください。

また、履修科目の登録は無制限にできるわけではなく、各年次とも履修単位数に制限があります。前年度までに不合格科目や未修得科目がある場合は、履修に様々な制約が生じる可能性があります。教職科目等を履修しようとする者は、その条件がさらに厳しいものとなります。したがって4年間を通じて余裕のある履修計画をたてられるよう、各年次において計画的に単位を修得していくことが大切です。

原則として、単位を修得済の科目は、再び履修することはできません。時間割上、同一科目が複数開講されている場合があります。このような場合で、クラス指定・学年指定等がある場合には、必ずこれらの指定にしたがって登録しなければなりません。

履修科目の登録から単位の修得までの流れはP2を参照してください。

！問合せは法学部窓口で！

科目履修の仕組みや登録手続きなどの相談は、「履修登録科目確認通知書」・「成績通知書」を学生本人が確認のうえ持参し、相談内容を整理して法学部窓口で、必ず本人が行ってください。電話による問い合わせは誤解を生じやすいため、特別な事情がない限り対応できません。

なお、授業中に指示された内容の確認、授業プリントの配布、レポートの提出などは教員から特別な依頼がない限り、法学部窓口では取扱いできませんので、本人が担当教員に直接確認してください。

7. 履修登録上の注意事項

(1) 履修登録について

履修科目の登録は、皆さんの1年間の学生生活を左右します。履修登録は、自らの責任のもとで行ってください。秋学期科目の登録修正期間を除き、登録した科目の変更や追加はできませんので十分注意してください。履修登録の日程等詳細は法政ポータルサイト(Hoppii)内WEB掲示板にて発表します。

1. 登録までの手順

- (1) 履修しようとする授業科目を、時間割表からそれぞれの学部・学科・学年・クラスの指定に従って選択します。
- (2) 選択した科目について、各科目の単位を計算して履修の基準に合っているかどうか確認し、WEB上で履修登録を行います(WEB履修登録については別途「法学部WEB履修登録ガイド」を法政ポータルサイト(Hoppii)内WEB掲示板上に掲載します)。

2. 登録科目選択上の一般的注意事項

- (1) 同一授業名で、曜日・時限・担当教員の違う科目が複数開講されている場合、履修できるのは1科目のみです。
- (2) 同一曜日時限に2科目以上の重複登録はできません。
- (3) 2年次以降に再履修科目の多い学生は、特に計画的に履修してください。
- (4) 外国語科目再履修などでは、同一授業科目で複数の登録科目名がある場合もあります。自分の履修に合った科目名を選択してください。

※不明な点がある場合には、必ず法学部窓口で確認してください。

(2) 別登録について

受講定員のある科目、サイエンス・ラボ A/B、クラス授業以外の外国語科目を受講する場合、以下の別登録をする必要があり、受講を許可された場合(抽選がとった場合)のみ履修登録できます。

① 受講定員のある科目

第一回目の授業に出席し、受講許可を得られた場合のみ履修登録できます。選抜方法については、担当教員が指示します。

② サイエンス・ラボA/B

第一回目の授業日に抽選会場において事前登録を行います(詳細は法政ポータルサイト(Hoppii)内ILAC 基礎科目・総合科目掲示板参照)。なお、この科目は出席を特に重視します。2・3年次生も受講可能ですが、1年次生を主体とした授業なので受講できない場合があります。

③ クラス授業以外の外国語

クラス授業以外の外国語を履修する場合は、第一回目の授業に出席し、受講許可を得られた場合のみ履修登録できます。

④ 電算実習科目

事前に抽選を実施します。電算科目の時間割表などの指示に従ってください。

8. 履修登録科目確認通知書について

履修登録科目確認通知書とは、皆さんがWEB上で履修登録した科目の科目名や単位数などの登録内容を表記したものであり、皆さんが登録した科目と実際に登録された科目とが一致しているかどうかを確認するためのものです。

履修登録が完了すると、「履修登録科目確認通知書」を出力することができますので、履修登録が完了したら必ずプリントアウトし、自分の登録に誤りがないかどうかを確認してください。

同一名の科目が複数の曜日・時限、担当教員で開講されている場合もあります。
科目名だけでなく曜日・時限、担当教員名等も必ず確認してください。

また、エラー表示や誤登録があった場合には、ただちに訂正手続をとらなければ、履修登録が完了したことになりません。履修登録が完了していない場合、その科目の登録のみならず、すべての科目の登録が無効となり、仮に授業に出席して試験を受けたとしても、成績評価の対象外となるので十分注意してください。

「履修登録科目確認通知書」の確認を怠ったために履修登録の誤りを見過ごし、結果的に単位を修得できなかった例は毎年必ずあります。十分注意してください。

9. 登録科目の訂正について

履修登録時に、エラー表示がある場合や履修条件を満たしていない科目を登録してしまった場合は、訂正が必要です。

また、訂正とは別に、春学期履修登録期間終了後、履修取消期間を設けます。指定期間内であれば、履修意思がなくなった科目の履修登録を取り消すことができます。なお、年間科目の取り消しは、春学期の履修取消期間のみしかできません。履修取消期間および詳細は法政ポータルサイト(Hoppii)内 WEB 掲示板に掲載します。

(1) 訂正対象

次の事項に該当する場合には、必ず訂正してください。

- ① 履修条件に反する場合(履修対象年次でない場合など)
- ② 年間履修単位数の上限をオーバーしている場合
- ③ 同一年次・同一時限の科目重複およびすでに履修済の科目を再履修する場合
- ④ 別登録が必要な科目(サイエンス・ラボA/B等)で別登録をしていない場合

(2) 訂正をしなかった場合

登録科目が全て無効となります。また、授業を受講しても単位を修得できず、進級・卒業ができなくなる恐れがあります。

9-1. 秋学期科目の登録修正について

法学部では春学期履修登録時に1年間のすべての科目を登録しますが、秋学期授業開始時に、秋学期科目のみ登録修正を認めます(年間科目は登録修正の対象ではありません)。

登録修正は、春学期履修登録時と同様 WEB 上で行ってください。秋学期の登録修正期間等の詳細は、法政ポータルサイト(Hoppii)内 WEB 掲示板でお知らせします。なお、4年生の春学期に、ILAC 科目／基礎科目の卒業所要単位を修得していない人は特に注意してください。ILAC 科目／基礎科目は卒業再試験の対象科目になりません。また、登録修正に際しては、以下の注意事項を必ず確認のうえ、登録してください。

【登録修正における注意点】

- (1) 年間科目の登録修正はできません。すでに年間科目を登録している曜日・時限には、変更を加えることはできません。
- (2) 秋学期科目のうち、下記の科目は春学期で受講者の選抜が終了しているため、登録修正の対象外です。
 - ・Essay Writing
 - ・Presentation Skills
 - ・Debate
 - ・文章の書き方セミナー
 - ・海外メディア分析実習
- (3) 定員制の科目は、担当教員の受講許可が得られた場合のみ追加・変更可能です。申請の前に、必ず各自で受講許可を得てください。
- (4) 「進級に関する規程」の要件を満たさなくなる削除はできません。必ず春学期の成績を確認したうえで登録科目の追加・変更・削除を行ってください。
- (5) 必修外国語、体育、演習(国際政治学科)などの必修科目を削除する場合は、法学部窓口へ申請書を提出する必要があります。

10. 国際政治学科のコース登録について(国際政治学科1年生)

国際政治学科は、2 年次進級前に、アジア国際政治コースまたはグローバル・ガバナンスコースのどちらかを選択してください。登録方法については、1年次の 1 月頃に法政ポータルサイト(Hoppii)内 WEB 掲示板でお知らせします。

11. 早期卒業について

優秀な成績で所定の単位を取得した学生には、早期の大学院進学等のため、3 年次終了時点(3 月末)で卒業を認め、学士号を取得できる早期卒業制度があります。

早期卒業を申請するためには、申請時に『①2年次終了時の累積 GPA が 3.0 以上であること、および、②3年次演習を履修すること』が要件となります。この要件を満たさないと、早期卒業申請をすることはできません。

(1) 申請の手続

2 年次修了後、3 年次の履修登録に先立ち、「早期卒業申請書」を法学部窓口に提出してください。申請が承認されると、3 年次での履修上限が解除され、3 年次修了までに卒業所要単位を取得できるようになります。

(2) 早期卒業の要件

以下に定める基準をすべて満たしている場合、早期卒業が認められます。

- ①3年次終了時までに卒業所要単位(132 単位以上)を修得していること。
- ②卒業所要単位(132 単位以上)のうち、9割以上がA評価以上であること。
- ③入学時から3年次終了時までの通算した GPA が 3.0 以上であること。

ただし、前項の「A評価以上」には「R評価」、「(2018 年度までの)S評価」及び「P評価」は含めない。
また、GPA の算出には教職・資格科目及び留学中に履修した科目の成績は含めない。

(3) 備考

1. 「②卒業所要単位のうち、9割以上がA評価であること」について、法学部の場合、卒業所要単位 132 単位 \times 9 割 \div 118.8 = 119 単位以上が A 評価で以上であることが必須となります。要件を満たすことができるかどうかを確認するために履修計画書も併せて提出してください。
2. 上記要件を満たせなかった場合は、4 年次に通常通り「進級」となります。その際、4 単位の単位修得が必須となります(進級に関する規程を参照してください)。

優秀で意欲に溢れた多くのみなさんが、この制度を利用し、将来の目標のため、専門的研究などへのステップアップを早い段階ではじめる計画を立てられるよう期待します。

※法律学科法曹コースの早期卒業要件は別途定めます。

Ⅲ 科目

1. ILAC(アイラック)科目

1-1. ILAC科目100番台～300番台／0群～5群の履修について

ILAC(アイラック)科目は半期(春学期・秋学期)ごとに授業を完結するセメスター制を採用しており、科目名の後に「Ⅰ/Ⅱ」、「A/B/C/D・・・」と表記します。成績評価は半期ごとに出され、単位を修得していきます。科目名称によって、以下のような特徴があります。履修計画の参考としてください。

- ①「Ⅰ/Ⅱ」とは、連続履修することで、より理解が深まるとされる科目を示しています。ⅡについてはⅠを履修していることが前提となっている科目もあるので、履修登録前に、必ずWEBシラバスで確認してください。特に外国語科目(必修および選択科目)は、原則としてⅠ/Ⅱを連続履修することが前提とされていますので、注意が必要です。
- ②「A/B/C/D・・・」とは、「Ⅰ/Ⅱ」のように履修の順次性を問わない科目を示しています。例えば、「〇〇学A」と「〇〇学B」では、「〇〇学B」は必ずしも「〇〇学A」の履修を前提としていません。「〇〇学A」と「〇〇学B」とで、異なる分野の学習を通じて、相互の理解を深めることができます。
- ③リベラルアーツ科目は、科目名の後に「L」が付きます(例:□□学 LⅠ/LⅡ、△△論 LA/LB/LC/LD・・・)。これは、基盤科目との違いを明示するものです。リベラルアーツ科目には、基盤科目を履修していることが前提になっている科目もあります(例:倫理学 LⅠは、倫理学Ⅰの内容をさらに発展させて学ぶ)。履修登録前に、WEB シラバスで必ず確認し、計画的な学習を心掛けてください。

WEBシラバスでは、授業内容詳細を全て確認できます。履修前にWEBシラバスを確認しましょう。

単位を修得した同名科目を再度履修することはできません。

ただし、ⅠとⅡ、AとB、AとLA等は異なる科目です。例えば、〇〇学Aと〇〇学LAであれば、どちらも履修することができます。科目名称のルールを理解し、計画的に履修してください。

なお、以降の説明では、特別な場合を除き「Ⅰ」「Ⅱ」(または「Ⅲ」「Ⅳ」)等の記述を省きます。

(1)ILAC 科目修得により目指すもの

ILAC 科目は、人文科学・社会科学・自然科学・情報科学・外国語・保健体育・キャリアデザインなどの各分野をバランスよく学ぶことによって、社会や世界で活躍するために必要な、幅広い知識や柔軟な思考法、自主的に課題を発見しそれを解決する力や文章作成能力、他者との円滑なコミュニケーション能力など、真の意味での「教養」を身につけるために開設されています。基礎力を養成する基盤科目から、応用・発展的なリベラルアーツ科目、専門性の高い総合科目など、段階に応じて多様で体系的な学修が可能となります。

(2)ILAC 科目のカリキュラムについて

各科目には次のような番号(ナンバリング)が付されています。これは「学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示するための仕組み」です。

100 番台には、基盤科目・外国語科目・選択基盤科目が設置されています。大学生としての基本的な学問への臨み方、および各分野の知識・考え方を身につけ、大学4年間の学習の土台づくりを行うことを目的としています。

200 番台には、リベラルアーツ科目と外国語科目が設置されています。リベラルアーツ科目では、基盤科目の内容をさらに発展、または専門的にした授業が開講されており、皆さんの興味に応じて、教養を深め、視野を広げることができます。また、外国語科目では、1 年次に履修した語学のスキルや教養としての外国語をさらに向上させます。

300 番台には、総合科目・教養ゼミが設置されています。100 番台・200 番台の科目の学びをさらに発展させ、真のリベラルアーツの修得を目的としています。少人数で開講される教養ゼミでは、教員や受講生との議論・学び合いを行うことができます。

移り変わりの激しい時代を生きる私たちには、学問の壁を越えて、柔軟な発想で知識・考え方を取り入れ、直面する問題を打開し、自由な世界を切り開いていくことが必要です。リベラルアーツとは単に教養科目を意味するものではなく、自由な世界を切り開く知識・考え方、それを修得する力を示します。真のリベラルアーツを、ILAC 科目で修得していきましょう。


科目名称	基盤科目	外国語科目	選択基盤科目	リベラルアーツ科目	外国語科目	総合科目・教養ゼミ
分野	1・2・3・5群の科目	4群(英語、諸外国語)の必修科目	0群の科目	0～5群の科目	4群・選択外国語	1～5群の科目
科目	日本古典文学A/B 社会学I/II 入門生物学A/B 等	English1 I/II English2 I/II ○○語1 I/II ○○語2 I/II	基礎ゼミ、情報処理演習 I キャリアデザイン入門 法政学への招待 等	日本史I/II 地理学IA/LB フランスの文化と社会 IA/LB 健康の科学IA/LB 等	English3 I/II ビジネス・イングリッシュ I/II ○○語3 I/II ○○語4 I/II 中国語コミュニケーション基礎 I/II	美術論A/B 人間行動学A/B 集合論A/B 教養ゼミ(各教養ゼミごとにテーマあり) など
概要	教養(リベラルアーツ)・専門学部の学びの基盤となる、人文科学・社会科学・自然科学のそれぞれの学問分野における基礎的な知識と基本的な考え方、および保健体育科目をバランス良く学びます。	大学の初年次生として必要な基礎的な語学力を養うと同時に、異文化や世界の情勢への理解を深めるため、英語をはじめ諸外国語(ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・スペイン語・朝鮮語・日本語)をバランス良く学びます。	既存の学問分野にとらわれない汎用性のある知識や技能を身に付けるため、基礎ゼミや情報処理、就業力育成など、初年次に修得すべき科目を学びます。法政学では法政大学の歴史や現状について学ぶことができます。	基盤科目で修得した基礎的な知識の上に、さらに深い教養を身につけます。各学問分野をより高度に、バランス良く修得するとともに、専門科目の枠組みに縛られない体系的・学際的な学びを可能にします。	学生の選択に基づく、より高度な語学力や異文化理解力の向上を目指し、現代のグローバル社会に適用する国際感覚を養います。英語・ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・スペイン語・朝鮮語・日本語の全てが開講されています。	リベラルアーツ科目と連動した発展的な学びから、単独で完結する学びまで、多様な科目を配置し、真のリベラルアーツの修得を目指します。教養ゼミではゼミナール形式で、学部専門科目とは異なる高度な学びを実現します。
年次	100番台 ※1 (1年生以上)			200番台 ※2 (1・2年生以上)		300番台 ※3 (2年生以上)

※1 100 番台・・・主として基礎的な内容の科目を意味しています。

※2 200 番台・・・主として応用的な内容の科目を意味しています。

※3 300 番台・・・主として発展的な内容の科目を意味しています。

市ヶ谷リベラルアーツセンターでは、カリキュラム・マップおよびカリキュラム・ツリーを作成しています。以下から確認することができますので、履修の際には、本冊子、WEB シラバスとあわせて、ぜひ参考にしてください。URL: <http://www.hoseikyoiku.jp/ilac/index.html>

カリキュラム・マップ	ILAC 科目／市ヶ谷基礎科目・総合科目と学習到達目標の相関関係を表で示したもの	
カリキュラム・ツリー	学習目標を達成するために、ILAC 科目／市ヶ谷基礎科目・総合科目がどの分野、年次に配当されているかなどを図で示したもの	

(3) 各分野の概要について

ILAC 科目0群

ILAC 科目0群を開設する目的は、ILAC 科目の1群から5群までの科目の履修を容易にするため、それらの導入部を学び、基本的な知識を備えるためです。

- ・「大学を知ろう <法政学>への招待」(2018 年度まで「法政学への招待」)、「法政学の探究」は法政大学の歴史と現状を知ること、本学で学ぶことの意義を考え、より深い理解を得るための科目です。
- ・「キャリアデザイン入門」「キャリアデザイン応用」は、「大学生が『就業力』を身につけるために、授業で何をどのように学ぶべきか」を目的に編成された科目です。卒業後に働くことを考えたとき何を大学時代に学んでおけばいいのか、深く考える仕組みを授業に取り入れています。

ILAC 科目1群(人文科学分野)

1群の科目は、文化全般をその研究対象とし、さらに、文化を創り出す人間とは何か、という研究課題をもっています。そのため、研究対象と講義内容は、多岐にわたります。

基本となるのは、「文学」「歴史」「哲学」の3分野といえます。文学では、日本の古典・近現代文学を始め、中国古典文学や西欧文学の講義を開講しています。哲学や歴史についても同様に、日本・東洋・西洋それぞれの専門の教員による講義が設置されており、さらに論理学・倫理学・言語学・文章論・宗教学・芸術なども含むさまざまな分野の教員による講座を開講しています。

以上の科目は「人文科学」と呼ばれ、古来教養の根幹をなす学問分野です。これらの科目を受講することを通して、幅広い知見を身につけるとともに、過去を学ぶことによって現在を考察し、さらには未来を展望する能力をつけることが狙いとなります。

ILAC 科目2群(社会科学分野)

2群の開講科目は、「法学」「政治学」「経済学」「社会学」「心理学」「地理学」「文化人類学」「社会思想」の8分野です。これらの科目は、いずれも、人間社会のさまざまな側面を、それぞれ独自の視角や方法によって分析・検討するものです。各科目では、それぞれの分野の基本的な知識や視点を学ぶことで、人間社会のさまざまな現象を理解するための基礎的な教養と知見を身につけます。それと同時に、特にリベラルアーツ科目を通じてそれぞれの分野が築き上げてきた理論や手法を学ぶことで、専門的・発展的な問いを考えていくための思考力・洞察力を養います。

学生のみなさんには、それぞれの科目を通じて、自分がそのなかの一員である社会について理解を深めて、人間社会のさまざまな現象や問題について考える基礎としてほしいと思います。

ILAC 科目3群(自然科学分野)

3群は、さまざまな自然科学の授業によって構成されています。

基盤科目では、自然科学の学習に必要な基礎的知識を習得します。リベラルアーツ科目では、さまざまなテーマを発展的に学習します。さらに、専門科目である総合科目や教養ゼミを通して、それらのテーマをより深く探求できるようなカリキュラム構成となっています。

基盤科目は、「教養数学」「基礎数学」「入門物理学」「入門化学」「入門生物学」「天文学」「科学史」および「サイエンス・ラボ」からなる選択必修科目です。いずれも、文科系の初学者にもわかりやすく学ぶことができるよう工夫されています。

リベラルアーツ科目は、「数学特講」「発展数学」「教養物理学」「教養化学」および「教養生物学」からなる選択必修科目です。各自の興味に合わせて発展的な学習を行ってください。

なお、基礎数学および発展数学は順次性のある科目です。Ⅰ→Ⅱの順に履修することが望まれます。3群の履修を通して、学生の皆さんが自然科学そのものに興味を持つだけでなく、自然科学を通じたものの見方を習得し、各自の専門分野における学習・研究に役立てることが期待されています。

ILAC 科目4群(外国語科目)

(法律学科・政治学科生対象)

4群には英語と諸外国語〔ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・スペイン語・朝鮮語・日本語(留学生のみ)〕があります。

★受講定員のある科目:春学期1回目の授業に出席し、担当教員の受講許可を得てください。選抜を行う場合、方法は教員が指示します。許可された学生のみ履修登録できます。

★春学期のみ、秋学期のみ履修を希望する場合も、必ず春学期の1回目の授業で教員にその旨を申し出て、受講の許可を受けてください。

選抜結果は法政ポータルサイト(Hoppii)の Web 掲示板で発表します。

＜英語＞

ILAC 科目の「英語」では、高校までに身につけた運用能力をさらに伸ばすとともに、世界の多様な文化に対する理解を深め、批判的思考能力を涵養します。

ILAC 科目のうち英語科目の構成は、100 番台必修科目(1年次・2科目)、200 番台選択必修科目(2年次・1科目)、選択科目(1～4年次)に大別されます。必修科目は、英語運用能力の向上を目指す English1(リーディング系)と English2(表現系)で、選択必修科目は、1年次に培った力を総合的に展開する English3(テーマ別、4技能統合型)で、いずれも習熟度別・少人数編成のクラスで行われます。選択科目は、レベル別に関講されている多様な科目のなかから、自由に選んで、1年次から履修することができます(ただし、必修科目ならびに選択必修科目の英語単位は3年次までに修得することが必要です)。

また上記の科目のほかに、さらに総合的な英語能力を伸ばすための授業として、総合科目(教養ゼミ)(2～4年次)が開講されています。総合科目は、専門科目として扱われ、修得単位は専門科目の単位となります。そのほか、グローバル・オープン科目として開講されている Intercultural Communication A～Dもあります。この4科目は 200 番台リベラルアーツ科目として認定されます(詳しくは WEB シラバスを参照、ただし総合科目やグローバル・オープン科目は休講となることもありますので、年度ごとに WEB シラバスを確認してください)。

＜諸外国語＞

「諸外国語」は、それぞれの言語を学びながら、その言語が用いられている地域の歴史・文化・生活に接し、理解を深めることを目的に開講されています。

外国語科目は、必修諸外国語(1・2年次)、選択必修外国語(2年次以上)、選択外国語(2年次以上)、さらにリベラルアーツ科目と総合科目から構成されています。必修諸外国語では、大学で新しく出会う外国語の基礎を1年次に学び、その基礎力を用いて2年次にさらなる学習を続けます。また、学び始めた外国語の能力をより高めたい場合には、1年次秋に英語と諸外国語から選ぶ選択必修外国語で、諸外国語を選択すると、より多くの学習の機会を楽しむことができます。その他に、選択外国語には、「〇〇語コミュニケーション」「〇〇語視聴覚」「時事〇〇語」などバラエティ豊かな科目が設置され、さまざまなアプローチから外国語に接し、語学力の修得とともに生きた外国語の世界に触れながら4年次まで学習を続けることができます。

リベラルアーツ科目には、1年次から履修できる「〇〇語の世界 L」という入門のための科目があります。2年次から履修できる「〇〇の文化と社会 L」では、その言語が話される地域の文化や生活を広く深く学ぶことができます。総合科目では、それまでに学習した外国語の能力を十分に生かしつつ、より高度で専門的な内容を学んでいきます。また、総合科目の中には、英語と諸外国語を一つ学んだのちに、さらにもう一つの外国語の世界に触れてみたいと思うグローバルな関心を抱く学生のために「第三外国語としての〇〇語」という科目があります。

このように、法政大学では、とても多彩な外国語の世界がみなさんを待っています。

なお、選択外国語科目のテキストは、担当教員より受講が許可されてから購入してください。

(国際政治学科生対象)

4群には英語と英語以外の諸外国語〔ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・スペイン語・朝鮮語〕があります。

★受講定員のある科目：春学期1回目の授業に出席し、担当教員の受講許可を得てください。選抜を行う場合、方法は教員が指示します。許可された学生のみ履修登録できます。

★春学期のみ、秋学期のみ履修を希望する場合も、必ず春学期の1回目の授業で教員にその旨を申し出て、受講の許可を受けてください。

選抜結果は法政ポータルサイト(Hoppii)の Web 掲示板で発表します。

＜英語＞

ILAC 科目の「英語」では、高校までに身につけた運用能力をさらに伸ばすとともに、世界の多様な文化に対する理解を深め、批判的思考能力を涵養します。授業形態は2つに大別されます。

1つは必修科目で、1年次春学期に「Academic English I」を、1年次秋学期に「Academic English II」を履修します。この科目はネイティブスピーカー（あるいはそれに準じる）教員による総合的な英語力を身につけるための週二回授業で、英語能力試験のスコア等によりクラスを編成します。

もう1つは、選択科目です。選択科目は、レベル別に開講されている多様な科目のなかから、自由に選んで、4年次まで履修することができます。（ただし、卒業所要単位としての英語単位は3年次までに修得することが必要です。）国際政治学科の学生は必修科目のほかに、この選択科目から4単位以上を3年次終了までに修得することが必要です。なお、「英語で学ぶ社会と文化」は国際政治学科生への推奨クラスとして開講されているので、国際政治学科生は積極的に履修してください。

また、上記の科目のほかに、さらに総合的な英語能力を伸ばすための授業として、総合科目（教養ゼミ）（2～4年次）が開講されています。総合科目は、専門科目として扱われ、修得単位は専門科目の単位となります。そのほか、グローバル・オープン科目として開講される、Intercultural Communication A～Dもあります。この4科目は200 番台リベラルアーツ科目として認定されます（詳しくはWEB シラバスを参照、ただし総合科目やグローバル・オープン科目は休講となることもありますので、年度ごとに Web シラバスを確認してください）。

＜諸外国語＞

「諸外国語」は、それぞれの言語を学びながら、その言語が用いられている地域の歴史・文化・生活に接し、理解を深めることを目的に開講されています。

外国語科目は、必修諸外国語、選択外国語（ロシア語を除く）、さらにリベラルアーツ科目と総合科目から構成されています。必修諸外国語では、大学で新しく出会う外国語の基礎を1年次に学び、その基礎力を用いて2年次にさらなる学習を続けます。選択外国語には、「〇〇語コミュニケーション」「〇〇語視聴覚」「時事〇〇語」などバラエティ豊かな科目が設置され、さまざまなアプローチから外国語に接し、語学力の修得とともに生きた外国語の世界に触れながら4年次まで学習を続けることができます。

リベラルアーツ科目には、1年次から履修できる「〇〇語の世界Ⅰ」という入門のための科目があります。2年次から履修できる「〇〇の文化と社会Ⅰ」では、その言語が話される地域の文化や生活を広く深く学ぶことができます。総合科目では、それまでに学習した外国語の能力を十分に生かしつつ、より高度で専門的な内容を学んでいきます。また、総合科目の中には、英語と諸外国語を一つ学んだのちに、さらにもう一つの外国語の世界に触れてみたいと思うグローバルな関心を抱く学生のために「第三外国語としての〇〇語」という科目があります。

このように、法政大学では、とても多彩な外国語の世界がみなさんを待っています。

なお、選択外国語科目のテキストは、担当教員より受講が許可されてから購入してください。

ILAC 科目5群(保健体育分野)

スポーツ総合演習は、①クラス指定の週1回半期型、②自由に選択履修できる週1回半期型の2つの形式で開講されています。

①は必修科目で、原則学部・学科・所属クラスを単位として履修する授業の学期・曜日・時限が指定されています。②は選択科目で、いずれも学部を問わず履修可能ですが、履修希望者が多数の場合には事前のガイダンスにおいて授業ごとに抽選で履修可能者が決定されます。卒業のためには、上記のいずれかの形式で2単位を取得することが必須となりますが、5群の単位としては①、②の授業を各1回、計4単位を上限として履修・取得することが認められています。

授業は数種目のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験およびレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与することになります。

スポーツ総合演習の詳細については、学部ガイダンスの際に説明します。また、2年次以降にも選択科目の内容を深めた5群科目も用意されています。

各外国語科目の授業内容等について

各外国語科目(英語および諸外国語)の授業の目的や目標、各年次で履修する授業内容、履修パターンなどについて、法政ポータルサイト(Hoppii)のWeb 掲示板にて紹介しています。

また、英語については、選択科目、総合科目、グローバル・オープン科目のレベルも掲載していますので、必ず確認してください。

法政ポータルサイト(Hoppii)

URL: <https://hoppii.hosei.ac.jp>



ILAC (アイラック) 科目一覧

			科目名	履修年次	単位	
100番台	基盤科目	0 群	リベラルアーツ特別講座	1～4年	2	1 または 2 各 2 2
			課題解決型フィールドワーク	1～4年		
			基礎ゼミⅠ/基礎ゼミⅡ(定員:30)	1年次のみ		
			情報処理演習Ⅰ(定員:50)	1・2年		
		1 群	日本古典文学 A/日本古典文学 B	1～4年	各 2	
			日本近・現代文学 A/日本近・現代文学 B	1～4年	各 2	
			日本文学 A/日本文学 B	1～4年	各 2	
			外国文学 A/外国文学 B	1～4年	各 2	
			文章論(定員制)	1～4年	2	
			言語学 A/言語学 B(定員制)	1～4年	各 2	
	2 群	哲学Ⅰ/哲学Ⅱ	1～4年	各 2		
		法学Ⅰ/法学Ⅱ	1～4年	各 2		
		法学(日本国憲法)	1～4年	2		
経済学Ⅰ/経済学Ⅱ		1～4年	各 2			
3 群	心理学Ⅰ/心理学Ⅱ	1～4年	各 2			
	地理学Ⅰ/地理学Ⅱ	1～4年	各 2			
	教養数学 A/教養数学 B	1～4年	各 2			
	基礎数学Ⅰ/基礎数学Ⅱ	2～4年	各 2			
5 群	入門物理学 A/入門物理学 B	1～4年	各 2			
	入門生物学 A/入門生物学 B	1～4年	各 2			
外国語科目	4 群	スポーツ総合演習	1年	2		
		スポーツ総合演習 S	1～4年	2		
		English1Ⅰ/English1Ⅱ	1年	各 1		
200番台	リベラルアーツ科目	0 群	English2Ⅰ/English2Ⅱ	1年	各 1	
			諸外国語 1Ⅰ/諸外国語 1Ⅱ	1年	各 1	
		1 群	法政学の探究 LA	1～4年	2	
			法政学の探究 LB	1～4年	2	
			日本文学と文化 LA/日本文学と文化 LB	1～4年	各 2	
			日本文学と文化 LC/日本文学と文化 LD	1～4年	各 2	
			日本文学と文化 LE/日本文学と文化 LF	1～4年	各 2	
			日本文学と文化 LG/日本文学と文化 LH	1～4年	各 2	
			外国文学と文化 LA/外国文学と文化 LB	1～4年	各 2	
			外国文学と文化 LC/外国文学と文化 LD	1～4年	各 2	
			外国文学と文化 LE/外国文学と文化 LF	1～4年	各 2	
			文学と社会 LA/文学と社会 LB	1～4年	各 2	
		文学と社会 LC/文学と社会 LD	1～4年	各 2		
		2 群	経済学 LA/経済学 LB	1～4年	各 2	
			心理学 LA/心理学 LB	1～4年	各 2	
			地理学 LA/地理学 LB	1～4年	各 2	
			地理学 LC/地理学 LD	1～4年	各 2	
			政治学 LA/政治学 LB	1～4年	各 2	
		3 群	数学特講 LA/数学特講 LB	1～4年	各 2	
	発展数学ⅠⅠ/発展数学ⅠⅡ		2～4年	各 2		
	教養物理学 LA/教養物理学 LB		2～4年	各 2		
	教養生物学 LA/教養生物学 LB		1～4年	各 2		
	4 群	ドイツの文化と社会 LA/ドイツの文化と社会 LB(定員:30)	2～4年	各 2		
ドイツ語の世界 LA/ドイツ語の世界 LB(定員:60)		1～4年	各 2			
フランスの文化と社会 LA/フランスの文化と社会 LB(定員:30)		1～4年	各 2			
フランス語の世界 LA/フランス語の世界 LB(定員:40)		1～4年	各 2			
フランス生活文化論 LA/フランス生活文化論 LB(定員:40)		1～4年	各 2			
ロシアの文化と社会 LA/ロシアの文化と社会 LB(定員制)		2～4年	各 2			
5 群	ロシア語の世界 LA/ロシア語の世界 LB(定員:60)	1～4年	各 2			
	健康の科学 LA/健康の科学 LB(定員制)	1～4年	各 2			
外国語科目	4 群	English3Ⅰ/English3Ⅱ	2年	各 1		
		諸外国語 3Ⅰ/諸外国語 3Ⅱ(注 4)	2年	各 1		
		諸外国語 4Ⅰ/諸外国語 4Ⅱ(注 5)	2年	各 1		

(注1)開講期は時間割またはWebシラバスを参照してください。

(注2)2019年度より「法政学への招待」は、「大学を知ろう <法政学>への招待」へ科目名称が変更となりました。

2018年度以前に「法政大学への招待」を修得済みの場合は、「大学を知ろう <法政学>への招待」を履修できません。

(注3)2017年度をもって、「キャリアデザイン演習」、「就業基礎力養成Ⅰ/Ⅱ」は閉講しました。

2017年度以前に「就業基礎力養成Ⅰ」を修得済みの場合は、「キャリアデザイン応用」を履修できません。

★2017 年度以降入学 法律・政治学科用★

科目名	履修年次	単位	単位規程		系列単位規程と下記要件を同時に満たすこと							
			全学科									
キャリアデザイン入門	1 年次のみ	2	選択									
キャリアデザイン応用	1～4 年	2										
大学を知ろう <法政学>への招待(注 2)	1～4 年	2										
倫理学Ⅰ/倫理学Ⅱ	1～4 年	各 2	4 単位以上	14 単位以上	22 単位以上							
論理学Ⅰ/論理学Ⅱ	1～4 年	各 2										
東洋史Ⅰ/東洋史Ⅱ	1～4 年	各 2										
西洋史Ⅰ/西洋史Ⅱ	1～4 年	各 2										
日本史Ⅰ/日本史Ⅱ	1～4 年	各 2										
宗教論Ⅰ/宗教論Ⅱ	1～4 年	各 2										
芸術 A/芸術 B	1～4 年	各 2										
政治学Ⅰ/政治学Ⅱ	1～4 年	各 2	4 単位以上									
社会学Ⅰ/社会学Ⅱ	1～4 年	各 2										
文化人類学	1～4 年	2										
社会思想Ⅰ/社会思想Ⅱ	1～4 年	各 2										
入門化学 A/入門化学 B	1～4 年	各 2	4 単位以上									
サイエンス・ラボ A/サイエンス・ラボ B(定員制)	1～4 年	各 2										
天文学 A/天文学 B	1～4 年	各 2										
科学史 A/科学史 B	1～4 年	各 2										
			2 単位									
			選択(2 単位まで)									
諸外国語 2Ⅰ/諸外国語 2Ⅱ	1 年	各 1	8 単位 ※選択したパターンを同時に満たしてください。									
日本語 1Ⅰ/日本語 1Ⅱ(留学生のみ)	1 年	各 1										
日本語 2Ⅰ/日本語 2Ⅱ(留学生のみ)	1 年	各 1										
情報処理演習Ⅱ(定員:50)	1・2 年	2	選択	6 単位以上	44 単位以上							
文学と社会 LE/文学と社会 LF	1～4 年	各 2	2 単位以上									
音声学 L(定員制)	1～4 年	2										
哲学Ⅰ/哲学Ⅱ	1～4 年	各 2										
倫理学Ⅰ/倫理学Ⅱ	1～4 年	各 2										
論理学Ⅰ/論理学Ⅱ	1～4 年	各 2										
東洋史Ⅰ/東洋史Ⅱ	1～4 年	各 2										
西洋史 LA/西洋史 LB	1～4 年	各 2										
日本史Ⅰ/日本史Ⅱ	1～4 年	各 2										
宗教論Ⅰ/宗教論Ⅱ	1～4 年	各 2	2 単位以上									
社会学 LA/社会学 LB	2～4 年	各 2										
社会学 LC/社会学 LD	1～4 年	各 2										
文化人類学 L	1～4 年	2										
社会思想 LA/社会思想 LB	1～4 年	各 2	2 単位以上									
教養生物学 LC/教養生物学 LD	1～4 年	各 2										
教養生物学 LE 教養生物学 LF	1～4 年	各 2										
教養化学 LA/教養化学 LB	1～4 年	各 2	選択									
中国の文化と社会 LA、中国の文化と社会 LC/ 中国の文化と社会 LB、中国の文化と社会 LD(定員:60)	2～4 年	各 2										
中国語の世界 LA/中国語の世界 LB(定員:60)	1～4 年	各 2										
スペイン語の世界 LA/スペイン語の世界 LB(定員:40)	1～4 年	各 2										
朝鮮の文化と社会 LA/朝鮮の文化と社会 LB(定員:30)	2～4 年	各 2										
日本の文化と社会 LA/日本の文化と社会 LB(定員:30)	2～4 年	各 2										
日本語の世界 LA/日本語の世界 LB(定員:30)	2～4 年	各 2										
				4 単位以上 ※選択したパターンを同時に満たしてください。								
日本語 3Ⅰ/日本語 3Ⅱ(留学生のみ)	2 年	各 1										
日本語 4Ⅰ/日本語 4Ⅱ(留学生のみ)	2 年	各 1										
このほかにも履修可能な外国語科目があります。P31を参照してください。												

(注 4) 朝鮮語は、朝鮮語 3AⅠ/朝鮮語 3AⅡ、朝鮮語 3BⅠ/朝鮮語 3BⅡ、朝鮮語 3CⅠ/朝鮮語 3CⅡから履修します。詳細は P42～45 を参照してください。

(注 5) 朝鮮語は、朝鮮語 4AⅠ/朝鮮語 4AⅡ、朝鮮語 4BⅠ/朝鮮語 4BⅡから履修します。詳細は P42～45 を参照してください。

(注 6) ILAC 科目 4 群の卒業所要単位を修得済の方で他の諸外国語を履修したい方は、法学部窓口にご相談してください。

なお、卒業所要単位を修得していない場合は、入学時に選択した諸外国語以外は履修できません。

《外国語科目一覧(必修科目除く)》

★2017 年度以降入学 法律・政治学科用★

	必修選択	科目	単位	定員	履修 年次	備考
英語	選択	入門英語(SSI)Ⅰ／Ⅱ	各1	48	1～4	SSI 生のみ履修可
		英語オーラル・コミュニケーションⅠ／Ⅱ	各1	24	1～4	
		ビジネス・イングリッシュⅠ／Ⅱ	各1	24	1～4	
		English Reading and VocabularyⅠ／Ⅱ	各1	－	1～4	
		English Academic WritingⅠ／Ⅱ	各1	20	1～4	
		英語で学ぶ社会と文化Ⅰ／Ⅱ	各1	36	1～4	
		English PresentationⅠ／Ⅱ	各1	－	1～4	
		英語アカデミック・リーディングⅠ／Ⅱ	各1	36	1～4	
		英語検定試験対策Ⅰ／Ⅱ	各1	36	1～4	
ドイツ語	選択必修*	ドイツ語表現法Ⅰ／Ⅱ	各1	20	2～4	パターン B のみ履修可
	選択	入門ドイツ語(SSI)Ⅰ／Ⅱ	各1	30	1～4	SSI 生のみ履修可
		検定ドイツ語Ⅰ／Ⅱ	各1	30	2～4	
		ドイツ語コミュニケーションⅠ／Ⅱ	各1	20	2～4	
		ドイツ語視聴覚Ⅰ／Ⅱ	各1	30	2～4	
		時事ドイツ語Ⅰ／Ⅱ	各1	30	2～4	
フランス語	選択必修*	フランス語 5Ⅰ／Ⅱ	各1	－	2	パターン B のみ履修可
		フランス語視聴覚(入門)Ⅰ／Ⅱ	各1	30	2～4	パターン B のみ履修可
		フランス語視聴覚(初・中級)Ⅰ／Ⅱ	各1	30	2～4	パターン B のみ履修可
	選択	フランス語コミュニケーション(初級)Ⅰ／Ⅱ	各1	30	1～4	
		時事フランス語Ⅰ／Ⅱ	各1	30	1～4	
		検定フランス語(初級)Ⅰ／Ⅱ	各1	30	1～4	
		情報フランス語Ⅰ／Ⅱ	各1	30	1～4	
ロシア語	選択	ロシア語 5Ⅰ／Ⅱ	各1	－	2～4	
中国語	選択必修*	中国語視聴覚初級Ⅰ／Ⅱ	各1	35	2～4	パターン B のみ履修可
		中国語作文初級Ⅰ／Ⅱ	各1	15	2～4	パターン B のみ履修可
	選択	中国語コミュニケーション基礎Ⅰ／Ⅱ	各1	20	1～4	
		中国語コミュニケーション初級Ⅰ／Ⅱ	各1	20	2～4	
		資格中国語初級Ⅰ／Ⅱ	各1	40	2～4	
スペイン語	選択必修*	時事スペイン語Ⅰ／Ⅱ	各1	30	2～4	パターン B のみ履修可
	選択	スペイン語コミュニケーションⅠ／Ⅱ	各1	30	3～4	
朝鮮語	選択	朝鮮語 5A(講読)Ⅰ／Ⅱ	各1	30	3～4	
		朝鮮語 5B(表現法)Ⅰ／Ⅱ	各1	30	3～4	

(注 1)「選択必修*」・・・ パターン B の学生について、選択必修の必要単位(2 単位)を修得以降は、選択科目としての履修になります。履修の際は、P42～45 も参照してください。

ILAC (アイラック) 科目一覧

			科目名	履修年次	単位	
100番台	基盤科目	0 群	リベラルアーツ特別講座	1～4 年	2	
			課題解決型フィールドワーク	1～4 年	1 または 2	
			基礎ゼミ I / 基礎ゼミ II (定員:30)	1 年次のみ	各 2	
			情報処理演習 I (定員:50)	1・2 年	2	
		1 群	日本古典文学 A / 日本古典文学 B	1～4 年	各 2	
			日本近・現代文学 A / 日本近・現代文学 B	1～4 年	各 2	
			日本文学 A / 日本文学 B	1～4 年	各 2	
			外国文学 A / 外国文学 B	1～4 年	各 2	
			文章論 (定員制)	1～4 年	2	
			言語学 A / 言語学 B (定員制)	1～4 年	各 2	
			哲学 I / 哲学 II	1～4 年	各 2	
		2 群	法学 I / 法学 II	1～4 年	各 2	
			法学 (日本国憲法)	1～4 年	2	
			経済学 I / 経済学 II	1～4 年	各 2	
			心理学 I / 心理学 II	1～4 年	各 2	
			地理学 I / 地理学 II	1～4 年	各 2	
		3 群	教養数学 A / 教養数学 B	1～4 年	各 2	
			基礎数学 I / 基礎数学 II	2～4 年	各 2	
			入門物理学 A / 入門物理学 B	1～4 年	各 2	
			入門生物学 A / 入門生物学 B	1～4 年	各 2	
		5 群	スポーツ総合演習	1 年	2	
			スポーツ総合演習 S	1～4 年	2	
	外国語科目	4 群	Academic English I / Academic English II 諸外国語(1) I / 諸外国語(1) II	1 年 1 年	各 2 各 1	
200番台	リベラルアーツ科目	0 群	法政学の探究 LA	1～4 年	2	
			法政学の探究 LB	1～4 年	2	
		1 群	日本文学と文化 LA / 日本文学と文化 LB	1～4 年	各 2	
			日本文学と文化 LC / 日本文学と文化 LD	1～4 年	各 2	
			日本文学と文化 LE / 日本文学と文化 LF	1～4 年	各 2	
			日本文学と文化 LG / 日本文学と文化 LH	1～4 年	各 2	
			外国文学と文化 LA / 外国文学と文化 LB	1～4 年	各 2	
			外国文学と文化 LC / 外国文学と文化 LD	1～4 年	各 2	
			外国文学と文化 LE / 外国文学と文化 LF	1～4 年	各 2	
			文学と社会 LA / 文学と社会 LB	1～4 年	各 2	
			文学と社会 LC / 文学と社会 LD	1～4 年	各 2	
		2 群	経済学 LA / 経済学 LB	1～4 年	各 2	
			心理学 LA / 心理学 LB	1～4 年	各 2	
			地理学 LA / 地理学 LB	1～4 年	各 2	
			地理学 LC / 地理学 LD	1～4 年	各 2	
			政治学 LA / 政治学 LB	1～4 年	各 2	
		3 群	数学特講 LA / 数学特講 LB	1～4 年	各 2	
			発展数学 I / 発展数学 II	2～4 年	各 2	
			教養物理学 LA / 教養物理学 LB	2～4 年	各 2	
			教養生物学 LA / 教養生物学 LB	1～4 年	各 2	
		4 群	ドイツの文化と社会 LA / ドイツの文化と社会 LB (定員:30)	2～4 年	各 2	
			ドイツ語の世界 LA / ドイツ語の世界 LB (定員:60)	1～4 年	各 2	
			フランスの文化と社会 LA / フランスの文化と社会 LB (定員:30)	1～4 年	各 2	
			フランス語の世界 LA / フランス語の世界 LB (定員:40)	1～4 年	各 2	
			フランス生活文化論 LA / フランス生活文化論 LB (定員:40)	1～4 年	各 2	
			ロシアの文化と社会 LA / ロシアの文化と社会 LB (定員制)	2～4 年	各 2	
			ロシア語の世界 LA / ロシア語の世界 LB (定員:60)	1～4 年	各 2	
		5 群	健康の科学 LA / 健康の科学 LB (定員制)	1～4 年	各 2	
	外国語科目	4 群	諸外国語(3) I / 諸外国語(3) II (注 4) 英語選択必修科目 (P35 参照)	2 年 1～3 年	各 1 各 1	

(注 1) 開講期は時間割または Web シラバスを参照してください。

(注 2) 2019 年度より「法政学への招待」は、「大学を知ろう <法政学>への招待」へ科目名称が変更となりました。

2018 年度以前に「法政大学への招待」を修得済みの場合は、「大学を知ろう <法政学>への招待」を履修できません。

(注 3) 2017 年度をもって、「キャリアデザイン演習」、「就業基礎力養成 I / II」は開講しました。

2017 年度以前に「就業基礎力養成 I」を修得済みの場合は、「キャリアデザイン応用」を履修できません。

★2017 年度以降入学 国際政治学科用★

科目名	履修年次	単位	単位規程		系列単位規程と下記要件を同時に満たすこと		
			全学科				
キャリアデザイン入門	1年次のみ	2	選択				
キャリアデザイン応用	1～4年	2					
大学を知ろう <法政学>への招待(注2)	1～4年	2					
倫理学Ⅰ/倫理学Ⅱ	1～4年	各2	4単位以上	14単位以上	22単位以上		
論理学Ⅰ/論理学Ⅱ	1～4年	各2					
東洋史Ⅰ/東洋史Ⅱ	1～4年	各2					
西洋史Ⅰ/西洋史Ⅱ	1～4年	各2					
日本史Ⅰ/日本史Ⅱ	1～4年	各2					
宗教論Ⅰ/宗教論Ⅱ	1～4年	各2					
芸術A/芸術B	1～4年	各2					
政治学Ⅰ/政治学Ⅱ	1～4年	各2	4単位以上				
社会学Ⅰ/社会学Ⅱ	1～4年	各2					
文化人類学	1～4年	2					
社会思想Ⅰ/社会思想Ⅱ	1～4年	各2					
入門化学A/入門化学B	1～4年	各2	4単位以上				
サイエンス・ラボA/サイエンス・ラボB(定員制)	1～4年	各2					
天文学A/天文学B	1～4年	各2					
科学史A/科学史B	1～4年	各2					
			2単位				
			選択(2単位まで)				
諸外国語(2)Ⅰ/諸外国語(2)Ⅱ	1年	各1	8単位				
情報処理演習Ⅱ(定員:50)	1・2年	2	選択	6単位以上	44単位以上		
文学と社会LE/文学と社会LF	1～4年	各2	2単位以上				
音声学L(定員制)	1～4年	2					
哲学ⅠⅠ/哲学ⅠⅡ	1～4年	各2					
倫理学ⅠⅠ/倫理学ⅠⅡ	1～4年	各2					
論理学ⅠⅠ/論理学ⅠⅡ	1～4年	各2					
東洋史ⅠⅠ/東洋史ⅠⅡ	1～4年	各2					
西洋史ⅠⅠ/西洋史ⅠⅡ	1～4年	各2					
日本史ⅠⅠ/日本史ⅠⅡ	1～4年	各2					
宗教論ⅠⅠ/宗教論ⅠⅡ	1～4年	各2					
社会学ⅠⅠ/社会学ⅠⅡ	2～4年	各2	2単位以上				
社会学ⅠⅢ/社会学ⅠⅣ	1～4年	各2					
文化人類学Ⅰ	1～4年	2					
社会思想ⅠⅠ/社会思想ⅠⅡ	1～4年	各2					
教養生物学ⅠⅢ/教養生物学ⅠⅣ	1～4年	各2	2単位以上				
教養生物学ⅠⅤ/教養生物学ⅠⅥ	1～4年	各2					
教養化学ⅠⅠ/教養化学ⅠⅡ	1～4年	各2					
中国の文化と社会ⅠⅠ、中国の文化と社会ⅠⅢ/ 中国の文化と社会ⅠⅤ、中国の文化と社会ⅠⅥ(定員:60)	2～4年	各2	選択				
中国語の世界ⅠⅠ/中国語の世界ⅠⅡ(定員:60)	1～4年	各2					
スペイン語の世界ⅠⅠ/スペイン語の世界ⅠⅡ(定員:40)	1～4年	各2					
朝鮮の文化と社会ⅠⅠ/朝鮮の文化と社会ⅠⅡ(定員:30)	2～4年	各2					
日本の文化と社会ⅠⅠ/日本の文化と社会ⅠⅡ(定員:30)	2～4年	各2					
日本語の世界ⅠⅠ/日本語の世界ⅠⅡ(定員:30)	2～4年	各2					
※このほかにも履修可能な外国語科目があります。P35を参照してください。			2単位以上				
			4単位以上				

(注4) 朝鮮語は、朝鮮語(3)Ⅰ/朝鮮語(3)Ⅱまたは朝鮮語3CⅠ/朝鮮語3CⅡを履修します。詳細はP47を参照してください。

(注5) ILAC科目4群の卒業所要単位を修得済の方で他の諸外国語を履修したい方は、法学部窓口にご相談してください。
なお、卒業所要単位を修得していない場合は、入学時に選択した諸外国語以外は履修できません。

《外国語科目一覧(必修科目除く)》

★2017 年度以降入学 国際政治学科用★

	必修選択	科目	単位	定員	履修年次	備考
英語	選択必修*	入門英語(SSI)Ⅰ／Ⅱ	各1	48	1～4	SSI 生のみ履修可
		英語オーラル・コミュニケーションⅠ／Ⅱ	各1	24	1～4	
		ビジネス・イングリッシュⅠ／Ⅱ	各1	24	1～4	
		English Reading and VocabularyⅠ／Ⅱ	各1	－	1～4	
		English Academic WritingⅠ／Ⅱ	各1	20	1～4	
		英語で学ぶ社会と文化Ⅰ／Ⅱ	各1	36	1～4	
		English PresentationⅠ／Ⅱ	各1	－	1～4	
		英語アカデミック・リーディングⅠ／Ⅱ	各1	36	1～4	
		英語検定試験対策Ⅰ／Ⅱ	各1	36	1～4	
ドイツ語	選択	入門ドイツ語(SSI)Ⅰ／Ⅱ	各1	30	1～4	SSI 生のみ履修可
		ドイツ語表現法Ⅰ／Ⅱ	各1	20	2～4	
		検定ドイツ語Ⅰ／Ⅱ	各1	30	2～4	
		ドイツ語コミュニケーションⅠ／Ⅱ	各1	20	2～4	
		ドイツ語視聴覚Ⅰ／Ⅱ	各1	30	2～4	
		時事ドイツ語Ⅰ／Ⅱ	各1	30	2～4	
フランス語	選択	フランス語視聴覚(入門)Ⅰ／Ⅱ	各1	30	2～4	
		フランス語視聴覚(初・中級)Ⅰ／Ⅱ	各1	30	2～4	
		フランス語コミュニケーション(初級)Ⅰ／Ⅱ	各1	30	1～4	
		時事フランス語Ⅰ／Ⅱ	各1	30	1～4	
		検定フランス語(初級)Ⅰ／Ⅱ	各1	30	1～4	
		情報フランス語Ⅰ／Ⅱ	各1	30	1～4	
中国語	選択	中国語視聴覚初級Ⅰ／Ⅱ	各1	35	2～4	
		中国語作文初級Ⅰ／Ⅱ	各1	15	2～4	
		中国語コミュニケーション基礎Ⅰ／Ⅱ	各1	20	1～4	
		中国語コミュニケーション初級Ⅰ／Ⅱ	各1	20	2～4	
		資格中国語初級Ⅰ／Ⅱ	各1	40	2～4	
スペイン語	選択	時事スペイン語Ⅰ／Ⅱ	各1	30	2～4	
		スペイン語コミュニケーションⅠ／Ⅱ	各1	30	3～4	
朝鮮語	選択	朝鮮語 5A(講読)Ⅰ／Ⅱ	各1	30	3～4	
		朝鮮語 5B(表現法)Ⅰ／Ⅱ	各1	30	3～4	

(注 1)「選択必修*」・・・3 年次終了までに 4 単位以上を修得する必要があります。履修の際は、P46～47 も参照してください。

**2020年度開講市ヶ谷リベラルアーツセンター主催 グローバル・オープン科目
単位修得時の認定先について
※対象学部:法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン学部**

2020年度に開講される下記のグローバル・オープン科目は、上記の学部に関し、
ILAC科目(2017年度以降入学生)/市ヶ谷基礎科目(2016年度以前入学生)として認定されます。

開講学期	科目名		＜2017年度以降入学生＞ 認定先のILAC科目の区分・系列	＜2016年度以前入学生＞ 認定先の市ヶ谷基礎科目の区分・系列
秋	Elementary Information Technology	⇒	100番台・0群選択基盤科目	基礎科目0群(選択)
秋	Elementary Career Development			
春	Humanities B	⇒	200番台・1群リベラルアーツ科目	基礎科目1群
秋	Humanities A			
春	Elementary Social Science A	⇒	100番台・2群基盤科目	基礎科目2群
秋	Elementary Social Science B			
秋	Elementary Humanities A	⇒	100番台・1群基盤科目	基礎科目1群
秋	Elementary Humanities B			
春	Social Science B	⇒	200番台・2群リベラルアーツ科目	基礎科目2群
秋	Social Science A			
春	Natural Science B	⇒	200番台・3群リベラルアーツ科目	基礎科目3群
春	Health and Physical Education	⇒	200番台・5群リベラルアーツ科目	基礎科目5群(選択)
春	Information Technology	⇒	200番台・0群リベラルアーツ科目	基礎科目0群(選択)
春	Career Development Skills			
秋	Elementary Health and Physical Education	⇒	100番台・5群基盤科目(選択)	基礎科目5群(選択)
春	English Academic Writing I ※	⇒	200番台選択外国語科目	基礎科目4群(選択)
秋	English Academic Writing II ※			
春	English Presentation I ※			
秋	English Presentation II ※			
春	English Reading and Vocabulary I			
秋	English Reading and Vocabulary II			
秋	Intercultural Communication A	⇒	200番台・4群リベラルアーツ科目 2017年度以前に左記科目を履修した際は 「200番台選択外国語科目」として認定されま したが、2018年度以降は「200番台・4群リベラ ルアーツ科目」として認定されます。	基礎科目4群(選択)
秋	Intercultural Communication B			
秋	Intercultural Communication C			
春	Intercultural Communication D			
春	Intercultural Communication F	⇒	200番台選択外国語科目	基礎科目4群(選択)
春	Intercultural Communication H			
秋	Intercultural Communication E			
秋	Intercultural Communication G			
秋	Natural Science A (Human Impact on the Global Environment と同一授業)	⇒	300番台総合科目(履修年次2～4年) 人間環境・キャリアデザイン学部生は 公開科目として認定	総合科目(履修年次2～4年) 人間環境・キャリアデザイン学部生は 公開科目として認定
春	Liberal Arts Seminar I	⇒	300番台総合科目(履修年次2～4年) 人間環境・キャリアデザイン学部生は 公開科目として認定	総合科目(履修年次2～4年) 人間環境・キャリアデザイン学部生は 公開科目として認定
秋	Liberal Arts Seminar II			

※＜2016年度以前入学生の方へ＞「English Academic Writing I/ II」は4群選択科目「英語アカデミック・ライティングI/II」と同じ科目です。法・文・経営・国際文化学部の方は、4群選択科目として履修してください。

※＜2016年度以前入学生の方へ＞「English Presentation I/II」は4群選択科目「映画で学ぶ英語I/II」と同じ科目です。法・文・経営・国際文化学部の方は、4群選択科目として履修してください。

<ILAC科目の履修上の注意>

留級した学生および進級した学生が未修得の科目を再履修する場合は、法政ポータルサイト (Hoppii) 内の Web 掲示板の案内を確認してください。

URL: <https://hoppii.hosei.ac.jp>



※科目名については P29～35 および WEB シラバスを参照してください。

1-2. ILAC (アイラック) 科目 0 群～3 群

☆0 群☆

- a.「キャリアデザイン入門」は、1 年次のみ履修可能です。
- b.「キャリアデザイン応用」は、2017 年度までに「就業基礎力養成Ⅰ」の単位を修得した方は履修できません。

	2017 年度までに 就業基礎力養成Ⅰの 単位を修得済み	2017 年度までに 就業基礎力養成Ⅱの 単位を修得済み	2017 年度までに キャリアデザイン演習の 単位を修得済み
キャリアデザイン応用	×履修できません	○履修できます	○履修できます

- c.「大学を知ろう <法政学>への招待」は、2018 年度までに「法政学への招待」の単位を修得した方は履修できません。
- d.「基礎ゼミⅠ/Ⅱ」: 受講学部・学科を優先するものがあるので、時間割やシラバスに注意してください。
- e.「情報処理演習Ⅰ/Ⅱ」: コンピュータを使用する実習を伴う授業のため、事前に登録(定員超過の場合抽選)が必要です。詳細は法政ポータルサイト(Hoppii)内の Web 掲示板等で発表するので必ず確認してください。なお、Ⅰ/Ⅱは連続履修する必要があり、事前登録後の履修登録取り消しは、原則認められていません。

☆1 群～3 群☆

- a. 1 年次生が ILAC 科目 1 群～3 群の科目を履修する場合は、学部・学科・クラス等の指定があります。2～4 年次生が履修する場合は学部・学科・クラスの指定はありません。ILAC 科目時間割を確認し、選択してください。
- b.「教養数学 A・B」は 1 年次生以上が履修可能です。「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」は 2 年次生以上が履修可能です。
- c.「サイエンス・ラボ A」と「サイエンス・ラボ B」は実験授業のため定員制です。そのため、履修登録前に仮登録が必要です。仮登録の詳細については、法政ポータルサイト(Hoppii)内の Web 掲示板等を参照してください。

2020年度から【注意：履修登録期間の前に実施】

ILAC 科目大人数授業の抽選実施について

本学では教育の質向上、学修環境の整備をはかり、単位制度の実質化を推進しています。学生の皆さんに適正な授業環境を提供することは、本学教育上の使命を果たす上での大前提とも言えます。

そこで、今年度(2020年度)より、以下の授業(昨年度の履修登録者数を基に選定)について、抽選制を導入します。対象授業の履修を希望する場合には、抽選ガイド(※)をよく読み、手続きを行ってください。

抽選申し込み期間・方法・抽選結果発表について

詳細は、抽選ガイド(※)を確認してください。

(※)抽選ガイドは、法政ポータルサイト Hoppii からアクセスできる Web 掲示板に掲載します。

Hoppii URL: <https://hoppii.hosei.ac.jp>

QR コード:



抽選のルール及び抽選対象授業について

抽選ルールは以下のとおりです。

- ・春学期・秋学期セット(例:以下の表の項番 1)で当選とする。
- ・抽選後、定員に満たなかった場合にも、追加受け入れはしない。
- ・原則、当選した場合は春学期・秋学期授業ともに履修することとするが、やむを得ず履修を取りやめたい場合には、各学部の履修登録期間中に履修登録を削除すること。その場合、削除した科目(単位)分の履修追加が可能である(ただし、各学部の履修上限の範囲内)。※留学期間中の履修登録の対応については、学部の指導に従ってください。

抽選に申し込む際には、落選する可能性があることを十分考慮して、履修計画を立ててください。

抽選対象授業は以下のとおりです。

項番	科目分類 (※1)	優先順位 (※2)	科目名	曜日時限	教員名	履修対象	抽選定員 (※3)
1	1群 基盤	B	外国文学A/B	水曜 3 時限	梁 禮先	法文営国環キ 1～4 年	308名
2	1群 基盤	A	東洋史Ⅰ/Ⅱ	月曜 5 時限	齋藤 勝	法 1 年 A～N、 国キ 1 年、 法文営国環キ 2～4 年	502名
3	1群 リベラル	B	日本文学と文化 LG/LH	火曜 3 時限	榎本 正樹	法文営国環キ 1～4 年	355名
4	1群 リベラル	B	日本文学と文化 LG/LH	火曜 4 時限	榎本 正樹	法文営国環キ 1～4 年	466名
5	2群 基盤	A	社会思想Ⅰ/Ⅱ	月曜 3 時限	熊沢 敏之	環 1 年、 法文営国環キ 2～4 年	400名
6	2群 リベラル	B	心理学LA/LB	水曜 5 時限	海部 紀行	法文営国環キ 1～4 年	400名
7	2群 リベラル	B	心理学LA/LB	木曜 5 時限	海部 紀行	法文営国環キ 1～4 年	466名
8	3群 リベラル	B	教養化学LA (※春学期のみ)	水曜 4 時限	向井 知大	法文営国環キ 1～4 年	400名

(※1)科目分類について 基盤:基盤科目、リベラル:リベラルアーツ科目を示します。

(※2)優先順位について A :1年次生が優先です。 B :2～4年次生が優先です。

(※3)抽選定員は教室定員と連動しているため、今後変更となる可能性もあります。

1-3. 外国語の履修(ILAC 科目 4群)

(法律学科・政治学科生対象)

外国語については、次のいずれかの方法で単位を修得します。なお、入学時に選択した諸外国語は、途中から他の外国語に変更することはできません。外国語の履修は、以下のパターン A とパターン B の2種類あります。どちらのパターンでの履修を希望するか、1年次の秋学期に希望登録を行います。パターン A、B ともに、1年次の履修科目に違いはありません。希望登録についての詳細は、P44 を必ず確認してください。

		パターンA	パターンB
1年次春学期	英語	2 単位	
	諸外国語	2 単位	
1年次秋学期	英語	2 単位	
	諸外国語	2 単位	
2年次春学期	英語	1 単位	—
	諸外国語	1 単位	2 単位
2年次秋学期	英語	1 単位	—
	諸外国語	1 単位	2 単位
合計		12 単位	12 単位

※留学生入試で入学した留学生は以下のパターンで履修します。

留学生非英語圏パターン				留学生英語圏パターン			
				1 年	2 年	合計	
日本語	1 年	2 年	合計	1 年	2 年	合計	
	4 単位	4 単位	8 単位	4 単位	4 単位	8 単位	
	4 単位	0 単位	4 単位	0 単位	0 単位	0 単位	
	0 単位	0 単位	0 単位	4 単位	0 単位	4 単位	
合計				8 単位	4 単位	12 単位	

※英語を母語とする国からの留学生は、「留学生英語圏パターン」で履修。

外国語必修科目の履修について

1年次 パターンにより、履修方法が異なりますので、以下をよく読み履修登録してください。

＜パターン A・B 共通＞

英語	English1 I / II	クラス指定があります。 4月1日に実施するELPA 英語プレイスメントテストαのスコアによりクラス分けを行います。 クラス分けは法政ポータルサイト(Hoppii)内の Web 掲示板で発表します。
	English2 I / II	
諸外国語	諸外国語1 I / II	クラス指定があります。 「ILAC科目時間割表」より、 <u>自分のクラス名の該当科目</u> を探し履修してください。
	諸外国語2 I / II	

＜留学生非英語圏パターン＞

日本語	日本語1 I / II	クラス指定があります。 「ILAC科目時間割表」より、 <u>自分のクラス名の該当科目</u> を探し履修してください。
	日本語2 I / II	
英語	English1 I / II	クラス指定があります。 4月1日に実施するELPA 英語プレイスメントテストαのスコアによりクラス分けを行います。 クラス分けは法政ポータルサイト(Hoppii)内の Web 掲示板で発表します。
	English2 I / II	

＜留学生英語圏パターン＞

日本語	日本語1 I / II	クラス指定があります。「ILAC科目時間割表」より、 <u>自分のクラス名の該当科目</u> を探し履修してください。
	日本語2 I / II	
諸外国語	諸外国語1 I / II	
	諸外国語2 I / II	

2年次 パターンにより、履修方法が異なりますので、以下をよく読み履修登録してください。

＜パターンA＞

英語	English3 I / II	クラス指定があります。 1年次秋学期に実施する希望登録内容(詳細はP44)と、1月(予定)に行われる ELPA 英語プレイスメントテストαのスコアによりクラス分けを行います。 クラス分けは法政ポータルサイト(Hoppii)内の Web 掲示板で発表します。
----	-----------------	--

諸外国語	<p>諸外国語3 I / II</p> <p>※フランス語選択の学生は、通常クラス「フランス語3 I」、「フランス語3 II」の代わりに、<u>より高度な運用能力を身につける、意欲のある学生向けの重点クラス「フランス語3 I / (インテンシブ)」、「フランス語3 II (インテンシブ)」を履修することができます。(※1)</u></p> <p>※朝鮮語選択の学生は、<u>朝鮮語3B I / II (クラス指定あり) または、朝鮮語3C I / II (クラス指定なし)</u>を履修してください。両科目とも履修することもできます。</p> <p>朝鮮語3A I / II (重点)は<パターンB>の学生が履修する授業のため、履修できません。</p>	<p>クラス指定があります。</p> <p>「ILAC科目時間割表」より、<u>自分のクラス名の該当科目</u>を探し履修してください。</p>
------	---	--

(※1) 通常クラス、重点クラスのいずれを履修しても、成績証明書には「フランス語3 I」または「フランス語3 II」と記載されます。

<パターンB>

英語	必修科目はありません。	選択科目は履修できます。
諸外国語	<p>諸外国語3 I / II</p> <p>※フランス語選択の学生は、通常クラス「フランス語3 I」、「フランス語3 II」の代わりに、<u>より高度な運用能力を身につける、意欲のある学生向けの重点クラス「フランス語3 I / (インテンシブ)」、「フランス語3 II (インテンシブ)」を履修することができます。(※1)</u></p> <p>※朝鮮語選択の学生は、<u>朝鮮語3A I / II (重点) (クラス指定あり) または、朝鮮語3B I / II (クラス指定あり)、または、朝鮮語3C I / II (クラス指定なし)</u>を履修してください。(※2)</p>	<p>クラス指定があります。</p> <p>「ILAC科目時間割表」より、<u>自分のクラス名の該当科目</u>を探して履修してください。</p>

諸外国語	<p>諸外国語4 I / II</p> <p>※諸外国語4 I / IIを履修することが原則ですが、その他の科目でも、諸外国語4 I / IIの各1単位(計2単位)分とすることができます。</p> <p>(例)＜ドイツ語＞</p> <p>ドイツ語4 I / IIまたはドイツ語表現法 I / IIを履修する。</p> <p>＜諸外国語4 I / IIの単位となる科目＞</p> <p>科目が複数ある言語について、対象科目をすべて履修することも可能です。</p> <p>ドイツ語</p> <p>ドイツ語4 I / II</p> <p>ドイツ語表現法 I / II</p> <p>フランス語</p> <p>フランス語4 I / II</p> <p>フランス語5 I / II</p> <p>フランス語視聴覚(入門) I / II</p> <p>フランス語視聴覚(初・中級) I / II</p> <p>ロシア語</p> <p>ロシア語4 I / II</p> <p>中国語</p> <p>中国語4 I / II (定員 30 名)(※3)</p> <p>中国語視聴覚初級 I / II</p> <p>中国語作文初級 I / II</p> <p>スペイン語</p> <p>スペイン語4 I / II</p> <p>時事スペイン語 I / II</p> <p>朝鮮語</p> <p>朝鮮語4A I / II (重点)</p> <p>朝鮮語4B I / II (※2)</p>	<p>「ILAC科目時間割表」より、該当科目を探して受講してください。</p> <p>★諸外国語4 I (春学期科目)の単位となる科目は「～ I」(春学期科目)、諸外国語4 II (秋学期科目)の単位となる科目は「～ II」(秋学期科目)です。</p>
------	---	--

(※1) 通常クラス、重点クラスのいずれを履修しても、成績証明書には「フランス語3 I」または「フランス語3 II」と記載されます。

(※2) パターンBの朝鮮語選択の学生は、以下のいずれかの組み合わせで履修してください。

	諸外国語3	+	諸外国語4
★①	朝鮮語3A I / II (重点)	+	朝鮮語4A I / II (重点)
☆②	朝鮮語3B I / II または 朝鮮語3C I / II	+	朝鮮語4B I / II

★①の朝鮮語3A I / II (重点)・朝鮮語4A I / II (重点)はリレー方式で授業を行うため、セットで履修するべき曜日時限が設定されています。詳しくは以下の表にて確認してください。上記の組み合わせで履修しない場合には、試験時に不利益が発生する場合があります。注意してください。

★①を選択した学生は、以下の表の a～c のいずれかのセットで履修してください。

	朝鮮語3A I / II (重点)			朝鮮語4A I / II (重点)	
	曜日時限	担当者名		曜日時限	担当者名
a	月曜 3 時限	梁 禮先	+	木曜 1 時限	内山 政春
b	月曜 5 時限	梁 禮先	+	金曜 5 時限	内山 政春
c	水曜 5 時限	梁 禮先	+	金曜 4 時限	内山 政春

☆②を選択した学生のうち、朝鮮語3B I / IIを履修する場合はクラス指定があります。朝鮮語3B I / IIのクラス指定は、ILAC科目時間割表で確認してください。

なお、朝鮮語3C I / II、朝鮮語4B I / IIにクラス指定はありません。

(※3)「中国語 4 I / II」は授業ごとに学部指定があります。必ず時間割表で確認し、履修してください。

＜留学生非英語圏・英語圏パターン共通＞

日本語	日本語3 I / II	クラス指定があります。 「ILAC科目時間割表」より、 <u>自分の学部が指定されている該当科目</u> を探し履修してください。
	日本語4 I / II	
英語	必修科目はありません。 ＜留学生非英語圏パターン＞	選択科目は履修できます。
諸外国語	必修科目はありません。 ＜留学生英語圏パターン＞	選択科目は履修できます。

2年次英語・諸外国語選択希望登録＜必須＞について

外国語の履修にはパターンAとパターンBの2種類あります。どちらのパターンでの履修を希望するか、1年次の秋学期に希望登録を行います。(注)英語選択の場合には、授業内容のカテゴリー、教員の主な使用言語に関する希望登録を行いますが、回答に添えない場合もあります。

回答方法・回答期間は、以下をよく確認して、忘れずに回答してください。希望登録＜必須＞に回答しない場合には、パターンAまたはBどちらで履修するか、自動的に割り振りますので注意してください。

【注意 1】回答期間終了後の変更は一切できません。

【注意 2】「2017 年度以降入学の1年次生」が対象です。留級した学生は、前年度までの回答が全て無効となりますので、今年度も必ず回答してください。

(補足)英語選択の場合には、本希望登録内容と、1月(予定)に行われるELPA 英語プレイスメントテストαのスコアによりクラス分けを行います。必ず1月(予定)に行われるELPA 英語プレイスメントテストαを受験してください。

回答期間 : 学科ごとに期間が異なります。アクセス集中を避けるため、必ず指定された期間で回答してください。

学部	対象学科	回答期間
法	法律学科	9 月 25 日(金)～9 月 27 日(日)
	政治学科	9 月 28 日(月)～9 月 30 日(水)

回答方法 : 学習支援システムから回答してください。

法政ポータルサイト(Hoppii)内の学習支援システムにログインする。

<https://hoppii.hosei.ac.jp>

【ログイン方法】

法政大学全学ネットワークシステムの統合認証システムの画面が表示されるので、ユーザ ID、パスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックします。※法政大学全学ネットワークシステムの統合認証システムのログイン ID、パスワードがわからない時は、法政大学総合情報センター (<http://www.hosei.ac.jp/human/index.html>) まで問い合わせてください。

※回答方法の詳細は、追って法政ポータルサイト(Hoppii)内の Web 掲示板に掲載します。

1-4. 外国語の履修(ILAC 科目 4 群)

(国際政治学科生対象)

外国語については、次のいずれかの方法で単位を修得します。なお、入学時に選択した諸外国語は、途中から他の外国語に変更することはできません。

【学年ごとの履修単位数】

	1年		2年		3年		合計
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
英語(必修)	2	2	-	-	-	-	4単位
諸外国語(必修)	2	2	1	1	-	-	6単位
必修科目計	4	4	1	1	-	-	10単位
選択英語(選択必修)	3年次終了までに4単位以上必要						4単位以上
合 計	4	4	1	1	(＋選択4以上)		14単位以上

1年次 1年次生は、必修科目として英語4単位、諸外国語4単位を必ず登録してください。
また、なるべく選択英語2単位以上を履修してください。

〈必修〉 英語	春学期	Academic English I	→	外部試験(4月のガイダンス時・6月)等によりクラスを編成します。必ず指定の試験を受験してください。 ※Academic English IIは秋学期に履修登録します。
	秋学期	Academic English II ※		
〈必修〉 諸外国語	春学期	諸外国語(1) I ・ (2) I	→	クラス指定があります。 「必修外国語授業時間割表」により、自分のクラス名の該当科目を履修してください。
	秋学期	諸外国語(1) II ・ (2) II		

選択英語は1年次から計画的に履修することを推奨します。

〈選択必修〉 英語	春学期	英語で学ぶ社会と文化 I	→	国際政治学科生用推奨クラスとして開講されます。左記以外の選択科目はP35を参照。
	秋学期	英語で学ぶ社会と文化 II		

※英語必修科目「Academic English I / II」は、2021年度より変更となる予定です。詳細は2021年度の履修の手引きで確認してください。

2年次 2年次生は、必修科目として諸外国語2単位を必ず登録してください。
また、可能な限り選択必修英語2単位以上を履修してください。

<必修> 諸外国語	春学期	諸外国語(3) I	→	クラス指定があります。 「必修諸外国語授業時間割表」により、自分のクラス名の該当科目を履修してください。 ※朝鮮語選択者は、「朝鮮語(3) I / II」または「朝鮮語 3C I / II」で履修してください。※両方履修することも可能です。
	秋学期	諸外国語(3) II		

<選択必修> 英語	選択英語は2年次までに必要な単位数(4単位)を満たすように履修することを強く推奨します。 1年次に選択英語を未修得の場合、選択英語科目の中からさらに2単位以上を履修することが望まれます。 選択科目は P35 を参照してください。
--------------	--

3年次 3年次の配当科目はありませんが、ILAC科目4群の卒業所要単位を満たすことが必要です。

選択科目を履修する場合

1. まず春学期の 1 回目の授業に出席し担当教員から受講許可を得てください(受講が許可された場合のみ履修登録が可能)。秋学期のみを履修する場合も春学期の 1 回目の授業で教員にその旨を申し出て受講許可を得てください。
2. 「英語で学ぶ社会と文化」では、英語選択科目で D、E 評価を一度でも受けたことがあり、かつ英語選択科目の修得単位が 4 単位未満の国際政治学科生の履修が最優先されます。
3. 「英語で学ぶ社会と文化」、「英語オーラル・コミュニケーション」、「ビジネス・イングリッシュ」、「英語アカデミック・リーディング」、「英語検定試験対策」では、英語選択科目の取得単位が 4 単位未満の国際政治学科生の履修が優先されます。国際政治学科の学生は初回授業時に、「成績通知書」を持参してください。
4. 履修登録についての注意事項

履修登録は、法政ポータルサイト(Hoppii)内の Web 掲示板にて登録番号を発表するので、通常の科目と同様に登録してください。なお、各科目とも半期(1 単位)ごとの登録となります。

留級した学生および進級した学生が未修得の科目を再履修する場合は、法政ポータルサイト(Hoppii)内の Web 掲示板の案内を確認してください。

URL: <https://hoppii.hosei.ac.jp>



ILAC科目(2017年度以降入学生)/基礎科目(2016年度以前入学生)

1-5. 5群(体育科目)の履修

(1)科目名・履修年次・単位

科目名(系列)	履修年次	単位	
(必修科目) スポーツ総合演習	原則として 1年次に履修	2単位	3年次修了までに必ず修得する必要があります。
(選択科目) <2017年度以降入学生> スポーツ総合演習S <2016年度以前入学生> スポーツ総合演習	1～4年次	2単位	必修ではありません。2単位まで履修できます。 修得した単位はILAC科目/基礎科目の単位として卒業所要単位に計上されます。

(2)内容

体育についての演習(講義および実技)

(3)授業形態・実施場所・期間

授業形態	授業期間	種目	場所
通常授業	春学期または秋学期	複数の種目の複合	①市ヶ谷総合体育館 ②富士見坂校舎体育館

(4)保健体育ガイダンス(保健体育時間割の説明・受講授業の決定・仮登録)

対象	内容	日時	場所
2020年度入学生	学部ガイダンスで説明 (日時・場所は入学時配布の「新入生連絡事項」を参照)		
2019年度以前入学生	必修科目の再履修ガイダンス ★必修単位未修得者は必ず参加する ★再履修で集中授業を希望する者もここに参加する	3月27日(金)13時～	富士見ゲート G502
全入学年度 共通	選択科目のガイダンス ★希望者のみ参加する	4月6日(月)9時30分～	富士見ゲート G503

※ガイダンス日時場所は変更になる可能性があります。詳細は法政ポータルサイト(Hoppii)内のWeb掲示板を確認してください。

(5)履修登録(日時等詳細は学部ガイダンスで説明)

①新入生の必修科目

Webの申請画面に事前登録されるので各自でWeb履修登録を完了してください。

②選択科目希望者

ガイダンスに参加して受講希望票を提出し、受講許可を得てから各自でWeb履修登録を完了してください。

(6)健康診断等

大学実施の健康診断を必ず受けてください。

(7)体育会入部者

授業の受講に代えて、体育会(準加盟部は除く)の活動により、5群科目の単位を修得することができます。

体育会活動による単位の修得は体育会での1年間の活動で2単位です。

在学中に体育会活動によって修得できる単位の上限は2単位です。

この制度を実施していない学部もあるので注意してください。

春学期履修登録期間内(部員本人の所属学部の指示する日)に申請手続きが必要となりますので、学部窓口にて用意してある所定用紙に記入の上、提出してください。

(8)連絡

体育科目に関わる連絡は、法政ポータルサイト(Hoppii)内のWeb掲示板、市ヶ谷総合体育館1F掲示板で行います。

(9)心身の状態についての相談

体育の授業を履修するにあたり、心身の状態について心配があり、相談したいという場合は、保健体育センターに問い合わせてください。

※問い合わせ先 **保健体育センター市ヶ谷体育課:電話03-3264-9498**

2.専門科目の履修について

2-1. 法学部専門科目一覧表

(1) 法律学科専門科目一覧表【2012年度以降入学用】

履修系列		授業科目名	単位数	受講年次	履修期	クラス指定※	備考	政治学科 共通科目	法曹コース 必修科目
専門科目 8 単位以上	選択必修科目 3 2 単位以上	憲法 I 憲法 II 憲法 III 憲法 IV 総合統治機構 (法曹コース)	2	1~4	春学期	有		○	○
			2	1~4	秋学期	有		○	○
			2	2~4	春学期	有		○	
			2	2~4	秋学期	有		○	
			2	2	春学期		※法曹コース生のみ履修可能		○
		行政法入門 I 行政法入門 II 行政作用法 I 行政作用法 II 行政救済法 I 行政救済法 II	2	2~3	春学期	有		○	○
			2	2~3	秋学期	有		○	○
			2	3~4	春学期				
			2	3~4	秋学期				
			2	3~4	春学期				
			2	3~4	秋学期				
		民法科 目 8 単位以上	2	1~4	秋学期	有			○
			2	1~4	春学期	有			○
			2	2~4	春学期				○
			2	2~4	秋学期		「物権法」の受講経験有が望ましい		○
			2	2~4	春学期	有			○
			2	2~4	秋学期	有	「契約法 II」の受講経験有が望ましい		○
			2	1~4	秋学期				○
			2	2~4	春学期		「契約法 I または II」の受講経験有が望ましい		
			2	2~4	春学期		「契約法 I または II」の受講経験有が望ましい		
			2	2	春学期		※法曹コース生のみ履修可能		○
		民法科 目 6 単位以上	2	3	秋学期		※法曹コース生のみ履修可能		○
			4	2~4	年間	有			○
			2	3~4	春学期				
			2	3~4	秋学期				
			2	3~4	-		※入学年度によって単位集計先が異なります。 2017年度以降入学用者:選択必修科目 商法科目 (6単位以上) 2016年度以前入学用者:選択科目 ←選択必修科目にはなりません。		
			2	3~4	-				
			4	3~4	年間				
			2	2~4	春学期				
			2	2~4	秋学期				
			2	2~4	春学期	有	※入学年度によって単位集計先が異なります。 2017年度以降入学用者:選択必修科目 民法科目 (6単位以上) 2016年度以前入学用者:選択科目 ←選択必修科目にはなりません。		
		民法科 目 2 単位以上	2	3~4	春学期				○
			2	3~4	秋学期				○
			2	3~4	秋学期				
			2	3~4	春学期				
			2	3~4	秋学期				
			2	3~4	春学期				
			2	3~4	秋学期				
			2	3~4	春学期				
			2	2~4	秋学期				
			2	2~4	秋学期	有			○
		刑法科 目 4 単位以上	2	2~4	秋学期				○
			2	3~4	春学期				
			2	3~4	春学期	有			
			2	1	春学期				
			2	3~4	春学期		※入学年度によって単位集計先が異なります。 2018年度以降入学用者:選択必修科目 刑事法科目 (4単位以上) 2017年度以前入学用者:選択科目 ←選択必修科目にはなりません。		
			2	3~4	秋学期				
			2	3	秋学期		※法曹コース生のみ履修可能		○
		社会法 科 目 2 単位以上	2	2~4	春学期	有			
			2	2~4	秋学期	有			
		国際法 科 目 2 単位以上	2	2~4	春学期			○	
			2	2~4	秋学期			○	
			2	3~4	秋学期			○	
			2	3~4	春学期			○	
			2	3~4	春学期				
			2	3~4	秋学期				
			2	2~4	春学期			○	
			2	2~4	秋学期			○	
			2	2~4	春学期				
			2	2~4	秋学期				
		憲法科 目	2	3~4	春学期				
			2	3~4	春学期				
			2	3~4	秋学期				
			2	3~4	春学期				
			2	2~4	春学期				
			2	3~4	秋学期				
			2	3~4	秋学期				
			2	2~4	-				
			2	2~4	-			○	
			2	2~4	-			○	
		行政法 科 目	2	2~4	春学期				
			2	2~4	秋学期				
			2	3~4	春学期				
			2	3~4	秋学期				
			2	3~4	春学期				
			2	3~4	秋学期				
			2	3~4	春学期				
			2	3~4	秋学期				
			2	3~4	春学期				
			2	3~4	秋学期				
		民法科 目	2	3~4	春学期				
			2	3~4	秋学期		「親族法」の受講経験有が望ましい		
			2	3~4	春学期				
			2	3~4	秋学期		「消費者法 I」の受講経験有が望ましい		
			2	2~4	秋学期				
			2	2~4	春学期				
			2	2~4	秋学期				
			2	2~4	春学期	有	※入学年度によって単位集計先が異なります。 2017年度以降入学用者:選択必修科目 商法科目 (6単位以上) 2016年度以前入学用者:選択科目 ←選択必修科目にはなりません。		
			4	3~4	年間				
			2	3~4	-				
			2	3~4	-				
		商法科 目	2	3~4	-				
			2	3~4	-				
			2	3~4	-				
			2	3~4	-				
			2	3~4	-				
			2	3~4	-				
			2	3~4	-				
			2	3~4	-				
			2	3~4	-				
			2	3~4	-				

※2017年度以前入学用者は「労働法科目」
※クラス指定は、時間割を参照すること。

履修系列		授業科目名	単位数	受講年次	履修期	クラス指定※	備考	政治学科 共通科目	法曹コース 必修科目
専門科目 8 単位以上	選択科目	商法科目	企業金融法Ⅰ	2	3～4	—	※入学年度によって単位集計先が異なります。 2017年度以降入学者：選択必修科目 商法科目(6単位以上) 2016年度以前入学者：選択科目 → 選択必修科目にはなりません。		
			企業金融法Ⅱ	2	3～4	—			
			企業買収法Ⅰ	2	3～4	—			
			企業買収法Ⅱ	2	3～4	—			
			経済法Ⅲ	2	3～4	秋学期			
			企業規制の法律学Ⅰ	2	3～4	春学期			
		刑事法科目	企業規制の法律学Ⅱ	2	3～4	—			
			刑法総論Ⅱ	2	2～4	春学期	「刑法総論Ⅰ」の受講経験有が望ましい ※入学年度によって単位集計先が異なります。 2018年度以降入学者：選択必修科目 刑事法科目(4単位以上) 2017年度以前入学者：選択科目 → 選択必修科目にはなりません。		
			刑事訴訟法Ⅰ	2	3～4	春学期			
			刑事訴訟法Ⅱ	2	3～4	秋学期			
			犯罪学	2	2～4	春学期			
			刑事政策	2	2～4	秋学期			
		社会法科目※	実務刑事法	4	3～4	—			
			社会安全政策論Ⅰ	4	3～4	春学期			
			社会安全政策論Ⅱ	4	3～4	—			
			労働組合法	2	3～4	春学期			
			労働法特論	2	3～4	秋学期			
			社会保障法Ⅰ	2	3～4	春学期			
		国際関係法科目	社会保障法Ⅱ	2	3～4	秋学期		○	
			社会政策	2	3～4	春学期		○	
			雇用・福祉政策	2	3～4	秋学期			
			教育法Ⅰ	2	2～4	春学期			
			教育法Ⅱ	2	2～4	春学期			
			国際民事訴訟法	2	3～4	—			
		基礎法科目	国際人権法	4	3～4	年間	法律学科生は国際政治学科の「国際環境法Ⅰ/Ⅱ」は履修不可 法律学科生は国際政治学科の「国際経済法Ⅰ/Ⅱ」は履修不可		
			国際組織法	2	3～4	—			
			国際環境法	2	3～4	—			
			国際刑事法	2	3～4	秋学期			
			国際経済法	2	3～4	秋学期			
			法哲学Ⅰ	2	2～4	春学期			
		複合先端科目	法哲学Ⅱ	2	2～4	秋学期			
			日本法制史Ⅰ	2	2～4	春学期			
			日本法制史Ⅱ	2	2～4	秋学期			
			日本法制史Ⅲ	2	3～4	春学期			
			日本法制史Ⅳ	2	3～4	秋学期			
			ドイツ法制史Ⅰ	2	2～4	春学期			
		特講	ドイツ法制史Ⅱ	2	2～4	秋学期			
			イギリス法制史Ⅰ	2	2～4	春学期			
			イギリス法制史Ⅱ	2	2～4	秋学期			
			法社会学	4	2～4	秋学期集中			
			英米法Ⅰ	2	3～4	春学期			
			英米法Ⅱ	2	3～4	秋学期			
		入門科目	アジア法Ⅰ	2	3～4	春学期			
			アジア法Ⅱ	2	3～4	秋学期			
			外国法Ⅰ	2	3～4	—			
			外国法Ⅱ	2	3～4	—			
			法思想史	2	1～3	秋学期			
			法と遺伝学Ⅰ	2	3～4	春学期			
		演習科目	法と遺伝学Ⅱ	2	3～4	秋学期	「法と遺伝学Ⅰ」の受講経験有が望ましい		
			知的財産法Ⅰ	2	3～4	春学期			
			知的財産法Ⅱ	2	3～4	秋学期			
			知的財産法Ⅲ	2	3～4	秋学期			
			法と経済学	2	3～4	—			
			法律学特講(信託から眺める金融実務)	4	2～4	—			
		演習科目	法律学特講(経済刑法)	2	2～4	秋学期			
			法律学特講(死刑論)	2	2～4	—			
			法律学特講(法とスポーツ文化)	2	2～4	秋学期			
			法律学特講(こども行政と法)	2	2～4	春学期			
			法律学特講(政策と法)	2	2～4	秋学期			
			法律学特講(知的財産法の今日的課題)	2	3～4	春学期			
		演習科目	法律学特講(大陸法思想史)	2	1～4	春学期			
			法律学特講(英米法思想史)	2	1～4	春学期			
			法律学特講(憲法哲学)	2	1～4	秋学期			
			法律学特講(社会保障法の現代的課題Ⅰ)	2	2～4	春学期			
			法律学特講(社会保障法の現代的課題Ⅱ)	2	2～4	秋学期			
			法律学特講(権利救済の法政策)	2	2～4	—			
		演習科目	法律学特講(権利救済制度の現代的課題)	2	2～4	—			
			法律学特講(現代中国の法と社会Ⅰ)	2	2～4	—			
			法律学特講(現代中国の法と社会Ⅱ)	2	2～4	—			
			法律学特講(法学部同窓会寄付講座)企業法務への案内	2	2～4	秋学期			
			法律学特講(コロンビアビジネスの実務と知的財産権)	2	3～4	秋学期			
			法律学特講(芸術振興の法と政策－アート・ロー入門－)	2	3～4	サマーセッション			
		演習科目	法律学特講(働くということー現代の労働組合)	2	1～4	—			
			法学入門	2	1	春学期			
			法学入門演習	2	1	春学期			
			法律実務入門Ⅰ	2	2	春学期			
			法律実務入門Ⅱ	2	2	秋学期			
			外国書講読(英語)	4	2～4	—			
		演習科目	外国書講読(英語)Ⅰ	2	2～4	春学期			
			外国書講読(英語)Ⅱ	2	2～4	秋学期			
			外国書講読(独語)	4	2～4	—			
			外国書講読(独語)Ⅰ	2	2～4	—			
			外国書講読(独語)Ⅱ	2	2～4	秋学期			
			外国書講読(仏語)	4	2～4	—			
		演習科目	外国書講読(仏語)Ⅰ	2	2～4	春学期			
			外国書講読(仏語)Ⅱ	2	2～4	秋学期			
			演習	4・8	2～4	年間			
			法曹コース演習Ⅰ	2	2	秋学期			○
			法曹コース演習Ⅱ	2	3	春学期			○
			法曹コース演習Ⅲ	2	3	春学期			○
		卒業科目	法曹コース演習Ⅳ	2	3	秋学期	※法曹コース生のみ履修可能 ※法曹コース生のみ履修可能 ※法曹コース生のみ履修可能 ※法曹コース生のみ履修可能 時間割参照のこと		○
			政治学科科目	科目による	1～4	科目による			
			国際政治学科科目	科目による	1～4	科目による			
			電算実習科目	2	科目による	科目による			
			他学部公開科目	科目による	2～4	科目による			
			総合科目	科目による	科目による	科目による			
			グローバルオープン科目	科目による	科目による	科目による			

※2017年度以前入学者は「労働法科目」
※クラス指定は、時間割を参照すること。

(2) 政治学科専門科目一覧表【2012年度以降入学者用】

履修系列		授業科目名	単位数	受講年次	履修期	備考	国際政治学科 共通科目
科 必 4 目 修 単 位		政治学の基礎概念Ⅰ	2	1～4	春学期	※2016年度以前入学者で 「政治学の基礎概念Ⅰ(4単位・必修)」を未修得の学生は、 左記2科目を必ず一緒に履修すること。	共
		政治学の基礎概念Ⅱ	2	1～4	秋学期		共
専 門 科 目 8 8 単 位 以 上	選 択 科 目 8 4 単 位 以 上	共 通 選 択 科 目	演習	4	2～4	春学期	
				4	2～4	秋学期	
			政治学入門演習	4	1	年間	
			現代政治特講Ⅰ	4	1～4	-	
			現代政治特講Ⅰ	2	1～4	-	
			現代政治特講Ⅱ	2	1～4	-	
			国際政治特講Ⅰ	2	1～4	-	
			国際政治特講Ⅱ	2	1～4	-	
			政治学特殊講義Ⅰ(概説イタリア政治-歴史と思想)	2	1～4	-	
			政治学特殊講義Ⅱ(概説イタリア政治-歴史と思想)	2	1～4	-	
			政治学特殊講義Ⅰ(日韓比較政治思想)	2	1～4	春学期	
			政治学特殊講義Ⅱ(日韓比較政治思想)	2	1～4	秋学期	
			政治学特殊講義Ⅰ(安全保障政策)	2	1～4	春学期	
			政治学特殊講義Ⅰ(現代の政治理論)	2	1～4	春学期	
			政治学特殊講義Ⅱ(現代の政治理論)	2	1～4	秋学期	
			政治学特殊講義Ⅰ(20世紀の世界と政治思想)	2	1～4	-	
			政治学特殊講義Ⅱ(20世紀の世界と政治思想)	2	1～4	-	
			現代政策学特講Ⅰ(立法学)	2	1～4	春学期	
			現代政策学特講Ⅱ(立法学)	2	1～4	秋学期	「現代政策学特講Ⅰ(立法学)」の受講経験有が望ましい
			現代政策学特講Ⅰ(千代田区)	2	1～4	オースタム セッション	
			現代政策学特講Ⅱ(沖縄)	2	1～3	スプリング セッション	
			公共政策フィールドワーク	6	1～4	年間	
			A Short Introduction to Japanese Politics	2	1～4	秋学期	
			外国語演習Ⅰ	2	2～4	-	
			外国語演習Ⅱ	2	2～4	-	
			外国書講読(英語)Ⅰ	2	2～4	春学期	
			外国書講読(英語)Ⅱ	2	2～4	秋学期	
			外国書講読(独語)Ⅰ	2	2～4	春学期	
			外国書講読(独語)Ⅱ	2	2～4	秋学期	
			外国書講読(仏語)Ⅰ	2	2～4	春学期	
			外国書講読(仏語)Ⅱ	2	2～4	秋学期	
			外国書講読(朝鮮語)Ⅰ	2	2～4	春学期	
			外国書講読(朝鮮語)Ⅱ	2	2～4	秋学期	
			外国書講読(中国語)Ⅰ	2	2～4	春学期	
			外国書講読(中国語)Ⅱ	2	2～4	秋学期	
	理 論 ・ 歴 史 ・ 思 想		政治理論Ⅰ	2	1～4	春学期	
			政治理論Ⅱ	2	1～4	秋学期	「政治理論Ⅰ」の受講経験有が望ましい
			現代政治思想Ⅰ	2	1～4	-	
			現代政治思想Ⅱ	2	1～4	-	「現代政治思想Ⅰ」の受講経験有が望ましい
			公共哲学Ⅰ	2	1～4	春学期	
			公共哲学Ⅱ	2	1～4	-	
			政治構造論Ⅰ	2	1～4	春学期	G
			政治構造論Ⅱ	2	1～4	秋学期	G
			政治体制論Ⅰ	2	1～4	-	
			政治体制論Ⅱ	2	1～4	-	「政治体制論Ⅰ」の受講経験有が望ましい
			比較政治論Ⅰ	2	1～4	春学期	共
			比較政治論Ⅱ	2	1～4	秋学期	共
			政治意識論Ⅰ	2	1～4	-	
			政治意識論Ⅱ	2	1～4	-	
			政治文化論Ⅰ	2	2～4	-	
			政治文化論Ⅱ	2	2～4	-	
			生命政治論Ⅰ	2	1～4	-	
			生命政治論Ⅱ	2	1～4	-	「生命政治論Ⅰ」の受講経験有が望ましい
			公共政策Ⅰ	2	1～4	春学期	
			公共政策Ⅱ	2	1～4	秋学期	
			宗教文化論Ⅰ	2	1～4	春学期	G
			宗教文化論Ⅱ	2	1～4	秋学期	G
			ジェンダー論Ⅰ	2	1～4	春学期	G
			ジェンダー論Ⅱ	2	1～4	秋学期	「ジェンダー論Ⅰ」の受講経験有が望ましい
			フェミニズム思想Ⅰ	2	1～4	-	
			フェミニズム思想Ⅱ	2	1～4	-	
			マス・コミュニケーション論	4	1～4	年間	
			現代メディア論	2	1～4	-	G
			ジャーナリズム実践講座	2	2～3	-	G
			経済原論Ⅰ	2	1～4	春学期	共
			経済原論Ⅱ	2	1～4	秋学期	「経済原論Ⅰ」の受講経験有が望ましい
			日本政治論Ⅰ	2	1～4	春学期	A
			日本政治論Ⅱ	2	1～4	秋学期	「日本政治論Ⅰ」の受講経験有が望ましい
				A			

履修系列		授業科目名	単位数	受講年次	履修期	備考	国際政治学科 共通科目	
専門科目 8単位以上	理論・歴史・思想	日本政治史Ⅰ	2	1～4	春学期			
		日本政治史Ⅱ	2	1～4	秋学期	「日本政治史Ⅰ」の受講経験有が望ましい		
		日本政治思想史Ⅰ	2	1～4	春学期		共	
		日本政治思想史Ⅱ	2	1～4	秋学期		共	
		日米関係論Ⅰ	2	1～4	春学期			
		日米関係論Ⅱ	2	1～4	秋学期	「日米関係論Ⅰ」の受講経験有が望ましい		
		ロシア政治史Ⅰ	2	1～4	－			
		ロシア政治史Ⅱ	2	1～4	－	「ロシア政治史Ⅰ」の受講経験有が望ましい		
		国際政治史	4	1～4	－			
		歴史政治学	4	1～4	－			
		アメリカ政治史Ⅰ	2	1～4	春学期		A	
		アメリカ政治史Ⅱ	2	1～4	秋学期			
		ヨーロッパ政治史Ⅰ	2	1～4	春学期			
		ヨーロッパ政治史Ⅱ	2	1～4	秋学期			
		ヨーロッパ政治思想史Ⅰ	2	1～4	春学期		共	
		ヨーロッパ政治思想史Ⅱ	2	1～4	秋学期		共	
		政策・都市・行政	福祉政策Ⅰ	2	1～4	春学期		
			福祉政策Ⅱ	2	1～4	秋学期		
			比較福祉国家Ⅰ	2	1～4	春学期		G
			比較福祉国家Ⅱ	2	1～4	秋学期		G
			環境政策Ⅰ	2	1～4	春学期		
			環境政策Ⅱ	2	1～4	秋学期		
	経済政策Ⅰ		2	1～4	春学期			
	経済政策Ⅱ		2	1～4	秋学期	「経済政策Ⅰ」の受講経験有が望ましい		
	都市政策Ⅰ		2	1～4	春学期		共	
	都市政策Ⅱ		2	1～4	秋学期		共	
	政治政策論Ⅰ		2	1～4	－			
	政治政策論Ⅱ		2	1～4	－			
	公共投資論Ⅰ		2	1～4	春学期			
	公共投資論Ⅱ		2	1～4	－			
	NPO論Ⅰ		2	1～4	秋学期			
	NPO論Ⅱ		2	1～4	秋学期			
	行政学		4	1～4	年間		共	
	国際行政論Ⅰ		2	1～4	－			
	国際行政論Ⅱ		2	1～4	－			
	自治体論Ⅰ		2	1～4	春学期		共	
	自治体論Ⅱ		2	1～4	秋学期	「自治体論Ⅰ」の受講経験有が望ましい	共	
	政治過程論Ⅰ		2	1～4	春学期			
	政治過程論Ⅱ		2	1～4	秋学期	「政治過程論Ⅰ」の受講経験有が望ましい		
	コミュニティ論Ⅰ		2	1～4	春学期			
	コミュニティ論Ⅱ		2	1～4	秋学期			
	財政学Ⅰ		2	1～4	春学期			
	財政学Ⅱ		2	1～4	春学期	「財政学Ⅰ」の受講経験有が望ましい		
	行政管理論		4	1～4	－			
	協同組合論		2	1～4	秋学期	寄付講座(生活クラブ生活協同組合・東京)		
	他学科との 共通科目		法律学科との共通科目	科目による	1～4	科目による	「法律学科専門科目一覧表」の 政治学科共通科目欄に「○」が該当科目	
			国際政治学科との共通科目	科目による	科目による	科目による	国際政治学科専門科目一覧表の 政治学科共通科目欄に「○」が該当科目 受講年次は国際政治学科生と同一	
			総合科目の中の政治学科選択科目	科目による	科目による	科目による		
			経営学部との合併科目	2	科目による	科目による		
	その他		卒業論文	8	4	年間		
			リサーチペーパー	8	4	年間		
			※20単位 まで 自由科目	法律学科科目	科目による	1～4	科目による	法律学科との共通科目除く 「法学入門演習」「法学入門」「法律実務入門Ⅰ/Ⅱ」は履修不可
		Hosei Oxford Programme		2	1～4	年間		
	Sustainable Training for English Proficiency	2		1～4	秋学期			
	電算実習科目	2		科目による	科目による			
	他学部公開科目	科目による		2～4	科目による	受講年次は2～4年次かつ主催学部の受講年次以上 16単位まで履修可		
	総合科目	科目による		科目による	科目による	20単位まで履修可		
	グローバルオープン科目	科目による		科目による	科目による			

(3) 国際政治学科専門科目一覧表【2016年度以降入学者用】

履修系列	授業科目名	単位数	受講年次	履修期	備考	政治学科 共通科目
必2 修4 科単 目位	国際政治への案内	4	1～4	春学期集中	1年次の履修が望ましい	○
	Hosei Oxford Programme	2	1～4	年間	オックスフォード大学での短期英語研修にかわり、担当教員がそれと同等、あるいはそれ以上の内容を有すると認めた英語または他の外国語研修プログラムに参加することによって所定の要件を満たすことも可。	
	Sustainable Training for English Proficiency	2	1～4	秋学期		
	演習	4	2～4	春学期		
		4	2～4	秋学期		
専門科目 8単位以上 選択必修科目 44単位以上	国際政治学特講Ⅰ（中央アジアと日本の政治と外交）	2	1～4	-		○
	国際政治学特講Ⅱ	2	1～4	-		○
	グローバル政治史	2	1～4	-		○
	国際政治学入門	2	1～4	春学期		○
	国際政治の理論と現実	2	1～4	秋学期	「国際政治学入門」の受講経験有が望ましい	○
	ヨーロッパ統合論Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	ヨーロッパ統合論Ⅱ	2	1～4	秋学期		○
	EUの政治と社会Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	EUの政治と社会Ⅱ	2	1～4	秋学期	「EUの政治と社会Ⅰ」の受講経験有が望ましい	○
	東欧の政治と社会Ⅰ	2	1～4	-		○
	東欧の政治と社会Ⅱ	2	1～4	-	「東欧の政治と社会Ⅰ」の受講経験有が望ましい	○
	中東の政治と社会	4	1～4	秋学期集中		○
	旧ソ連諸国の政治と社会Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	旧ソ連諸国の政治と社会Ⅱ	2	1～4	秋学期	「旧ソ連諸国の政治と社会Ⅰ」の受講経験有が望ましい	○
	ラテンアメリカの政治と社会Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	ラテンアメリカの政治と社会Ⅱ	2	1～4	秋学期	「ラテンアメリカの政治と社会Ⅰ」の受講経験有が望ましい	○
	グローバル・ガバナンス	2	1～4	春学期		○
	国際協力論Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	国際協力論Ⅱ	2	1～4	秋学期	「国際協力論Ⅰ」の受講経験有が望ましい	○
	国際公共政策Ⅰ	2	1～4	-		○
	国際公共政策Ⅱ	2	1～4	-		○
	国際社会の法Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	国際社会の法Ⅱ	2	1～4	秋学期	「国際社会の法Ⅰ」の受講経験有が望ましい	○
	市民社会の法Ⅰ	2	1～4	春学期	法律学科「契約法Ⅰ」との合併科目	
	市民社会の法Ⅱ	2	1～4	秋学期	法律学科「民事法総論」との合併科目	
	政治学科との共通科目	科目による	1～4	科目による	「政治学科専門科目一覧表」の 国際政治学科共通科目欄に「共」が該当科目	
実10 実践 講座 科目 単位以上	International Politics	2	2～4	春学期		○
	Global Governance	2	2～4	春学期		○
	Japanese Politics	2	2～4	-		○
	Essay Writing	2	2～4	春学期・秋学期		
	Presentation Skills	2	2～4	春学期・秋学期		
	Debate	2	2～4	春学期・秋学期		
	海外メディア分析実習	2	2～4	春学期・秋学期		
	Global Internship	4	2～4	-		
	文章の書き方セミナー	2	2～3	春学期・秋学期		○
	学科で指定した大学院科目	2	2～4	科目による	学部-(72)参照	
総合 講座 科目 2単位以上	外交総合講座	2	1～4	-		○
	国際協力講座	2	1～4	秋学期		○
コース別 選択必修科目 18単位以上	アジア国際政治概論	2	1～4	秋学期		○
	朝鮮半島の政治と社会Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	朝鮮半島の政治と社会Ⅱ	2	1～4	秋学期	「朝鮮半島の政治と社会Ⅰ」の受講経験有が望ましい	○
	台湾の政治と社会Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	台湾の政治と社会Ⅱ	2	1～4	秋学期	「台湾の政治と社会Ⅰ」の受講経験有が望ましい	○
	中国の政治と社会Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	中国の政治と社会Ⅱ	2	1～4	秋学期	「中国の政治と社会Ⅰ」の受講経験有が望ましい	○
	東南アジアの政治と社会Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	東南アジアの政治と社会Ⅱ	2	1～4	-		○
	オセアニアの政治と社会Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	オセアニアの政治と社会Ⅱ	2	1～4	秋学期	「オセアニアの政治と社会Ⅰ」の受講経験有が望ましい	○
	北アメリカの政治と社会	4	1～4	-		○
	北アメリカの政治と社会Ⅰ	2	1～4	春学期		
	北アメリカの政治と社会Ⅱ	2	1～4	秋学期		
	日本の政治と社会Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	日本の政治と社会Ⅱ	2	1～4	秋学期	「日本の政治と社会Ⅰ」の受講経験有が望ましい	○
	アメリカ政治外交史	2	2～4	春学期		○
	現代のアメリカと世界	2	2～4	秋学期		○
	中国の政治と外交Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	中国の政治と外交Ⅱ	2	1～4	秋学期	「中国の政治と外交Ⅰ」の受講経験有が望ましい	○
	ロシアの政治と外交Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	ロシアの政治と外交Ⅱ	2	1～4	秋学期		○
	ヨーロッパ政治外交史Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	ヨーロッパ政治外交史Ⅱ	2	1～4	秋学期		○
	日本の政治と外交Ⅰ	2	1～4	秋学期		○
	日本の政治と外交Ⅱ	2	1～4	-	「日本の政治と外交Ⅰ」の受講経験有が望ましい	○
	アジア比較政治論Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	アジア比較政治論Ⅱ	2	1～4	秋学期	「アジア比較政治論Ⅰ」の受講経験有が望ましい	○
	政治学科との共通科目	科目による	1～4	科目による	「政治学科専門科目一覧表」の 国際政治学科共通科目欄に「A」が該当科目	

履修系列				授業科目名	単位数	受講年次	履修期	備考	政治学科 共通科目	
専門科目 8 単位以上	選択必修科目 4 単位以上	コース別選択必修科目 18 単位以上	グローバル・ガバナンスコース	国際機構論Ⅰ	2	1～4	春学期		○	
				国際機構論Ⅱ	2	1～4	秋学期	「国際機構論Ⅰ」の受講経験有が望ましい	○	
				平和・軍事研究Ⅰ	2	1～4	-		○	
				平和・軍事研究Ⅱ	2	1～4	-	「平和・軍事研究Ⅰ」の受講経験有が望ましい	○	
				国際NGO論Ⅰ	2	1～4	春学期		○	
				国際NGO論Ⅱ	2	1～4	秋学期	「国際NGO論Ⅰ」の受講経験有が望ましい	○	
				地域統合論Ⅰ	2	1～4	-		○	
				地域統合論Ⅱ	2	1～4	-	「地域統合論Ⅰ」の受講経験有が望ましい	○	
				国際文化交流Ⅰ	2	1～4	春学期		○	
				国際文化交流Ⅱ	2	1～4	春学期		○	
				地球環境論Ⅰ	2	2～4	秋学期	人間環境学部「自然環境政策論Ⅱ」との合併科目	○	
				地球環境論Ⅱ	2	2～4	秋学期	人間環境学部「環境科学Ⅱ」との合併科目	○	
				国際経済論Ⅰ	2	1～4	春学期		○	
				国際経済論Ⅱ	2	1～4	秋学期	「国際経済論Ⅰ」の受講経験有が望ましい	○	
				グローバル・ビジネス論Ⅰ	2	1～4	春学期		○	
				グローバル・ビジネス論Ⅱ	2	1～4	秋学期	「グローバル・ビジネス論Ⅰ」の受講経験有が望ましい	○	
				国際経済法Ⅰ	2	1～4	-		○	
				国際経済法Ⅱ	2	1～4	-		○	
				国際環境法Ⅰ	2	2～4	秋学期	人間環境学部「国際環境法」との合併科目	○	
				国際環境法Ⅱ	2	2～4	-		○	
				国際政治経済学Ⅰ	2	1～4	春学期		○	
				国際政治経済学Ⅱ	2	1～4	秋学期	「国際政治経済学Ⅰ」の受講経験有が望ましい	○	
				経済外交論Ⅰ	2	1～4	-		○	
				経済外交論Ⅱ	2	1～4	-		○	
				現代イスラム世界論	2	1～4	春学期		○	
				政治学科との共通科目	科目による	1～4	科目による	「政治学科専門科目一覧表」の 国際政治学科共通科目欄に「G」が該当科目		
	選択科目	他コース科目			科目による	2～4	科目による			
		卒業論文			8	4	年間			
		リサーチペーパー			8	4	年間			
		※20単位未満で自由科目	法学学科科目			科目による	3～4 (2～4)	科目による	※入学年度によって受講年次が異なります。 2017年度以降入学者:3～4年次 2016年度以前入学者:2～4年次 「法学入門演習」「法学入門」「法律実務入門Ⅰ/Ⅱ」は履修不可	
			政治学科科目			科目による	2～4	科目による	政治学科との共通科目除く 「政治学入門演習」は履修不可	
			電算実習科目			2	科目による	科目による		
			他学部公開科目			科目による	2～4	科目による	受講年次は2～4年次かつ主催学部の受講年次以上 16単位まで履修可	
			総合科目			科目による	科目による	科目による	20単位まで履修可	
		グローバルオープン科目			科目による	科目による	科目による			

(4) 国際政治学科専門科目一覧表【2012-15年度入学者用】

履修系列	授業科目名	単位数	受講年次	履修期	備考	政治学科 共通科目
必2 修6 科目 単位	国際政治学の基礎概念Ⅰ	4	1～4	-	※2015年度以前入学者で左記科目を未修得の学生は、「国際政治への案内」を履修すること。	○
	国際政治学の基礎概念Ⅱ	2	1～4	-	※2015年度以前入学者で左記科目を未修得の学生は、「国際政治学入門」を履修すること。	○
	Hosei Oxford Programme	2	1～4	年間	オックスフォード大学での短期英語研修にかわり、担当教員がそれと同等、あるいはそれ以上の内容を有すると認めた英語または他の外国語研修プログラムに参加することによって所定の要件を満たすことも可。	
	Sustainable Training for English Proficiency	2	1～4	秋学期		
演習		4	2～4	春学期		
		4	2～4	秋学期		
コース 共通科目	国際政治学特講Ⅰ（中央アジアと日本の政治と外交）	2	1～4	-		○
	国際政治学特講Ⅱ	2	1～4	-		○
	グローバル政治史	2	1～4	-		○
	国際政治学入門	2	1～4	春学期		○
	国際政治の理論と現実	2	1～4	秋学期	「国際政治学入門」の受講経験が望ましい	○
	ヨーロッパ統合論Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	ヨーロッパ統合論Ⅱ	2	1～4	秋学期		○
	EUの政治と社会Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	EUの政治と社会Ⅱ	2	1～4	秋学期	「EUの政治と社会Ⅰ」の受講経験が望ましい	○
	東欧の政治と社会Ⅰ	2	1～4	-		○
	東欧の政治と社会Ⅱ	2	1～4	-	「東欧の政治と社会Ⅰ」の受講経験が望ましい	○
	中東の政治と社会	4	1～4	秋学期集中		○
	旧ソ連諸国の政治と社会Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	旧ソ連諸国の政治と社会Ⅱ	2	1～4	秋学期	「旧ソ連諸国の政治と社会Ⅰ」の受講経験が望ましい	○
	ラテンアメリカの政治と社会Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	ラテンアメリカの政治と社会Ⅱ	2	1～4	秋学期	「ラテンアメリカの政治と社会Ⅰ」の受講経験が望ましい	○
	グローバル・ガバナンス	2	1～4	春学期		○
	国際協力論Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	国際協力論Ⅱ	2	1～4	秋学期	「国際協力論Ⅰ」の受講経験が望ましい	○
	国際公共政策Ⅰ	2	1～4	-		○
	国際公共政策Ⅱ	2	1～4	-		○
	国際社会の法Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	国際社会の法Ⅱ	2	1～4	秋学期	「国際社会の法Ⅰ」の受講経験が望ましい	○
	市民社会の法Ⅰ	2	1～4	春学期	法律学科「契約法Ⅰ」との合併科目	
	市民社会の法Ⅱ	2	1～4	秋学期	法律学科「民事法総論」との合併科目	
	政治学科との共通科目	科目による	1～4	科目による	「政治学科専門科目一覧表」の国際政治学科共通科目欄に「共」が該当科目	
実10 実践 講座 科目 単位 以上	International Politics	2	2～4	春学期		○
	Global Governance	2	2～4	春学期		○
	Japanese Politics	2	2～4	-		○
	Essay Writing	2	2～4	春学期・秋学期		
	Presentation Skills	2	2～4	春学期・秋学期		
	Debate	2	2～4	春学期・秋学期		
	海外メディア分析実習	2	2～4	春学期・秋学期		
	Global Internship	4	2～4	-		
	文章の書き方セミナー	2	2～3	春学期・秋学期		○
	学科で指定した大学院科目	2	2～4	科目による	学部-(72)参照	
総合 講座 科目 2単位 以上	外交総合講座	2	1～4	-		○
	国際協力講座	2	1～4	秋学期		○
コース 別選 択必 修科 目16 単位 以上	アジア国際政治概論	2	1～4	秋学期		○
	朝鮮半島の政治と社会Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	朝鮮半島の政治と社会Ⅱ	2	1～4	秋学期	「朝鮮半島の政治と社会Ⅰ」の受講経験が望ましい	○
	台湾の政治と社会Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	台湾の政治と社会Ⅱ	2	1～4	秋学期	「台湾の政治と社会Ⅰ」の受講経験が望ましい	○
	中国の政治と社会Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	中国の政治と社会Ⅱ	2	1～4	秋学期	「中国の政治と社会Ⅰ」の受講経験が望ましい	○
	東南アジアの政治と社会Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	東南アジアの政治と社会Ⅱ	2	1～4	-		○
	オセアニアの政治と社会Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	オセアニアの政治と社会Ⅱ	2	1～4	秋学期	「オセアニアの政治と社会Ⅰ」の受講経験が望ましい	○
	北アメリカの政治と社会Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	北アメリカの政治と社会Ⅱ	2	1～4	秋学期		○
	日本の政治と社会Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	日本の政治と社会Ⅱ	2	1～4	秋学期	「日本の政治と社会Ⅰ」の受講経験が望ましい	○
	アメリカ政治外交史	2	2～4	春学期		○
	現代のアメリカと世界	2	2～4	秋学期		○
	中国の政治と外交Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	中国の政治と外交Ⅱ	2	1～4	秋学期	「中国の政治と外交Ⅰ」の受講経験が望ましい	○
	ロシアの政治と外交Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	ロシアの政治と外交Ⅱ	2	1～4	秋学期		○
	ヨーロッパ政治外交史Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	ヨーロッパ政治外交史Ⅱ	2	1～4	秋学期		○
	日本の政治と外交Ⅰ	2	1～4	秋学期		○
	日本の政治と外交Ⅱ	2	1～4	-	「日本の政治と外交Ⅰ」の受講経験が望ましい	○
	アジア比較政治論Ⅰ	2	1～4	春学期		○
	アジア比較政治論Ⅱ	2	1～4	秋学期	「アジア比較政治論Ⅰ」の受講経験が望ましい	○
	政治学科との共通科目	科目による	1～4	科目による	「政治学科専門科目一覧表」の国際政治学科共通科目欄に「A」が該当科目	

履修系列				授業科目名	単位数	受講年次	履修期	備考	政治学科 共通科目	
専門科目 8 単位以上	選択必修科目 4 2 単位以上	コース別選択必修科目 16 単位以上	グローバル・ガバナンスコース	国際機構論Ⅰ	2	1～4	春学期		○	
				国際機構論Ⅱ	2	1～4	秋学期	「国際機構論Ⅰ」の受講経験有が望ましい	○	
				平和・軍事研究Ⅰ	2	1～4	-		○	
				平和・軍事研究Ⅱ	2	1～4	-	「平和・軍事研究Ⅰ」の受講経験有が望ましい	○	
				国際NGO論Ⅰ	2	1～4	春学期		○	
				国際NGO論Ⅱ	2	1～4	秋学期	「国際NGO論Ⅰ」の受講経験有が望ましい	○	
				地域統合論Ⅰ	2	1～4	-		○	
				地域統合論Ⅱ	2	1～4	-	「地域統合論Ⅰ」の受講経験有が望ましい	○	
				国際文化交流Ⅰ	2	1～4	春学期		○	
				国際文化交流Ⅱ	2	1～4	春学期		○	
				地球環境論Ⅰ	2	2～4	秋学期	人間環境学部「自然環境政策論Ⅱ」との合併科目	○	
				地球環境論Ⅱ	2	2～4	秋学期	人間環境学部「環境科学Ⅱ」との合併科目	○	
				国際経済論Ⅰ	2	1～4	春学期		○	
				国際経済論Ⅱ	2	1～4	秋学期	「国際経済論Ⅰ」の受講経験有が望ましい	○	
				グローバル・ビジネス論Ⅰ	2	1～4	春学期		○	
				グローバル・ビジネス論Ⅱ	2	1～4	秋学期	「グローバル・ビジネス論Ⅰ」の受講経験有が望ましい	○	
				国際経済法Ⅰ	2	1～4	-		○	
				国際経済法Ⅱ	2	1～4	-		○	
				国際環境法Ⅰ	2	2～4	秋学期	人間環境学部「国際環境法」との合併科目	○	
				国際環境法Ⅱ	2	2～4	-		○	
				国際政治経済学Ⅰ	2	1～4	春学期		○	
				国際政治経済学Ⅱ	2	1～4	秋学期	「国際政治経済学Ⅰ」の受講経験有が望ましい	○	
				経済外交論Ⅰ	2	1～4	-		○	
				経済外交論Ⅱ	2	1～4	-		○	
				現代イスラム世界論	2	1～4	春学期		○	
				政治学科との共通科目	科目による	1～4	科目による	「政治学科専門科目一覧表」の 国際政治学科共通科目欄に「G」が該当科目		
	選択科目	他コース科目			科目による	2～4	科目による			
		卒業論文			8	4	年間			
		リサーチペーパー			8	4	年間			
		※20単位未満で自由科目	法学学科科目			科目による	3～4 (2～4)	科目による	※入学年度によって受講年次が異なります。 2017年度以降入学者:3～4年次 2016年度以前入学者:2～4年次 「法学入門演習」「法学入門」「法律実務入門Ⅰ/Ⅱ」は履修不可	
			政治学科科目			科目による	2～4	科目による	政治学科との共通科目除く 「政治学入門演習」は履修不可	
			電算実習科目			2	科目による	科目による		
			他学部公開科目			科目による	2～4	科目による	受講年次は2～4年次かつ主催学部の受講年次以上 16単位まで履修可	
			総合科目			科目による	科目による	科目による	20単位まで履修可	
		グローバルオープン科目			科目による	科目による	科目による			

2-2. 演習科目の履修について

(1) 担当者一覧

法律学科

演習分野	担当者	単位	受講年次	備 考
民事法	大澤 彩	4	3・4	
	川村 洋子	4	3・4	
	久保 健治・畑中 綾子	8	3・4	
	倉部 真由美	4	3・4	
	杉本 和士	4	3・4	
	高須 順一	4	3・4	
	廣尾 勝彰	4	3・4	
	宮本 健蔵	4	2・3/3・4	
商事法	青柳 由香	4	3・4	
	荒谷 裕子	8	3・4	
	神谷 高保	4	3・4	
	柴田 和史	4	3・4	
	武生 昌士	4	3・4	
	椋川 泰史	4	3・4	
	潘 阿憲	4	3・4	
公法	金子 匡良	4	3・4	
	國分 典子	4	3・4	
	高橋 滋	4	3・4	
	建石 真公子	4	3・4	
	田中 佐代子	4	3・4	
	堀井 雅道	4	3・4	
	西田 幸介	4	3・4	
	森田 章夫	4	3・4	
刑事法	安東 美和子	4	3・4	
	今井 猛嘉	8	3・4	
	佐藤 輝幸	4	3・4	
	佐野 文彦	4	3・4	
	須藤 純正	4	3・4	
	田中 開	4	3・4	
社会法	沼田 雅之	4	3・4	
	浜村 彰	4	3・4	
	藤本 茂	4	3・4	
	水野 圭子	4	3・4	
	山本 圭子	4	3・4	
基礎法	春代講:西村 清貴 秋:大野 達司	8	3・4	
	小山田 朋子	4	3・4	
	金井 光生	4	3・4	
	川口 由彦	8	2・3/3・4	
	高 友希子	4	2・3/3・4	

政治・国際政治学科

担当者	単位	受講年次	備 考
明田川 融	8	2～4	
浅見 靖仁	8	2～4	
大内／油本	8	2～4	
犬塚 元	8	2～4	
衛藤 幹子	8	2～4	
木村 正俊	8	2～4	
坂根 徹 代講:田辺 亮	8	2～4	
新川 敏光	8	2～4	
杉崎 和久	8	2～4	
杉田 敦	8	2～4	
高橋 和宏	8	2～4	
新崎 盛吾	8	2～4	
塚本 元	8	2～4	
中野 勝郎	8	2～4	
名和田 是彦	8	2～4	
菱田 雅晴	8	2～4	
廣瀬 克哉	8	2～4	
八塚 正晃	8	2～4	
細井 保	8	2～4	
本多 美樹	8	2～4	
水野 和夫	8	2～4	
溝口 修平	8	2～4	
宮崎 伸光	8	2～4	
宮下 雄一郎	8	2～4	
武藤 博己	8	2～4	
森 聡	8	2～4	
山口 二郎	8	2～4	
山本 卓	8	2～4	
弓削 昭子	8	2～4	

(2) 演習科目履修における注意事項

■ 法律学科

ほとんどの演習は3年次から開講しますが、2年次生が履修できる演習もあります。担当教員によって履修できる年次が異なるので注意してください。

政治学科・国際政治学科の教員が担当する演習も履修できますが、担当教員の許可が必要です。演習はどの学科の演習を履修しても、自学科の選択科目としての扱いとなります。

〔政治学科・国際政治学科の演習を受講する場合の注意〕

政治・国際政治学科の演習の履修は、政治学科生、国際政治学科生が優先されます。法律学科生がこれらの演習の履修を希望する場合は、政治学科・国際政治学科ゼミ選考が終了し、受講者数に余裕があった場合のみ履修可能となりますので注意してください。

① 演習履修科目数

1年間に履修できる科目は1科目8単位までです。卒業までに2科目16単位まで履修できます。担当教員によって1科目4単位の演習と1科目8単位の演習がありますが、1年間に履修できるのは1科目、卒業までに履修できるのは2科目までです。8単位の演習は、あくまでも1科目として考えるので必ず8単位(週2時限)履修してください。

② 募集・選考

秋学期に募集、選考を行います。情報ポータルサイト(Hoppii)内WEB掲示板を確認し、その指示に従ってください。

③ 演習の聴講

演習の登録は原則として1年間に一つの演習に限られますが、複数の演習に参加して幅広い学習を希望する方のために聴講制度があります。ただし、担当している教員の許可がなければ聴講することはできません。聴講を希望する学生は、聴講の可否を講義概要等で確認し、聴講生としての許可を必ず受けてください。

④ その他

- (a) 演習は単年度の授業科目であって、必ずしも継続するとは限りませんので注意してください。
- (b) 演習は年間科目です。原則として春学期のみ、秋学期のみの履修はできませんが、派遣留学や休学等の事情により、教員が認めた場合に限り、履修を認めることがあります。この場合、履修登録期間内に事務まで相談してください。

■ 政治学科

①演習(選択科目)の受講年次等

2012年度以降入学の政治学科生は、2年次以降で履修します。なお、4年次生には卒業論文・リサーチペーパーが設置されています。

- ・ 法律学科、政治学科・国際政治学科の区別は、演習科目一覧を参照してください。
- ・ 演習科目は、政治学科・国際政治学科どちらの教員の演習を履修しても、自学科の選択科目扱いとなります。
- ・ 法律学科の演習を履修することも可能です。なお、法律学科の演習を受講する場合は自由科目となり、演習を履修する際には、法律学科生と同じゼミ選考を受け教員の受講許可を得る必要があります(法律学科の演習は1年間に1科目のみ、また卒業までに2科目まで履修が可能です)。

②演習履修科目数

演習は春学期科目と秋学期科目に分割されていますが、1年間を通して同一の教員の演習を履修することが前提となります。詳細は④の演習の「履修登録について」を参照してください。

1学年(留級した場合を除く)にあたり、履修できるのは2科目(春学期1科目、秋学期1科目の計2科目)で、卒業までに履修できるのは24単位までです。1年間で8単位の演習は、あくまでも1つの演習として考えるので必ず8単位(週2時限)履修してください。ただし同一教員の演習を連続で履修できるのは2年間まで、3年目の演習履修を希望する場合は、再度ゼミ選考を受ける必要があります。

③募集・選考

1年次秋学期に募集、選考を行います。法政ポータルサイト(Hoppii)内 WEB 掲示板を確認し、その指示に従ってください。

④演習の履修登録について

演習は、同一の教員の演習を2年間を上限に履修登録できます。

演習は科目としては春学期と秋学期に分かれています。春秋通して同一教員の演習の登録が必須となります。

秋学期の登録変更期間に演習の変更をすることはできません。必ず1年間同一の教員の演習を登録してください。

(例) 春学期 演習(A先生) 秋学期 演習(A先生):○

春学期 演習(A先生) 秋学期 演習(B先生):×

秋学期の登録変更期間に演習の変更をした場合は、それ以降(翌年度以降も含む)の演習の履修を認めませんので注意してください。

⑤その他

演習は単年度の授業科目であって、必ずしも継続するとは限りませんので注意してください。

■ 国際政治学科

①演習(選択科目)の受講年次等

国際政治学科生は、原則2・3年次で、演習(16単位)を必修科目として履修します(2年次または3年次で単位が未修得の場合は4年次での受講も可能)。なお、4年次生には卒業論文・リサーチペーパーが設置されているので詳細についてはP64を参照してください。

- ・ 国際政治学科または政治学科教員が担当する演習を16単位分必ず履修することになります。
- ・ 担当教員は、演習科目一覧表を参照してください。
- ・ 法律学科の演習は必修科目となりません。法律学科の演習を履修することは可能ですが、その場合、別途政治学科または国際政治学科の演習(必修)を16単位分修得する必要があります。なお、法律学科の演習を受講する場合は、自由科目となり、演習を履修する際には、履修する前年度に実施されるゼミ選考を受け、担当教員の受講許可を得る必要があります(法律学科の演習は1年間に1科目のみ、また、卒業までに2科目まで履修が可能です)。

②演習履修科目数

演習は春学期科目と秋学期科目に分割されています。留学などのために春学期の演習しか受けられない学生は、帰国後に秋学期のゼミを履修することが可能となります。ただし、原則として春学期と秋学期は同一の教員が担当する演習を履修してください。詳細は④「演習の履修登録について」を参照してください。

国際政治学科生は、2・3年次にそれぞれ春学期1科目、秋学期1科目の計2科目8単位、卒業までに4科目16単位を履修するのが基本的な履修パターンとなります(法律学科教員の演習は除く)。1科目が4単位の演習は、あくまでも1つの演習として考えるので、必ず各学期に4単位(週2時限)ずつ履修してください。

③募集・選考

1年次秋学期に募集、選考を行います。法政ポータルサイト(Hoppii)内 WEB 掲示板を確認し、その指示に従ってください。

④演習の履修登録について

4科目16単位を上限に同一の教員が担当する演習を履修登録できます。演習は科目としては春学期と秋学期に分かれていますが、同一の教員が担当する演習を履修することが原則であり、秋学期の登録変更期間に履修する演習を変更することはできません。これは、留学などの事情により、異なる年度にわたって春学期と秋学期のゼミを履修する場合も同様です。

- (例) 春学期 演習(A先生) → 秋学期 演習(A先生):○
春学期 演習(A先生) → 秋学期 演習(B先生):×

⑤その他

- (a) 演習は単年度の授業科目であって、必ずしも継続するとは限りませんので注意してください。
- (b) 演習は4科目16単位を修得することが原則ですが、やむを得ない事情により4年次の時点で演習(必修分)の未修得単位がある場合は、「卒業論文」または「リサーチペーパー」の単位を修得することで演習(必修分)の単位に代替することも可能です。詳細は「卒業論文・リサーチペーパーについて」を参照してください。

2-3. 各学科専門科目履修時の注意事項

(1) 法学入門・法学入門演習

法律学科1年生を対象として、「法学入門」と「法学入門演習」が開講されています。いずれも2単位の専門選択科目で春学期授業です。

- ・「法学入門」、はクラスにより受講できる曜日・時限が指定されています。法学部専門科目時間割を参照し、指定クラスの授業に出席してください。
- ・「法学入門演習」は受講者選抜を行います。別紙「法学入門演習の受講について」の指示に従ってください。

(2) 法律学特講

この科目は大学の学則の上ではひとしく「法律学特講」と称し、ある分野に経験の深い実務家による講義や、重要事項・新しい法領域などについての専門家による深く掘り下げた講義が複数開講されます。

法律学特講は、2科目以上履修することも可能です。(ただしカッコ書きの部分が同じものを2科目以上履修することはできません)。科目の詳細については、専門科目一覧で確認してください。

(3) 政治学入門演習

政治学科1年生を対象とした選択科目です。大学生としての基本的な能力を身に付け、政治学とはどのような学問なのかイメージを明確にすることを目標としています。

1クラス24人程度の少人数で授業を実施します。受講希望者は別紙「政治学入門演習の受講について」に従ってください。

(4) 総合科目の中の政治学科選択科目(政治学科選択科目となる総合科目)

政治学科選択科目名		総合科目名	単位	受講年次	定員
法文化史Ⅰ/Ⅱ	←	法哲学A/B	各2	2～4	25
福祉社会論Ⅰ/Ⅱ	←	福祉社会論A/B (Aは2020年度休講)	各2	2～4	30
政治地理学Ⅰ/Ⅱ	←	人文地理学セミナーA/B	各2	2～4	30
エスニシティ論Ⅰ/Ⅱ	←	文化人類学方法論A/B	各2	2～4	30
グローバル経済論Ⅰ/Ⅱ	←	教養ゼミⅠ/Ⅱ(ゼロ金利と米中新冷戦/グローバル化と資本主義の課題)	各2	2～4	20
政治思想Ⅰ/Ⅱ	←	教養ゼミⅠ/Ⅱ(政治思想史古典精読:アメリカの独立を考える/政治思想史古典精読:ジェファソンの憲法思想を考える)	各2	2～4	20

科目名は2017年度以降入学者生の名称です。2016年度以前入学者はP93の総合科目新旧対応表で科目名を確認してください。

政治学科生は「専門選択科目」としてのみ履修できます。総合科目としては履修できません。従って総合科目一覧表の上で連続・重複履修が可能となっても、これには該当しません。注意してください。

法律学科生・国際政治学科生は「総合科目」としてのみ履修できます。市ヶ谷基礎科目・総合科目講義概要(シラバス)を参照してください。

なお、授業に関する連絡事項は法政ポータルサイト(Hoppii)内Web掲示板に掲載されます。

(5)経営学部との合併科目(政治学科選択科目)

公開科目に同一科目がある場合、政治学科生は経営学部との合併科目のみ登録可能です。

経営学部との合併科目	単位	受講年次
経営管理論Ⅰ／Ⅱ	各2	3・4
基礎統計学Ⅰ／Ⅱ	各2	2～4
日本経営論Ⅰ／Ⅱ	各2	3・4
消費者行動論Ⅰ／Ⅱ	各2	3・4
国際経営論Ⅰ／Ⅱ	各2	3・4
国際金融論Ⅰ／Ⅱ	各2	3・4

政治学科生のみ「専門選択科目」として履修することができます。法律学科生・国際政治学科生は履修できません。なお、授業に関する連絡事項は経営学部掲示板に掲示されます。

(6)STEP

STEPは、クラス分けを行います。ただし、HOPの修得状況等により受講クラスを自由に決定できる場合もあります。

(7)実践講座科目(2年生以上)

① Essay Writing、Presentation Skills、Debate

各クラスとも定員があり、事前登録による受講クラスの指定を行います。また、これらの科目は重複履修(同年度に同一名称の科目を複数履修すること)も連続履修(2年次・3年次・4年次と同一名称の科目を連続して履修すること)もできません。

※この科目は、国際政治学科生のみ履修できます。

② 海外メディア分析実習(2～4年生)

各クラスとも定員があり、事前登録によるクラスの指定を行います。海外メディア分析実習は連続履修(2年次、3年次、4年次と同じ科目を連続して履修すること)が可能です。また、重複履修(同年度に複数の授業を履修すること)も可能です。ただし、同一教員が担当する授業、連続履修も重複履修もできません。

(例1) 2年次にA教授、3年次にB教授を履修できる。

(例2) 3年次春学期にA教授、3年次秋学期にB教授を履修することができる。

※この科目は、国際政治学科生のみ履修できます。

③ 文章の書き方セミナー(2・3年生)

春学期と秋学期に同一内容で開講しますが、各クラスとも定員があり、受講許可および履修期は春学期第1回の授業で決定しますので、受講希望者は必ず出席してください。また、重複履修(同年度に複数の授業を履修すること)も連続履修(2年次・3年次・4年次と連続して履修することも)できません。

※この科目は、法律学科生は履修できません。

④ 大学院科目のうち、実践講座科目の扱いとなる科目について

2020 年度は以下の科目が対象です。「開発援助運営論:JICA 講座」は、定員があり事前登録による受講許可を得ることが必要です。「グローバル政治経済特別セミナー」は、別登録はありません。いずれの科目も履修登録期間中に各自で履修登録をおこなってください。なお、授業に関する連絡事項は大学院棟掲示板に掲示されます。

授業コード	科目名	単位	受講年次	開講期・時間割
X5555	グローバル政治経済特別セミナー	2	2～4	秋学期集中 (2/5～2/10) 予定
X5556	開発援助運営論:JICA講座	2	2～4	秋学期・水曜6時限

(8)外国書講読

受講を希望するものは、講義に出席して担当教員の許可を受けてから、履修登録してください。なお、外国書講読は連続履修(2年次・3年次・4年次と同じ科目を連続して履修すること)が可能です。また、重複履修(同時に複数の科目を履修すること)も可能です。

(例1)3年次に外国書講読(独語)Ⅰ/Ⅱ(A教授)、4年次に外国書講読(独語)Ⅰ/Ⅱ(A教授)が履修可

(例2)3年次で外国書講読(英語)Ⅰ/Ⅱ、外国書講読(独語)の両方が履修可

(例3)4年次で外国書講読(英語)Ⅰ/Ⅱ(A教授)、外国書講読(英語)Ⅰ/Ⅱ(B教授)の両方を履修可

2020 年度の開講科目は下記の通りです。

外国書講読 一覧

科目名	担当者	単位	受講年次	履修期
外国書講読(英語)Ⅰ/Ⅱ	CHRISTOPHER C MOSLEY	各2単位	2～4	春学期/秋学期
	田中 佐代子	各2単位	2～4	春学期/秋学期
	氏家 裕順	各2単位	2～4	春学期/秋学期
	杉田 敦	各2単位	2～4	春学期/秋学期
外国書講読(独語)Ⅰ/Ⅱ	大野 達司	各2単位	2～4	春学期/秋学期
	内田 俊一	各2単位	2～4	春学期/秋学期
	細井 保	各2単位	2～4	春学期/秋学期
外国書講読(仏語)Ⅰ/Ⅱ	近江屋 志穂	各2単位	2～4	春学期/秋学期
外国書講読(朝鮮語)Ⅰ/Ⅱ	崔 先鎬	各2単位	2～4	春学期/秋学期
外国書講読(中国語)Ⅰ/Ⅱ	黄 偉修	各2単位	2～4	春学期/秋学期

(9)卒業論文・リサーチペーパーについて

4年次生は卒業論文またはリサーチペーパーを履修することができます。但しこの二つをともに履修することはできません。詳細は以下の通りです。なお、通常履修の場合と演習の必修単位を代替するための履修の場合とは、手続きが異なりますので、注意してください。

卒業論文の分量は、400字詰め原稿用紙に換算して100枚程度とし、単位数は8単位です。論文指導及び審査は、政治学科又は国際政治学科の専任教員が当たり、必要に応じて面接を行います。必要な場合には演習指導教員や学科主任の教員とよく相談してから指導担当教員を決め、履修申請を行ってください。

リサーチペーパーは、「Global Internship」「公共政策フィールドワーク」を履修するか、又は指導と審査にあたる教員の指導の下にフィールド調査ないしインターンシップを行なうことを条件に履修できます。分量は、400字詰め原稿用紙に換算して50枚以上とし、単位数は8単位です。指導及び審査は、原則として演習指導教員、「Global Internship」「公共政策フィールドワーク」担当教員又は学科主任があたり、必要に応じて面接を行いません。履修希望者はこれらの教員とよく相談してから指導担当教員を決め、履修申請を行ってください。

なお、提出に当たっての表紙は、卒業論文用のものを使用し、リサーチペーパーであることを明示する記載を適宜行なってください。

指導願の提出

卒業論文・リサーチペーパーの履修希望者は所定の「指導願」に必要事項を記入の上、指導教授の受諾印を得て、履修登録期間内に法学部窓口へ提出してください。その後、事務が履修登録を行います。

提出日: 2021年1月8日(金) 法学部窓口へ。受付時間午後1時～4時 ※提出日時は厳守

提出形式: 大学指定の表紙(A4版・水色・左綴じ・横書き用)を生協文具売り場で購入し、その表紙を必ず付けた上で提出してください。

(10)総合科目

基礎科目で修得した基本的な知識をさらに展開させて、本来のリベラルアーツを充実させる意味で開講する専門教育科目です。法学部では自由科目となります。配置された多様な科目を分類すると、つぎようになります。

- ① ILAC/基礎科目1群から3群の科目に関連がある特定のテーマを講義する科目、情報処理関連の科目、または各群に共通した学際的な科目
- ② 英語では、Native Speaker の指導の下に高度の運用力を育成したり、生の英語の資料を基にした輪読と討論を行うグレードの高い科目
- ③ 諸外国語では、読解や運用能力を中級から上級に高めたり、資格取得を目指す科目
- ④ 第三の外国語として、諸外国語を初級から修得する科目
- ⑤ 留学生を対象とした日本事情、日本人学生も参加できる日本語特別講座のような日本語関連科目
- ⑥ 体育理論の講義だけでなく、実技、演習を組み合わせた科目

【履修上の注意】

- ・ 科目によっては受講者の選抜を行ったり、所属学科や、履修している諸外国語等により受講者の制限を行う場合があります。詳細については「市ヶ谷基礎科目・総合科目 講義概要(シラバス)」を参照し、初回授業時に担当教員の指示に従ってください。
- ・ この科目は自由科目の単位として卒業までに20単位の範囲で履修できますが、いかなる場合でも基礎科目(1～5群)の単位として履修することはできません。
- ・ 総合科目の授業に関する連絡事項は、法政ポータルサイト(Hoppii)内WEB掲示板にのみ掲示されます。

(11)法律学科 法曹コースに所属する学生の履修について

・専門科目について

法曹コースに所属する学生は、下記の(表1)に記載されている法律学科の専門科目を必修科目として修得する必要があります(P49-50 参照)。それ以外の専門科目(必修科目に該当していない選択必修科目を含む)およびILAC科目については、一般の法律学科の学生と同じように単位を修得する必要があります。また、法曹コースに所属する学生は、(表2)の通り1年間に修得することができる単位数の上限が、一般の法学部生と異なります(P15-16 参照)。

(表1)法曹コース履修科目(学年は各科目の配当年次)

学年	学期	必修科目		学年	学期	必修科目		学年	学期	必修科目	
		科目名	単位数			科目名	単位数			科目名	単位数
1年	春学期	憲法Ⅰ	2	2年	春学期	行政法入門Ⅰ	2	3年	春学期	刑法各論Ⅱ	2
		契約法Ⅰ	2			総合統治機構（法曹コース）	2			民事訴訟法Ⅰ	2
	秋学期	憲法Ⅱ	2			契約法Ⅱ	2			家族法（法曹コース）	2
		民事法総論	2			契約法（法曹コース）	2			法曹コース演習Ⅱ	2
		不法行為法	2			物権法	2			法曹コース演習Ⅲ	2
		刑法総論Ⅰ	2								
		秋学期	行政法入門Ⅱ		2	秋学期	民事訴訟法Ⅱ		2		
債権回収法Ⅰ	2		法曹コース演習Ⅳ		2						
債権回収法Ⅱ	2		通年		会社法	4					
刑法各論Ⅰ	2				合計		52				
刑事訴訟法（法曹コース）	2										
法曹コース演習Ⅰ	2										

(表2)法曹コースに所属する学生の履修・修得単位数の上限

	一般の法学部生(留級生は除く)		法曹コース	
学年	履修上限	修得上限	履修上限	修得上限
2年	48単位	42単位	48単位	48単位
3年	48単位	44単位	48単位	48単位

※1 (表1)の「学年」は、各科目を履修する学年の目安となっております。時間割の都合上、すべての科目を履修するために、各科目については(表1)に記載の学年で履修することを強くお勧めいたします。なお、法曹コースの必修科目をすべて修得しても、法律学科の卒業要件となっている選択必修科目をすべて修得したことにはなりません。

※2 (表1)の必修科目以外にも下記科目の履修も推奨されます。

- ・憲法科目:憲法Ⅳ
- ・行政法科目:行政作用法Ⅰ・Ⅱ、行政救済法Ⅰ・Ⅱ
- ・民事訴訟法科目:民事手続法入門

※3 法曹コースに所属する学生は、(表3)に記載の法曹コース科目(法曹コースに所属する学生のみが履修できる法律学科の専門科目)を履修する代わりに、対応する法律学科の専門科目を履修することはできません(学習内容に重複があるため)。

(表3)法曹コース専用科目と対応する法律学科専門科目

法曹コース科目(法曹コースの学生のみ履修可)		法律学科専門科目(法曹コースの学生は履修不可)	
科目名	単位数	科目名	単位数
総合統治機構(法曹コース)	2	憲法Ⅲ	2
契約法(法曹コース)	2	契約法Ⅲ・Ⅳ	2+2
刑事訴訟法(法曹コース)	2	刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ	2+2

総合科目一覧

科目名	単位	学年	定員	備考
人文科学系				
漢字・漢文学A/B	各2	2～4年	30	日本文学科除く
文芸創作講座A/B	各2	2～4年	定員制	日本文学科除く
日本芸能論A/B	各2	2～4年	40	日本文学科除く
身体表現論A/B	各2	2～4年	30	
美術論A/B	各2	2～4年	30	
芸術と人間A/B	各2	2～4年	50	
仏教思想論A/B	各2	2～4年	—	哲学科除く
行為の理論A/B	各2	2～4年	—	哲学科除く
中国の民族と文化A/B	各2	2～4年	30	史学科除く
ギリシャの文化と社会A/B	各2	2～4年	30	英文学科・史学科除く 2020年度休講
古代日本・中国の法と社会A/B	各2	2～4年	30	史学科除く
アジア・太平洋島嶼国際関係史A/B	各2	2～4年	30	
クア・スタディーズA/B	各2	2～4年	—	
キリスト教思想史A/B	各2	2～4年	30	哲学科・英文学科除く
異文化コミュニケーション論A/B	各2	2～4年	30	英文学科除く
社会科学系				
法哲学A/B	各2	2～4年	25	政治学科・哲学科除く
福祉社会論A/B	各2	2～4年	30	政治学科除く 2020年度「福祉社会論A」は休講
人文地理学セミナーA/B	各2	2～4年	30	政治学科・地理学科除く
文化人類学方法論A/B	各2	2～4年	30	政治学科・地理学科除く
人間行動学A/B	各2	2～4年	30	
沖縄を考えるA/B	各2	2～4年	—	
グローバル社会の地域研究A/B	各2	2～4年	定員制	2019年度で閉講
自然科学系				
自然環境のしくみとその変貌A/B	各2	2～4年	40	地理学科除く
数理論理学A/B	各2	2～4年	30	哲学科・英文学科除く 2020年度休講
計算と言語のしくみ	2	2～4年	30	英文学科除く
コンピュータと数理の活用	2	2～4年	30	英文学科除く
確率の世界A/B	各2	2～4年	—	英文学科除く
集合論A/B	各2	2～4年	30	哲学科・英文学科除く
相対性理論と宇宙A/B	各2	2～4年	—	
現代の錬金術A/B	各2	2～4年	—	
原子核と素粒子A/B	各2	2～4年	—	
ボルボックス生物論A/B	各2	2～4年	60	2020年度新規開講
生物哲学	2	2～4年	40	2019年度で閉講
生命情報科学	2	2～4年	40	2019年度で閉講
イオンの科学A/B	各2	2～4年	30	
光と色の科学A/B	各2	2～4年	30	
物質の科学A/B	各2	2～4年	30	
ITリテラシー	2	2～4年	35	
コンピュータ科学	2	2～4年	35	
現代科学の新しい目A/B	各2	2～4年	30	2020年度休講
エネルギーを考えるA/B	各2	2～4年	60	2019年度で閉講
人間と地球環境	2	2～4年	30	地理学科除く
Human Impact on the Global Environment	2	2～4年	30	

学生証番号の頭2桁が「17」以降の方

科目名	単位	学年	定員	備考
言語系				
第三外国語としてのドイツ語A/B	各2	2～4年	40	哲学科除く 4群ドイツ語履修者は履修不可
ドイツ語コミュニケーション中級A/B	各2	2～4年	20	
留学ドイツ語A/B	各2	2～4年	30	
ドイツの思想A/B	各2	2～4年	30	哲学科・英文学科除く
ドイツ語圏の文学A/B	各2	2～4年	30	英文学科除く
ドイツ語圏の芸術A/B	各2	2～4年	30	英文学科除く
比較文化A/B	各2	2～4年	30	哲学科除く
第三外国語としてのフランス語A/B	各2	2～4年	40	哲学科除く 4群フランス語履修者は履修不可
上級フランス語A/B	各2	2～4年	40	2020年度休講
フランス語コミュニケーション(中・上級)A/B	各2	2～4年	20	
検定フランス語(中・上級)A/B	各2	2～4年	30	2020年度休講
フランス語表現法A/B	各2	2～4年	30	2020年度休講
フランス語講読A/B	各2	2～4年	30	
第三外国語としてのロシア語A/B	各2	2～4年	30	4群ロシア語履修者は履修不可
第三外国語としてのロシア語中級A/B	各2	2～4年	30	
実用ロシア語A/B	各2	2～4年	20	
ロシア語講読A/B	各2	2～4年	30	
時事ロシア語A/B	各2	2～4年	30	
第三外国語としての中国語A/B	各2	2～4年	40	4群中国語履修者は履修不可
第三外国語としての中国語中級A/B	各2	2～4年	30	2020年度休講
中国語視聴覚中級A/B	各2	2～4年	25	2020年度休講
中国語コミュニケーション中級A/B	各2	2～4年	30	
中国語講読A/B	各2	2～4年	30	2020年度休講
中国語講読中級A/B	各2	2～4年	30	2020年度休講
中国語作文中級A/B	各2	2～4年	30	2020年度休講
資格中国語中級A/B	各2	2～4年	30	
資格中国語上級A/B	各2	2～4年	30	
中国語翻訳・通訳A/B	各2	2～4年	30	
中国語翻訳・通訳C/D	各2	2～4年	30	
第三外国語としてのスペイン語A/B	各2	2～4年	40	4群スペイン語履修者は履修不可
第三外国語としてのスペイン語中級A/B	各2	2～4年	40	2020年度休講
スペイン語上級A/B	各2	2～4年	40	
スペイン語コミュニケーション中級A/B	各2	2～4年	30	
スペイン語講読A/B	各2	2～4年	30	2019年度新規科目
第三外国語としての朝鮮語A/B	各2	2～4年	30	4群朝鮮語履修者は履修不可
第三外国語としての朝鮮語中級	2	2～4年	30	4群朝鮮語履修者は履修不可
日本語コミュニケーションA/B	各2	2～4年	30	
健康・スポーツ科学系				
スポーツ科学A/B	各2	2～4年	20～30	同じ種目の連続履修は不可
系共通				
教養ゼミⅠ/Ⅱ (文芸創作の実践A/B)	各2	2～4年	30	日本文学科除く 2020年度休講
教養ゼミⅠ/Ⅱ (思想と文学)	各2	2～4年	20	2019年度新規科目
教養ゼミⅠ/Ⅱ (愛の労働ー「ケアの倫理」の行方(1)/「共依存」の倫理ー「ケアの」倫理の行方(2))	各2	2～4年	30	
教養ゼミⅠ/Ⅱ (在日朝鮮人の歴史A/B)	各2	2～4年	30	
教養ゼミⅠ/Ⅱ (アラビア語入門)	各2	2～4年	30	
教養ゼミⅠ/Ⅱ (アフロアジア入門ー映像で見るアフロアジア世界ー)	各2	2～4年	30	
教養ゼミⅠ/Ⅱ (USAにおける抵抗の思想/宗教、ナショナリズム、国家)	各2	2～4年	25	
教養ゼミⅠ/Ⅱ (ゼロ金利と米中新冷戦/グローバリゼーションと資本主義の課題)	各2	2～4年	20	政治学科除く
教養ゼミⅠ/Ⅱ (政治思想史古典精読：アメリカの独立を考える/政治思想史古典精読：ジェファソンの憲法思想を考える)	各2	2～4年	20	政治学科除く 2019年度新規科目
教養ゼミⅠ/Ⅱ (心理的ウェルビーイングを考えるA/B)	各2	2～4年	30	2020年度休講
教養ゼミⅠ/Ⅱ (現代社会の人権問題A/B)	各2	2～4年	30	2020年度新規開講
教養ゼミⅠ/Ⅱ (自然史ー沖縄本島北部ヤンバル地域の自然と文化ー)	各2	2～4年	20	
教養ゼミⅠ/Ⅱ (生き物研究会)	各2	2～4年	30	
教養ゼミⅠ/Ⅱ (持続可能社会のための化学)	各2	2～4年	30	2020年度新規開講
教養ゼミⅠ/Ⅱ (Issues in Modern Japanese SocietyⅠ/Ⅱ)	各2	2～4年	20	2020年度休講
教養ゼミⅠ/Ⅱ (独仏文化論)	各2	2～4年	30	英文学科除く
教養ゼミⅠ/Ⅱ (移民社会とポピュリズム)	各2	2～4年	15	
教養ゼミⅠ/Ⅱ (フランス語圏文化への招待/フランスの現代社会)	各2	2～4年	15	
教養ゼミⅠ/Ⅱ (中国の食文化)	各2	2～4年	15	
教養ゼミⅠ/Ⅱ (スペインの歴史)	各2	2～4年	20	
教養ゼミⅠ/Ⅱ (トレーニングを科学する(Basic course)/(Advanced course))	各2	2～4年	20	
教養ゼミⅠ/Ⅱ (脱運動不足と健康づくり (ベーシックコース) / (アドバンスコース))	各2	2～4年	20	
教養ゼミⅠ/Ⅱ (身体活動による心身の変化と健康(1)/(2))	各2	2～4年	20	2020年度新規開講

※備考に○◎学科除くとなる場合には、○◎学科の学生は、該当の総合科目を、専門科目として履修します（総合科目としては履修しません）。
※「教養ゼミⅠ/Ⅱ」は、授業ごとにテーマを設けて、ゼミナール形式で授業を行います。（）内はサブタイトルで、授業内容を示します。
※2018年度をもって政治思想A/Bは開講しました。

(12)電算実習科目

【履修上の注意事項】

- ① 受講者数に制限があるので、科目登録の前に受講申込の応募が必要です。
- ② 情報実習室(電算実習室)はボアソナードタワーにA(7階)、B(6階)、C(5階)、D(4階)、E(4階)、F(4階)、H(4階)の8つがあります。また、富士見坂校舎2階には、情報カフェテリア(自習用カフェテリア)があります。
- ③ 授業に関する連絡事項は、経営学部掲示板に掲示されます。詳細は「電算実習科目の履修方法について」を参照してください。

各科目、どれか1つのコースを選択し、履修します。修得した単位は自由科目となります。

※国際政治学科生について、2019年度より一部の科目の受講可能年次が2年次から1年次に変更になりました。

<2019年度以降入学者>

科目名(担当者は電算時間割を参照)	単位	受講年次
情報学入門Ⅰ/Ⅱ(表計算)	各2	1～4
情報学入門Ⅰ/Ⅱ(データ演習)	各2	1～4
情報学入門Ⅰ/Ⅱ(データベース)	各2	1～4
情報学入門Ⅰ/Ⅱ(空間情報処理)	各2	1～4
情報学入門Ⅰ/Ⅱ(メディア情報処理)	各2	1～4
情報学入門Ⅰ/Ⅱ(言語データ処理)	各2	1～4
プログラミング言語Ⅰ/Ⅱ(C言語)	各2	1～4
プログラミング言語Ⅰ/Ⅱ(JAVA)	各2	1～4
プログラミング言語Ⅰ/Ⅱ(VBA)	各2	1～4
プログラミング言語Ⅰ/Ⅱ(スクリプト言語)	各2	1～4
情報学応用Ⅰ/Ⅱ(データベース)	各2	2～4
情報学応用Ⅰ/Ⅱ(データ可視化)	各2	2～4
情報学応用Ⅰ/Ⅱ(プレゼンテーション)	各2	2～4
情報学応用Ⅰ/Ⅱ(空間情報)	各2	2～4
情報学発展Ⅰ/Ⅱ(ホームページ)	各2	2～4
情報学発展Ⅰ/Ⅱ(情報通信ネットワーク)	各2	2～4
情報学発展Ⅰ/Ⅱ(システム科学)	各2	2～4
応用プログラミングⅠ/Ⅱ(統計分析)	各2	3～4
応用プログラミングⅠ/Ⅱ(統計)	各2	3～4

<2016～2018 年度以降入学者>

科目名(担当者は電算時間割を参照)		単位	受講年次
2016～2017 年度入学者	2018 年度入学者		
情報科学実習Ⅰ/Ⅱ ※aコース、bコース、dコース、fコースの4つのコースがあります	情報科学実習Ⅰ/Ⅱ(aコース)	各2	1・2
	情報科学実習Ⅰ/Ⅱ(bコース)	各2	1・2
	情報科学実習Ⅰ/Ⅱ(dコース)	各2	1・2
	情報科学実習Ⅰ/Ⅱ(fコース)	各2	1・2
プログラミング言語Ⅰ/Ⅱ ※C言語コース、JAVAコース、OBOLコース、BASICコースの4つのコースがあります	プログラミング言語Ⅰ/Ⅱ(C言語コース)	各2	1～4
	プログラミング言語Ⅰ/Ⅱ(JAVAコース)	各2	1～4
	プログラミング言語Ⅰ/Ⅱ(COBOLコース)	各2	1～4
	プログラミング言語Ⅰ/Ⅱ(BASICコース)	各2	1～4
データ処理論Ⅰ/Ⅱ ※データベース・コース、コンピューター・グラフィックス・コース、プレゼンテーション・コース、空間情報システム・コース、情報検索コースの5つのコースがあります	データ処理論Ⅰ/Ⅱ(データベース・コース)	各2	2～4
	データ処理論Ⅰ/Ⅱ(コンピューター・グラフィックス・コース)	各2	2～4
	データ処理論Ⅰ/Ⅱ(プレゼンテーション・コース)	各2	2～4
	データ処理論Ⅰ/Ⅱ(空間情報システム・コース)	各2	2～4
	データ処理論Ⅰ/Ⅱ(情報検索コース)	各2	2～4
ネットワーク論Ⅰ/Ⅱ ※通信ネットワーク・コース、ホームページ・コースの2つのコースがあります	ネットワーク論Ⅰ/Ⅱ(通信ネットワーク・コース)	各2	2～4
	ネットワーク論Ⅰ/Ⅱ(ホームページ・コース)	各2	2～4
応用プログラミングⅠ/Ⅱ ※計量分析コース、統計コースの2つのコースがあります	応用プログラミングⅠ/Ⅱ(計量分析コース)	各2	3～4
	応用プログラミングⅠ/Ⅱ(統計コース)	各2	3～4

<2015 年度以前入学者>

科目名(担当者は電算時間割を参照)	単位	受講年次
情報科学実習Ⅰ・Ⅱ(通年科目) ※aコース、bコース、dコース、fコースの4つのコースがあります	4	1・2
プログラミング言語Ⅰ・Ⅱ(通年科目) ※C言語コース、JAVAコース、COBOLコース、BASICコースの4つのコースがあります	4	1・2
データ処理論Ⅰ・Ⅱ(通年科目) ※データベース・コース、コンピューター・グラフィックス・コース、プレゼンテーション・コース、空間情報システム・コース、情報検索コースの5つのコースがあります	4	1～4
ネットワーク論Ⅰ・Ⅱ(通年科目) ※通信ネットワーク・コース、ホームページ・コースの2つのコースがあります	4	1～4
応用プログラミングⅠ・Ⅱ(通年科目) ※計量分析コース、統計コースの2つのコースがあります	4	1～4

(13)公開科目

他学部の講義科目を卒業までに16単位の範囲で履修できる制度です。

①履修年次

2～4年次生、かつ当該科目につき主催学部における配当年次以上の場合に履修できます。

②登録単位の上限と単位の扱い

公開科目の修得単位は、卒業所要単位(自由科目)として16単位まで算入されます。履修登録時には他の専門教育科目と同様に年間履修の上限単位数に含まれます。

③履修登録方法

他の専門教育科目と同じように登録してください。

④時間割

公開科目の時間割・試験時間割・休講等は、当該学部のWEB掲示板等で周知されます。

(14)グローバル・オープン科目

法政大学が 2016 年度から全学で開講するグローバル・オープン科目は、学部横断型の科目群です。英語で他学部の専門領域を学びたい学生、将来グローバル企業や国際機関で活躍を希望している学生の皆さんは、積極的に履修してください。

詳細は、グローバル・オープン科目の時間割と講義概要(シラバス)を参照してください。

(15)ESOP(交換留学生受入れプログラム)

グローバル教育センター主催のESOP(交換留学生受入れプログラム＝英語によって行われる授業)を受講した場合、卒業所要単位への認定が可能です。履修手続きについては、以下を参照してください。

なお、プログラムの詳細については、グローバル教育センターにて配布される募集案内を確認してください。

①履修年次

1年～4年次(国際政治学科は2年～4年次)

②登録単位の上限と単位の扱い

ESOP の修得単位は、卒業所要単位(自由科目)として1年間に4単位まで算入されます。履修登録単位は、年間履修の上限単位数に含まれます。

③履修登録

グローバル教育センターにて受講許可を受けた後、窓口まで申請用紙を提出してください。法学部窓口で履修登録します。

(16)ERP(英語強化プログラム)

グローバル教育センター主催の ERP(英語強化プログラム＝ネイティブスピーカーを中心とした講師による英語スキル養成プログラム)を受講した場合、卒業所要単位への認定が可能です。履修手続きについては、以下を参照してください。

なお、プログラムの詳細については、グローバル教育センターにて配布される募集案内を確認してください。

①履修年次

法律学科生1～4年、政治学科生3～4年、国際政治学科生1～4年

②登録単位の上限と単位の扱い

ERP の修得単位は、卒業所要単位(自由科目)として1年間に 16 単位まで算入されます。履修登録単位は、年間履修の上限単位数に含まれます。

③履修登録

グローバル教育センターにて受講許可を受けた後、窓口まで申請用紙を提出して下さい。法学部窓口で履修登録します。

3. 再履修

前年度あるいは当該年度の春学期に不合格または未受験のため単位が修得できなかった場合や、履修配当単位数上限まで登録・履修をしなかった場合は、修得可能上限単位数に対し不足が生じていることになります。この不足を補うために不合格となった科目を再び履修したり、別の科目を履修して不足分を満たすことを「再履修」といいます。

再履修時は、各学年の標準的な履修配当単位数に不足単位数を加算して履修することができますが、各年次とも履修登録ができるのは、再履修科目も含めて最大合計48単位までです。（留級生は学年により違いがあります。）

再履修科目については、「ILAC 科目／基礎科目（4・5群を除く）」及び「専門科目」とも、必修科目以外は落とした科目（不合格科目）と同一の科目を必ずしも履修する必要はありません（同じ科目で履修してもよいし、他の科目を履修してもよい）。

★ILAC（アイラック）／基礎科目・総合科目の再履修について（2年次以上～）

（1）ILAC科目0～3群（基盤科目、リベラルアーツ科目）／基礎科目0～3群

2017 年度以降入学者は、「ILAC科目時間割表」、2016 年度以前入学者は、「基礎科目時間割表」の中から、不足単位を履修してください。クラス指定はありません。なお、再履修単位分については、前年度に修得できなかった科目（D評価またはE評価を受けた科目）を必ずしも履修する必要はありません（再度、履修してもよいし、しなくてもよい）。

（2017 年度以降入学者）1～3群の各群の基盤科目よりそれぞれ4単位以上、1～3群の各群のリベラルアーツ科目よりそれぞれ2単位以上となるように履修してください。

（2016 年度以前入学者）1～3群の各群より1～4年合計でそれぞれ4単位以上、1～3群の合計が24単位以上となるように履修してください。

（2）ILAC／基礎科目4群（外国語科目）

法政ポータルサイト（Hoppii）内 WEB 掲示板の案内を確認してください（P37 を参照）。

（3）ILAC／基礎科目5群（体育科目）

保健体育ガイダンス（必修科目の再履修ガイダンス）で時間割の説明・時限・種目の抽選等を行います（P48 を参照）。

※再履修者も必ず、4月に大学で実施する健康診断を受けてください。

（4）総合科目・教養ゼミ

総合科目については、特にクラスの指定はありません。自由に履修をしてください。なお、再履修科目については、前年度に修得できなかった科目（D評価またはE評価を受けた科目）を必ずしも履修する必要はありません（再度、履修してもよいし、履修しなくてもよい）。

IV 授業・試験・成績

1. 授業

法学部では、教員の連絡先(住所、連絡先、研究室等)は公開しておりません。事務窓口では、教員との連絡依頼に応じていないので、教員と連絡を取りたい場合は、授業時間の前後に教室へ出向くか、前もって教員に連絡方法を確認して下さい。

2. 試験

定期試験として、7月中旬に春学期試験、1月中旬より秋学期試験を実施します。科目によっては、授業時間中の小テスト、レポートの提出、平素の学習状況、授業内試験等により総合的に考慮して評価し定期試験に代えることもあります。レポートの提出方法については、市ヶ谷共通項目参照ください。

(1) 試験時間割について

- ① 定期試験の時間割は、試験開始日の1週間前に発表します。
- ② 試験時間は、原則として基礎科目60分、専門科目は60分と90分です。
- ③ 試験時間割は通常の授業とは実施曜日・試験時間・試験教室等が異なるので注意してください。
- ④ 試験時間割の見誤りによる試験日、試験時間、試験教室のとり違いが多いので、必ず本人が試験時間割を見て確認し、間違いのないようにしてください。

(2) 受験上の注意

- ① 受験科目は登録した授業科目に限ります。未登録科目を受験しても単位修得は認められません。
- ② 受験者は必ず指定された教室で受験し、試験場では試験監督者の指示に従ってください。
- ③ 受験中は学生証を通路側の机の上に呈示してください。試験当日学生証を忘れた者は、授業期間は法学部窓口、試験期間は試験本部において「仮受験票」の発行を受けてから試験場に入ってください。
- ④ 答案には必ず学部、学科、学年、組、氏名、学生証番号等を明記してください。答案でこれらが不明な場合、評価ができないこともあります。
- ⑤ 試験開始後20分間は退出できません。また、試験終了10分前は退出できません。
- ⑥ 試験開始20分経過後は入室を認めず欠席扱いとなります。毎年、遅刻のため受験できず、不合格になるケースが発生しています。**試験当日は余裕をもって、少なくとも開始30分前には大学に着いているようにしてください。**なお、レポート提出による試験も同様の扱いとなります。
- ⑦ 試験中の不正行為は厳重に処分されます。学生としての真摯な態度で試験に臨んでください。
- ⑧ ノート、参考書等の参照が許されている授業科目を受験するときは、必ず自分のものを使用してください。貸借は認めません。試験中の貸借は不正行為とみなします。
- ⑨ 答案を提出しないで試験場から退場した場合は不正行為とみなします。白紙の場合でも氏名等を記入して必ず提出してください。
- ⑩ 各学部窓口では、試験に際して使用する筆記用具等の貸出しは行いません。

(3) 試験等における不正行為の処分基準について

試験等における不正行為は、学生の本文に悖る行為であり、学則 53 条の規定する懲戒の対象となります。法学部では、下記の基準に基づいて不正行為に対する処分を行います。

1 処分基準

(1) 定期試験(それに相当する授業内試験を含む)における不正行為

不正行為様態	処分内容
① 計画性の弱い、または偶発的な不正行為 例： a. 他人の答案の覗き見 b. 問題・答案用紙配布後の話し合い c. 参照可の資料等の貸借 d. 不審な挙動を注意した監督者の指示に従わない e. 答案の持ち帰り	○ 厳重注意、譴責または1カ月未満の停学 ○ 当該科目は無効(E評価)
② 計画性が強い、または意図的な不正行為 例： a. 参照不可の試験でカンニングペーパー使用 b. 机上への書き込み c. テキスト・ノート等の閲覧 d. 参照可の試験で許可されたもの以外の参照・使用 e. 許可されていない機器(携帯電話・スマートフォン等)の持ち込み、使用。 f. 答案用紙の交換(行為の態様により③の受験依頼に該当) g. 組織的なカンニング行為	○ 停学1カ月以上3カ月未満 ○ 当該科目は無効(E評価)に加え、原則として当該学期全履修科目の受験を無効(E評価)
③ 受験依頼(いわゆる替え玉受験) 例： a. 依頼された他人が本人になりすまして受験(本人の学生証使用) b. 答案提出直前に依頼した学生の氏名に書き換えて提出	○ 停学3カ月以上6カ月未満または無期停学 ○ 当該学期全履修科目の単位を無効(E評価)

※上記③に関し、依頼を受けて受験行為を行った者も学則上の処分の対象となりうる。

(2) 論文(卒業論文を含む)、レポート、作品等の成績評価に関わる提出課題における不正行為

不正行為様態	処分内容
① 剽窃(ひょうせつ)行為 例: a. 他人の論文、出版物、ウェブサイト、作品等から、適切な引用処理を行わずに限定的に流用した	○ 厳重注意または譴責
② 悪質な剽窃(ひょうせつ)行為 例: a. 他人の論文、出版物、ウェブサイト、作品等から、適切な引用処理を行わずに流用した b. 他人と示し合わせ、他人とほぼ同一の内容で課題を作成し提出した c. 他人が作成した論文等を、自己の氏名に書き換えて提出した d. 指導にも関わらず繰り返し剽窃行為を行った	○ 停学3カ月未満 ○ 当該科目は無効(E評価)
③ 代筆依頼 例: a. 論文・レポート等の作成を代行する企業・個人等の他者に作成を請け負わせ、納品物を自己が作成したものとして提出した	○ 停学3カ月以上6カ月未満 ○ 当該科目は無効(E評価)
④ その他不正行為 例: a. データの捏造(ねつぞう)、改竄(かいざん)。	○ 停学3カ月未満 ○ 当該科目は無効(E評価)

※上記③に関し、依頼を受けて代筆行為を行った者も学則上の処分の対象となりうる。

(3) 授業・試験等の出席に関わる不正行為

不正行為様態	処分内容
① 代返行為・虚偽申告 例: a. 他人に依頼し自己の出席報告を行わせた b. 他人から依頼を受け他人の出席報告を行った c. 出席報告書(出席カード等)の偽造により提出した d. 欠席理由に係る証明書類(診断書等)を偽造または虚偽の内容により提出した ※出席報告には、口頭によるもの、出席カード等紙面によるもの、学生証の情報を読み取るもの、各種システムを介して行うもの、いずれも含む。	○ 厳重注意、譴責または1カ月未満の停学

(4) 不正行為を複数回行った場合

過去、不正行為により処分を受けたことがある者が、在学中に再び前記(1)～(3)のいずれかの不正行為を行った場合には、処分を加重し、基準より重い処分を行うことがある。

2 懲戒処分の発効日

原則として当該学期の定期試験期間最終日の翌日とする。

3. 期末試験・期末レポート回収日に欠席した場合について

本人の病気等、以下のやむを得ない事態により、期末試験(定期試験およびそれに準ずる試験)を受験できなかった場合は、必要書類を持参の上、未受験申請をすることができます。

申請理由によっては未受験資格を得られない場合もありますので、自己判断せず、期末試験を受験できないと判明した時点で、学部窓口へ相談してください。

申請時は、「①履修登録科目確認通知書」と「②必要書類」「③レポート回収日に欠席した場合、申請時に提出予定であったレポート」を持参してください。

【未受験科目の代替措置の申請について】

理 由	必要書類	備 考	受付期間
電車遅延	遅延証明書	以下の場合認めない。 ・通学区間外の経路を利用して遅刻した場合 ・遅れた時間以上の遅延証明書がない場合(※1) ・試験開始時刻以降の入室を想定した場合(※1)	試験実施日当日のみ
病気・怪我	診断書(コピー不可・試験当日に登校が不可能である旨がわかる記載が必要)	本人の病気・怪我のみ	当該試験実施日の翌日から1週間以内(翌週の同じ曜日まで)、かつ、 <u>定期試験期間最終日まで</u> 。 受付最終日が、窓口業務を行わない日の場合は、その翌窓口開室日まで。 なお、受付最終日までに手続きができない場合は、学部窓口へ連絡・相談すること。
忌引き	会葬礼状	親族二親等(両親・兄弟姉妹・祖父母)の通夜・告別式のみ	
就職活動	氏名・日程等が記載された通知等	採用選考日(面接・筆記試験)のみ(※2)	
公務員・教員・資格試験	氏名・日程等が記載された通知等(受験票等)	試験日・訪問日のみ 指定試験合格者奨励金、L・U キャリアアップ奨励金の該当資格のみ	
体育会	保健体育部発行の「競技参加による欠席願」	体育会所属の学生のみ	
国体・国家代表等	対象学生の名前が記載されている大会の競技日程等		
教育実習、介護実習、資格課程科目の実習参加日程との重複	実習参加証明書	機関名・実習期間・学生所属・氏名が記載されたもの	

※1 例:試験開始から21分遅れたが、20分の遅延証明しかない場合等。

※2 面接・筆記試験以外の場合(または面接・筆記試験で通知等がない場合)、受験企業から採用に直結することの証明を得ること。その場合、学務部指定の就職試験受験証明書を必要書類とする。

(2)追試験対象科目

原則、法学部主催専門科目です。

ILAC／基礎科目、総合科目及び教職科目・資格科目において、定期試験およびこれに準ずる試験を受験できず、試験欠席に相当の理由があると認められる場合には、追試験は行いませんが、これに代わる代替措置が取られる可能性があります。代替措置には、レポートを課す、平常点・出席点で評価するなどの方法がありますが、いずれの方法を採用するかは担当教員により異なりますので、窓口で指示を受けてください。他学部公開科目については主催学部により、追試験を行わない場合もあります。

なお、年間科目の春学期試験については、担当者により追試験を実施しない場合があります。

※専門科目の「平常点評価」とは、演習など授業内試験又は定期試験を実施せず、出席点やレポートなどの総合点で評価する方法です。

詳しくは、試験実施時期に掲示される追試験関連掲示を参照してください。

4. 成績

以下のとおりになりますが、詳細は市ヶ谷共通項目を確認してください。

(1)成績評価(2019年度より適用)

履修した授業科目の単位を修得するためには、試験に合格し単位が認定されなければなりません。授業科目によっては、定期試験ではなく授業期間内に行われる試験やレポート課題、平常点によって評価される場合もあります。

成績評価の定義は下記のとおりです。

- S:学習目標を満たし卓越した成績をあげた
- A:学習目標を満たし優秀な成績をあげた
- B:おおむね学習目標を満たした
- C:最低限の学習目標を満たしたが、不十分な点も見られる
- D:学習目標を満たしていない
- E:未受験、採点不能

各グレード内で特に留意すべき加点・減点がある場合、＋を付加します。ただし、SとDに関しては＋を使用しません。

(2)GPA制度

成績評価S、A+、A、A-、B+、B、B-、C+、C、C-、Dの11段階と未受験・その他の場合の評価Eに、それぞれグレードポイント(Grade Point)がつけます。11段階の成績評価と評価基準とグレードポイントの関係は次のとおりです。

	合格(単位修得)					
成績評価	S	A+	A	A-	B+	B
評価基準	100-90 点	89-87 点	86-83 点	82-80 点	79-77 点	76-73 点
GP	4.0	3.3	3.0	2.7	2.3	2.0

	合格(単位修得)				不合格	
成績評価	B-	C+	C	C-	D	E
評価基準	72-70 点	69-67 点	66-63 点	62-60 点	59-0 点	未受験・他
GP	1.7	1.3	1.0	0.7	0.0	0.0

5. 進級・卒業および成績発表について

進級・卒業および成績評価の発表は、Webで行います。自身で成績通知書を出力し、確認してください。

情報システムURL : <https://www.as.hosei.ac.jp/>

(1)発表時期

- ① 1～3年次生の進級・成績発表は、3月初・中旬に行います。日時についての詳細は掲示します。
- ② 4年次生の卒業・成績発表は、3月初旬に行います。日時についての詳細は法政ポータルサイト(Hoppii)内Web掲示板でお知らせします。この日に自分自身で卒業の可否を確認してください。
- ③ 春学期で履修が完了する科目(春期科目・春期集中科目、前年度スプリングセッション、サマーセッション)の成績発表は、9月中旬頃に行います。学則第25条の6により、春学期完了科目の単位を修得した者が、秋学期に休学、退学及び除籍になった場合でも当該科目の単位及び成績は認定されます。

(2)休学者の進級・卒業について

- ① 1～3年生の各年次で通算して1年以上在籍し、進級要件を充たす場合、当該年度に半期のみ在学した場合であっても翌年度進級となります。なお、進級の時期は年度始め(4月)です。
- ② 学位授与の要件である「4カ年以上在学し」「卒業所要単位を修得」している場合、半期在学者であっても当該年度に卒業となります。

また、本人の申請により9月卒業を認めます。この場合、事前に「9月卒業申請書」の提出が必要です(提出期限は4月末日)。なお、9月中旬に学位記交付式を行います。

(3)成績評価調査について

次のような場合、所定の期間内に限り、法学部窓口にて成績評価調査を受付けます。

- ① 履修登録した科目を受験した(またはレポート提出等定められた義務を果たしている)にもかかわらず、その評価が「E 評価」(未受験)となっている場合
- ② 履修登録した科目を受験し(またはレポート提出等定められた義務を果たしている)、その評価が「D 評価」となった場合(但し、この場合は評価の確認のみ)

調査結果に変更があった場合、電話連絡等で通知します。調査の結果、成績が変更となった場合は、Web 上で成績通知書の評価が変わっているか確認し、変更後の成績通知書を出力、保管してください。
なお、期間外の成績評価調査及びS～C⁻評価については、理由の如何を問わず、事務での調査は一切行いません。

ただし、学生の皆さんの責によらない事由により、客観的に明らかな成績評価の間違いが発見された場合は、申請期間にかかわらず早急に窓口にご相談に来てください。

6. 進級再試験制度について(3年次生)

3年次生で、第3学年終了時に進級条件に**2科目以内**の不足を生じた者(春学期科目及び秋学期科目はそれぞれ1科目として数えます)について、以下により進級再試験を実施します。

3年次生は、進級発表日に必ず自分で進級の可否を確認してください。**再試験受験の申込みは進級発表当日、本人に限って受付けます。**再試験該当者であっても、進級の確認をせず再試験の申込みをしなかった者、再試験を受験しなかった者、再試験に不合格になった者は4年次に進級できません。

なお、進級再試験は、当該の3年次において履修登録をした科目に限ります。

また、**専門科目については、D評価を受けたものに限り、E評価科目は対象となりません。**

(1)対象科目：

対 象 科 目			実施の有無
基礎科目	①	基礎科目0群	×
	②	基礎科目1～3群	×
	③	基礎科目4群(春学期及び秋学期科目)※1	○
	④	基礎科目5群	×
専門科目	⑤	⑥～⑨を除く法学部主催専門科目	○
	⑥	法学部専門科目のうち、経営学部との合併科目	×
	⑦	他学部公開科目	×
	⑧	総合科目 (総合科目の中の政治学科専門科目含む)	×
	⑨	法学部専門科目のうち、春学期終了科目※2、レポート、平常点評価※3による科目	×
教職・資格科目	⑩	教職科目・資格科目	×

※1 ただし、4群必要単位数を満たしていない場合に限ります。

※2 法学部専門科目の春学期終了科目(春学期科目・春学期集中科目等)は対象となりません。

※3 専門科目の「平常点評価」とは、授業内試験又は定期試験を実施せず、出席点やレポートなどの総合点で評価する方法です。平常点評価をする科目は、公共政策フィールドワーク、文章の書き方セミナー、演習、卒業論文、電算実習科目、外国語講読など。

(2)受験資格： 3年次生で再試験の対象となる科目(専門科目についてはD評価、基礎科目についてはDもしくはE評価を受けた科目)のうち、2科目についてC評価を得れば進級要件を満たす場合(春学期科目・秋学期科目はそれぞれ1科目として数えます)。

例：「中国語1Ⅰ」「中国語1Ⅱ」ともD評価の場合は2科目と数えます。

(3)試験方法： 筆記試験またはレポート

(4)試験日程： 進級再試験受験の申込み時に法学部窓口で連絡します。

7. 卒業再試験制度について(4年次生)

4年次生で、第4学年終了時に卒業所要単位に2科目以内(専門科目のみ)の不足を生じた者について、以下により卒業再試験を実施します。4年次生は、卒業発表日に必ず自分で卒業の可否を確認してください。再試験受験の申込みは卒業発表当日、本人に限って受付けます。

再試験該当者であっても、卒業の確認をせず再試験の申込みをしなかった者、再試験を受験しなかった者、再試験に不合格になった者は卒業できません。

対象科目については、当該の4年次において履修登録をし、かつ、D評価を受けたものに限ります。

(1)対象科目： 法学部の専門科目のみで、基礎科目は対象となりません(以下詳細参照)

対 象 科 目	実施の有無
①法学部主催専門科目(②～⑤を除く)	○
②法学部専門科目のうち、経営学部との合併科目	×
③法学部専門科目のうち、春学期科目※1、レポート、平常点評価※2による科目	×
④総合科目(総合科目の中の政治学科専門科目含む)	×
⑤他学部公開科目	×
⑥基礎科目0群～5群	×
⑦教職科目・資格科目	×

※1 法学部専門科目の春学期終了科目(春学期科目・春学期集中科目等)は対象となりません。

※2 専門科目の「平常点評価」とは、授業内試験又は定期試験を実施せず、出席点やレポートなどの総合点で評価する方法です。平常点評価をする科目は、公共政策フィールドワーク、文書の書き方セミナー、演習、卒業論文、リサーチペーパー、電算実習科目、外国語講読など。

(2)受験資格： 対象となる科目でD評価を受けたが、そのうち2科目につきC評価を受ければ、卒業所要単位を満たす場合

(3)試験方法： 筆記試験、レポート試験または面接試験のいずれかとし、科目毎に定めます。

(4)試験日程： 卒業再試験受験の申込み時に法学部窓口で連絡します。

V. その他

1. 海外留学について

(1) Hosei Oxford Programme (HOP)

イギリスのオックスフォード大学およびフィリピン南フィリピン大学で行われる法学部生向けの短期海外研修プログラムです。国際政治学科生の必修プログラムですが、法律学科生・政治学科生も参加できます。2単位の専門科目として位置付けられており、国際政治学科生は必修科目、法律学科生・政治学科生は自由科目となります。

※国際政治学科では、2021年度にカリキュラム変更を予定しています。HOPについても変更されますので、可能な限り今年度履修してください。

(2) 法政大学の留学プログラム

法政大学には「派遣留学制度」「認定海外留学制度」などの長期留学制度があります。また、海外の協定大学からの交換留学生のために開設された、英語で行われる特別講座を受講できる「交換留学生受入れプログラム(ESOP)」も行われています。各種プログラムの詳しい内容はグローバル教育センターにお問い合わせください。

2. 英語外部試験と対策講座について

(1) TOEIC®-IP の受験

法学部生は6月と10月に、法政大学で行われるTOEIC®-IPテストを無料で受験できます。申し込み方法等の詳細は情報ポータルサイト(Hoppii)内の掲示板で確認してください。

(2) ELPAの受験

1年生は4月と1月に行われるELPAを全員受験してください。申し込みは不要です。

(3) 外部試験対策の課外講座

法政大学エクステンション・カレッジでは英語実用試験対策や英語力アップのための課外講座を実施しています。詳しくは市ヶ谷共通項目のエクステンション・カレッジの項を参照してください。

3. 公務員講座・法職講座について(公務人材育成センター)

法政大学は、「自由と進歩」の精神と「自立型人材」の育成という教育理念の下、多様な人材を社会に輩出してきました。毎年、多くの卒業生が民間企業に就職していく他、国家公務員あるいは地方公務員を志望する学生は多く、2018年度には363名(大学院含む)が公務員として就職しました。また、1880年に東京法学社として産声を上げて以来、多くの法曹(弁護士・検察官・裁判官)も誕生しています。さらに、従来から、卒業生の中には、公認会計士、税理士、司法書士等の各種資格の取得者がおり、また昨今では、NPO や NGO に活躍の場を見出す学生も見受けられます。

こうした状況の下で、法政大学は、2011年4月、「公務」を担う人材(公務人材)の育成を図るべく、公務人材育成センターを設置しました。公務を「公共性のある事務」ととらえれば、その担い手が公務員や法曹に限定されないことは自明のことですが、当センターは、公務員と法曹を公務人材の中核に位置付け、これらを目指す学生が、自由と進歩の精神を身につけた自立型人材として社会で活躍できるよう支援することを、その目的としています。そして、これを達成すべく、当センターでは、「公務員講座」と「法職講座」を学内に開設しています。

(1)「公務員講座」について

公務員講座では、入門講座(1年次)、基礎講座(2年次)、国家総合職対策講座(3年次)、国家・地方公務員上級職対策講座(3～4年次)を設けています。公務員試験合格に向けて、学年に応じたカリキュラムを用意しています。

また、講師による個別相談や、本学卒業生によるイベント(相談会、講演会等)の実施など、公務員の採用内定を得られるよう、より丁寧な指導を心がけています。なお、本講座は、学部生を念頭にカリキュラムを作成していますが、大学院生の受講も可能です。

(2)法職講座について

法職講座のカリキュラムは、法科大学院の受験対策にとどまりません。法曹を志す学部生は、まず法科大学院進学を考えますがそれが叶っても新司法試験に合格できなければ意味がありません。本講座では、将来的な新司法試験合格を目指して、学部生の段階で学習しておくべきカリキュラムを1年次から段階的に提供し、基礎力を養成していきます。講師は、主として本学卒業の弁護士が務めます。

4. 法政大学法科大学院について

司法制度改革の一環として発足した法科大学院は、専門知識を身に付けるだけではなく、幅広い視野と柔軟な思考力を養うべく実践的な教育を取り入れ、理論と実務のバランスが取れた法曹を育成することが求められています。

法政大学法科大学院は、こうした司法制度改革の理念を踏まえ、経験・実績の豊かな教授陣による少人数教育、先進的な実務教育、多様なカリキュラムと高度な設備という万全の体制で、新たな教育に取り組みます。優れた人間性と高度な専門知識を備え、複雑化する現代社会の法律問題に対して柔軟かつ適切に対応できる、創造的応用力を持った法曹を養成します。

法政大学法科大学院ホームページ:<http://hosei-law.cc-town.net/>

5. 法政大学大学院進学について

学部卒業後、さらに研究・研鑽を積み、専門家としての道を進む希望のあるみなさんは、大学院・専門職大学院への進学をめざしてください。本学に設置されている法学部に関連の深いものは以下の通りです。学部教育との連携もあります。カリキュラム・入試等について詳しくは、大学 HP など大学院紹介や入試要項を参照し、各研究科に問い合わせして下さい。

(1) 内部進学制度

大学院には、一般入試の他に、学部での成績を基準にした内部進学制度があります。

(2) 早期卒業者への対応

学部入学から最短 5 年で修士号(大学院研究科)、もしくは法務博士号(専門職大学院・既修者コースの場合)を取得できます。

① 法学研究科法律学専攻と政治学研究科国際政治学専攻

早い段階から学部と継続した研究指導を受けるため、3 年次での早期卒業制度(*)を利用し、内部進学制度もしくは一般の大学院入試を経て、卒業と同時に大学院に進学できます。

② 法務研究科

全志望者対象の入試(7 月の特待生入試、8 月以降の一般入試、未修者試験、既修者試験:重複受験可)に加え、11 月に早期卒業者対象特待生入試があります。内部進学制度と早期卒業者進学制度の手続については、入試要項を参照して下さい。

6. 法政大学大学院科目の履修について

法学部政治学科および国際政治学科の4年生は法政大学大学院政治学研究科国際政治学専攻の授業を一部履修することができます。修得した単位は法学部の卒業所要単位とはなりませんが、同研究科同専攻に進学した際、大学院修了単位として認定されます。

(1) 対象学生:政治学科および国際政治学科4年次生

(2) 対象科目:大学院政治学研究科国際政治専攻で開講する「基礎理論科目」、「グローバル・イシュー科目」、「アジア国際政治科目」

(3) 履修上限単位:10単位まで

(4) 履修条件:履修にあたっては大学院科目担当教員の許可が必要です。

(5) 修得単位の扱い:法学部卒業後、同研究科同専攻に入学した場合、申請により大学院修了単位として認定されます。法学部の卒業所要単位とはなりません。

(6) 履修手続き:学部窓口で配布する「大学院科目履修希望票」に必要事項を記入して提出して下さい。

7. 法学志林について

法学志林協会では、毎年4回雑誌「法学志林」を刊行しています。同誌には法学部教員を中心とした法学、政治学の研究者の研究成果が発表されており、学生諸君にとっても法学、政治学を学ぶうえで大いに役立つものと思います。同誌が刊行されると、大内山校舎 1 階自動販売機前カウンターで学生諸君に配布しますので、ぜひ入手して、講義や演習の勉強に際して利用して下さい。

8. 学籍(休学・退学・除籍)

以下のとおりになりますが、詳細は、市ヶ谷共通項目を確認してください。なお、市ヶ谷共通項目には、復籍や復学についても記載があります。

(1) 休学

病気その他のやむを得ない事由で、一定期間授業に出席できない学生は休学することができます。休学を希望する学生は、所定の手続きを期限内に行い、許可を得なくてはなりません。

春学期休学・秋学期休学の場合、通年科目の履修が無効となりますのでご注意ください。教職・資格科目を履修している場合は教職・資格担当に、事前に相談・手続きをしてください。奨学金を受けている場合は、学生センター厚生課に必ず相談・手続きをしてください。

休学願の届け出期限: 下表のとおり。

休学希望期間	休学願提出期限
年間	5 月 31 日
春学期	
秋学期	10 月 31 日

(2) 退学

病気その他の事情により退学を希望する学生は、所定の手続きを経て許可を受けなければなりません。奨学金を受けている場合は、学生センター厚生課にも必ず報告してください。

①退学願には必ず学生証を添付してください。

②学費の納入状況と退学許可日との関係は次のページの表のとおりです。

当該年度の学費納入	退学日として可能な日	退学願提出期間	当該年度の成績について
関係なく	前年度の 3 月 31 日付	5 月 31 日まで	すべて認定されません
春学期(1 期)分納入済	4 月 1 日～9 月 14 日付	9 月 15 日まで	すべて認定されません
	9 月 15 日付	10 月 31 日まで	春学期科目の成績のみ認定されます
秋学期(2 期)分納入済	9 月 16 日～3 月 30 日付	3 月下旬まで (詳細は窓口にお問い合わせください)	春学期科目の成績のみ認定されます
	3 月 31 日付		すべての成績が認定されます

(3) 除籍

下記の事項に 1 つでも該当した場合は除籍されます。

①授業料その他(学費)を所定の期日までに納入しない者。

②学則第 13 条の在学年限を超えた者。

③学則第 36 条の休学期間を超えた者。

④新入生で指定された期限までに履修登録をしない等、その他本大学において修学する意志がないと認められる者。

9. 学費

以下のとおりになりますが、詳細は、市ヶ谷共通項目を確認してください。

(1) 学費納入

各学年とも学費は下記期限までに納入してください。なお、一旦納入した学費その他は一切返還しません。

春学期入学者学費納入区分	学費振込依頼書送付時期	学費納入期限
春学期（1期）	4月	4月30日
秋学期（2期）	4月 (新入生のみ6月中旬～下旬)	9月30日

(2) 留級者（休学からの復学者を含む）

進級できなかった学生の授業料、実験実習料および教育充実費については、該当学生の入学年度に定められたものを適用します。ただし、諸会費については、当該年次の額として定められたものを納入してください。

(3) 4年次留級者

第4年次終了までに卒業所要単位を修得できなかった学生の授業料、実験実習料および教育充実費については、該当学生の入学年度に定められたものを適用します。

ただし、「4年次1年間分の在学」および「4年次分の学費を完納」の条件を満たしている場合、未修得単位24単位以下の学生の授業料に限り、該当学生の入学年度に定められたものの半額とします。半額が適用される場合、履修登録できる単位数の上限が制限される場合がありますのでご注意ください。

諸会費については、当該年次の額として定められたものを納入してください。

(4) 学費の延納制度について

経済的事由等のやむを得ない事情で、学則の納入期限までに学費の納入が困難な方を支援する制度です。事前に申請することで学費納入期限を所定の期日まで延期できます。学費の延納を希望する場合は、各期の延納受付期間内に「学費延納申請書」を提出してください。

期	延納期限	延納申請受付期間	学則上の納入期限
春学期	6月30日	4月1日～5月末日まで	4月30日
秋学期	11月30日	9月1日～10月末日まで	9月30日

10. 各種証明書の発行

(1) 和文(日本語)証明書

証明書の種類と名称	発行手数料	申請方法	発行までの日数(目安)	備考
在学証明書	200 円	証明書自動発行機	即日	厳封の必要がある場合は発行後、学部窓口を持参すること。
成績証明書				
卒業見込証明書 (最終学年のみ)				
成績・卒業見込証明書 (最終学年のみ)				
卒業証明書予約票 成績・卒業証明書予約票 (卒業予定者のみ)				
履修登録科目証明書				
単位修得見込証明書(資格用)		所属学部窓口	1 週間程度 窓口にお問い合わせください	厳封の必要がある場合は窓口で申請時に申し出ること。
教育職員免許状取得見込証明書				
学力に関する証明書(教職用)				
人物に関する証明書(教職用)				
健康診断証明書(最終学年)		証明書自動発行機	即日	健康診断を受診した学生のみ発行(※)
健康診断証明書(最終学年以外)		診療所窓口	診療所窓口にお問い合わせください	
調査書(大学院進学用)	600 円	所属学部窓口	窓口にお問い合わせください	志望先の指定書式をご用意ください
学校学生生徒旅客運賃割引証(学割証)	無料	証明書自動発行機	即日	
通学証明書(バス)		学生センター		必要な場合のみ

※大学での健康診断(年度初めに実施)は必ず受診してください。受診していないと体育実技の登録、奨学金の申請、就職活動などで必要な健康診断書が発行できません。

(2) 英文証明書

証明書の種類と名称	発行手数料	申請方法	発行までの日数(目安)	備考
< 英文 > 在学証明書	200 円	証明書自動発行機	即日	厳封の必要がある場合は発行後、学部窓口を持参すること。
< 英文 > 成績証明書				
< 英文 > 卒業見込証明書 (最終学年のみ)				
< 英文 > 成績・卒業見込証明書 (最終学年のみ)				

- ※ここに取り上げたものは、現在在学中の皆さんが取得できる証明書の種類とその申請方法です。卒業等で大学を離れてからの請求はこれとは異なりますので、法政大学ウェブサイトを参照してください。
- ※証明書自動発行機、各窓口の対応時間は季節により異なりますので、事前にウェブサイトを確認してください。
- ※卒業時における卒業証明書、成績・卒業証明書の申請は、卒業式当日の窓口の混乱を避けるためこれとは異なります。詳細は掲示等でお知らせしますので、見落としのないように留意してください。
- ※窓口申請する証明書の発行日数はあくまで目安です。申請時(または申請前)に必ず所要日数を確認してください。証明書の種類および申請時期により、申請から発行まで 1 週間以上要する場合もありますので、余裕をもって申し込んでください。
- ※証明書の作成にあたり、指定の用紙がある場合は持参してください。特に指定がない場合は、大学の様式で作成します。どちらの場合も料金は同一です。

ILAC(アイラック)科目/市ヶ谷基礎科目 新旧科目対応表

※単位数や履修年次は、科目一覧で確認して下さい。

法律・政治学科生用

2017年度以降入学生				2016年度以前入学生				備考
群	科目配	必修選択	授 業 科 目	群	授 業 科 目			
0群	基盤	選択	リベラルアーツ特別講座	0群	リベラルアーツ特別講座			2020年度新規開講
			課題解決型フィールドワーク		課題解決型フィールドワーク			2019年度新規開講
			基礎ゼミⅠ/Ⅱ		基礎ゼミⅠ/Ⅱ			
			情報処理演習Ⅰ		情報処理演習Ⅰ			
			キャリアデザイン入門		キャリアデザイン入門			2018年度新規開講
			キャリアデザイン応用		キャリアデザイン応用			2018年度新規開講
			キャリアデザイン演習		キャリアデザイン演習			2017年度で閉講
			就業基礎力養成Ⅰ/Ⅱ		就業基礎力養成Ⅰ/Ⅱ			2017年度で閉講
			大学を知ろう <法政学>への招待		大学を知ろう <法政学>への招待			「法政学への招待」からの名称変更
	リベラル	選択	法政学の探究LA ◇		法政学の探究A			
			法政学の探究LB ◇		法政学の探究B			
			情報処理演習Ⅱ		情報処理演習Ⅱ			
1群	基盤	選択必修	日本古典文学A ◇	1群	文学Ⅰ			
			日本古典文学B ◇		文学Ⅱ			
			日本近・現代文学A ◇		文学Ⅰ			
			日本近・現代文学B ◇		文学Ⅱ			
			日本文学A ◇		文学Ⅰ			
			日本文学B ◇		文学Ⅱ			
			外国文学A ◇		文学Ⅰ			
			外国文学B ◇		文学Ⅱ			
			文章論 ◇		文章論Ⅰ			
			言語学A ◇		言語学Ⅰ			
			言語学B ◇		言語学Ⅱ			
			哲学Ⅰ/Ⅱ		哲学Ⅰ/Ⅱ			
			倫理学Ⅰ/Ⅱ		倫理学Ⅰ/Ⅱ			
			論理学Ⅰ/Ⅱ		論理学Ⅰ/Ⅱ			
			東洋史Ⅰ/Ⅱ		東洋史Ⅰ/Ⅱ			
			西洋史Ⅰ/Ⅱ		西洋史Ⅰ/Ⅱ			
			日本史Ⅰ/Ⅱ		日本史Ⅰ/Ⅱ			
			宗教論Ⅰ/Ⅱ					※1
			芸術A					※1
			芸術B					
	リベラル	選択必修	日本文学と文化LA/LC/LE/LG ◇		文学Ⅰ			
			日本文学と文化LB/LD/LF/LH ◇		文学Ⅱ			
			外国文学と文化LA/LC/LE ◇		文学Ⅰ			
			外国文学と文化LB/LD/LF ◇		文学Ⅱ			
			文学と社会LA/LC/LE ◇		文学Ⅰ			
			文学と社会LB/LD/LF ◇		文学Ⅱ			
			音声学L ◇		言語学Ⅱ			
			哲学LⅠ/LⅡ ◇		哲学Ⅰ/Ⅱ			
			倫理学LⅠ/LⅡ ◇		倫理学Ⅰ/Ⅱ			
			論理学LⅠ/LⅡ ◇		論理学Ⅰ/Ⅱ			
			東洋史LⅠ/LⅡ ◇		東洋史Ⅰ/Ⅱ			
			西洋史LA ◇		西洋史Ⅰ			
			西洋史LB ◇		西洋史Ⅱ			
			日本史LⅠ/LⅡ ◇		日本史Ⅰ/Ⅱ			
			宗教論LⅠ/LⅡ ◇					※1
2群	基盤	選択必修	法学Ⅰ/Ⅱ	2群	法学Ⅰ/Ⅱ			
			法学(日本国憲法)		法学(日本国憲法)			
			経済学Ⅰ/Ⅱ		経済学Ⅰ/Ⅱ			経営学部除く
			マクロ経済学Ⅰ/Ⅱ		マクロ経済学Ⅰ/Ⅱ			経営学部のみ
			心理学Ⅰ/Ⅱ		心理学Ⅰ/Ⅱ			
			地理学Ⅰ/Ⅱ		地理学Ⅰ/Ⅱ			
			政治学Ⅰ/Ⅱ		政治学Ⅰ/Ⅱ			
			社会学Ⅰ/Ⅱ		社会学Ⅰ/Ⅱ			
			文化人類学 ◇		文化人類学Ⅰ			
			社会思想Ⅰ/Ⅱ		社会思想Ⅰ/Ⅱ			
	リベラル	選択必修	経済学LA ◇		経済学Ⅰ			
			経済学LB ◇		経済学Ⅱ			
			心理学LA ◇		心理学Ⅰ			
			心理学LB ◇		心理学Ⅱ			
			地理学LA/LC ◇		地理学Ⅰ			
			地理学LB/LD ◇		地理学Ⅱ			
			政治学LA ◇		政治学Ⅰ			
			政治学LB ◇		政治学Ⅱ			
			社会学LA/LC ◇		社会学Ⅰ			
			社会学LB/LD ◇		社会学Ⅱ			
			文化人類学L ◇		文化人類学Ⅱ			
			社会思想LA ◇		社会思想Ⅰ			
			社会思想LB ◇		社会思想Ⅱ			

ILAC(アイラック)科目/市ヶ谷基礎科目 新旧科目対応表

※単位数や履修年次は、科目一覧で確認して下さい。

法律・政治学科生用

2017年度以降入学生				2016年度以前入学生		備考	
群	科目配	必修選択	授 業 科 目	群	授 業 科 目		
3群	基盤	選択必修	教養数学A	3群	教養数学A		
			教養数学B		教養数学B		
			基礎数学Ⅰ／Ⅱ		基礎数学Ⅰ／Ⅱ		
			入門物理学A ◇		原子から宇宙までⅠ		
			入門物理学B ◇		原子から宇宙までⅡ		
			入門生物学A ◇		生命科学Ⅰ／Ⅱ		
			入門生物学B ◇		生命科学Ⅰ／Ⅱ		
			入門化学A ◇		物質と環境Ⅰ		
			入門化学B ◇		物質と環境Ⅱ		
			サイエンス・ラボA		サイエンス・ラボA		
			サイエンス・ラボB		サイエンス・ラボB		
			天文学A			※1	
			天文学B			※1	
			科学史A				
			科学史B				
3群	リベラル	選択必修	数学特講LA ◇	3群	教養数学A		
			数学特講LB ◇		教養数学B		
			発展数学LⅠ／LⅡ ◇		発展数学Ⅰ／Ⅱ		
			教養物理学LA ◇		原子から宇宙までⅠ		
			教養物理学LB ◇		原子から宇宙までⅡ		
			教養生物学LB/LD/LF ◇		生命科学Ⅰ		
			教養生物学LA/LC/LE ◇		生命科学Ⅱ		
			教養化学LA ◇		物質と環境Ⅰ		
			教養化学LB ◇		物質と環境Ⅱ		
5群	基盤	必修	スポーツ総合演習	5群	スポーツ総合演習		
		選択	スポーツ総合演習S ◇				
	リベラル	選択	健康の科学LA ◇	0群	健康の科学Ⅰ	※3	
			健康の科学LB ◇		健康の科学Ⅱ		
4群	リベラル	選択	ドイツの文化と社会LA ◇	総合科目 または 0群	ドイツの文化と社会Ⅰ	※4	
			ドイツの文化と社会LB ◇		ドイツの文化と社会Ⅱ		
			ドイツ語の世界LA ◇		ドイツ語の世界Ⅰ	※3	
			ドイツ語の世界LB ◇		ドイツ語の世界Ⅱ		
			フランスの文化と社会LA ◇		フランスの文化と社会Ⅰ	※4	
			フランスの文化と社会LB ◇		フランスの文化と社会Ⅱ		
			フランス語の世界LA ◇		フランス語の世界Ⅰ	※3	
			フランス語の世界LB ◇		フランス語の世界Ⅱ		
			フランス生活文化論LA			※1	
			フランス生活文化論LB				
			ロシアの文化と社会LA ◇		ロシアの文化と社会Ⅰ	※4	
			ロシアの文化と社会LB ◇		ロシアの文化と社会Ⅱ		
			ロシア語の世界LA ◇		ロシア語の世界Ⅰ	※3	
			ロシア語の世界LB ◇		ロシア語の世界Ⅱ		
			中国の文化と社会LA/LC ◇		中国の文化と社会Ⅰ	※4	
			中国の文化と社会LB/LD ◇		中国の文化と社会Ⅱ		
			中国語の世界LA ◇		中国語の世界Ⅰ	※3	
			中国語の世界LB ◇		中国語の世界Ⅱ		
			スペイン語の世界LA ◇		スペイン語の世界Ⅰ	※3	
			スペイン語の世界LB ◇		スペイン語の世界Ⅱ		
			朝鮮の文化と社会LA ◇		朝鮮の文化と社会Ⅰ	※4	
			朝鮮の文化と社会LB ◇		朝鮮の文化と社会Ⅱ		
			日本の文化と社会LA ◇		日本の文化と社会Ⅰ	※4	
			日本の文化と社会LB ◇		日本の文化と社会Ⅱ		
			日本語の世界LA ◇		日本語の世界Ⅰ	※3	
			日本語の世界LB ◇		日本語の世界Ⅱ		
		外国語科目	必修	English1Ⅰ／Ⅱ	4群	English1Ⅰ／Ⅱ	
				English2Ⅰ／Ⅱ		English2Ⅰ／Ⅱ	
			選択必修	English3Ⅰ／Ⅱ			※1 ただし2年次英語 選択者のみ
			選択	入門英語(SSI)Ⅰ／Ⅱ		入門英語(SSI)Ⅰ／Ⅱ	
				英語オーラル・コミュニケーションⅠ／Ⅱ		英語オーラル・コミュニケーションⅠ／Ⅱ	
						基礎から固める英語Ⅰ／Ⅱ	2017年度で閉講
				ビジネス・イングリッシュⅠ／Ⅱ ◇		英語ビジネス・コミュニケーションⅠ／Ⅱ	
				English Reading and VocabularyⅠ／Ⅱ			※1
							※2
English Academic WritingⅠ／Ⅱ ◇	英文ライティングⅠ／Ⅱ						
英語で学ぶ社会と文化Ⅰ／Ⅱ ◇	英語アカデミック・ライティングⅠ／Ⅱ						
English PresentationⅠ／Ⅱ ◇	マスメディアの英語Ⅰ／Ⅱ						
英語アカデミック・リーディングⅠ／Ⅱ ◇	映画で学ぶ英語Ⅰ／Ⅱ						
英語検定試験対策Ⅰ／Ⅱ	英語リーディング・ワークショップⅠ／Ⅱ						
	英語検定試験対策Ⅰ／Ⅱ						

ILAC(アイラック)科目/市ヶ谷基礎科目 新旧科目対応表

※単位数や履修年次は、科目一覧で確認して下さい。

法律・政治学科生用

2017年度以降入学生				2016年度以前入学生				備考
群	科目配	必修選択	授 業 科 目	群	授 業 科 目			
4群	外国語科目	ドイツ語	必修	4群	ドイツ語1:表現－文法の基礎Ⅰ/Ⅱ			
					ドイツ語2:読解－文法の練習Ⅰ/Ⅱ			
					ドイツ語3:理解－テキストの把握Ⅰ/Ⅱ			
					ドイツ語4Ⅰ/Ⅱ			
			選択必修		ドイツ語5Ⅰ/Ⅱ		※2	
					ドイツ語表現Ⅰ/Ⅱ			
					スポーツ・ドイツ語Ⅰ/Ⅱ			
					検定ドイツ語Ⅰ/Ⅱ			
					ドイツ語コミュニケーションⅠ/Ⅱ			
					ドイツ語視聴覚Ⅰ/Ⅱ			
		フランス語	必修		時事ドイツ語Ⅰ/Ⅱ			
					フランス語1Ⅰ/Ⅱ			
					フランス語2Ⅰ/Ⅱ			
					フランス語3Ⅰ/Ⅱ			
					フランス語4Ⅰ/Ⅱ			
			選択必修		フランス語5Ⅰ/Ⅱ			
					フランス語視聴覚(入門)Ⅰ/Ⅱ ◇			
					フランス語視聴覚(初・中級)Ⅰ/Ⅱ ◇			
					フランス語コミュニケーション(初級)Ⅰ/Ⅱ ◇			
					フランス語コミュニケーションⅠ/Ⅱ			
		ロシア語	必修		スポーツ・フランス語Ⅰ/Ⅱ		2017年度で閉講	
					観光フランス語Ⅰ/Ⅱ		2017年度で閉講	
					時事フランス語Ⅰ/Ⅱ			
					検定フランス語Ⅰ/Ⅱ			
					情報フランス語Ⅰ/Ⅱ			
			選択必修		ロシア語1Ⅰ/Ⅱ			
					ロシア語2Ⅰ/Ⅱ			
					ロシア語3Ⅰ/Ⅱ			
					ロシア語4Ⅰ/Ⅱ			
					ロシア語5Ⅰ/Ⅱ			
		中国語	必修		中国語1Ⅰ/Ⅱ			
					中国語2Ⅰ/Ⅱ			
					中国語3Ⅰ/Ⅱ			
					中国語4Ⅰ/Ⅱ			
			選択必修		中国語5Ⅰ/Ⅱ		※2	
					中国語視聴覚初級Ⅰ/Ⅱ ◇			
					中国語作文初級Ⅰ/Ⅱ ◇			
					中国語コミュニケーション基礎Ⅰ/Ⅱ ◇			
					中国語コミュニケーション初級Ⅰ/Ⅱ ◇			
					資格中国語初級Ⅰ/Ⅱ ◇			
		スペイン語	必修		検定中国語Ⅰ/Ⅱ			
					スペイン語1Ⅰ/Ⅱ			
					スペイン語2Ⅰ/Ⅱ			
					スペイン語3Ⅰ/Ⅱ			
					スペイン語4Ⅰ/Ⅱ			
			選択必修		スペイン語5Ⅰ/Ⅱ		※2	
					スペイン語講読Ⅰ/Ⅱ		※2	
					時事スペイン語Ⅰ/Ⅱ			
					スペイン語コミュニケーションⅠ/Ⅱ			
			選択		朝鮮語1Ⅰ/Ⅱ			
		朝鮮語	必修		朝鮮語2Ⅰ/Ⅱ			
					朝鮮語3Ⅰ/Ⅱ			
					朝鮮語3Ⅰ/Ⅱ			
					朝鮮語コミュニケーションⅠ/Ⅱ			
			選択必修		朝鮮語4Ⅰ/Ⅱ			
					朝鮮語視聴覚Ⅰ/Ⅱ			
					朝鮮語5Ⅰ/Ⅱ		※2	
					朝鮮語講読Ⅰ/Ⅱ			
					朝鮮語表現Ⅰ/Ⅱ			
		日本語	必修		日本語1Ⅰ/Ⅱ			
					日本語2Ⅰ/Ⅱ			
					日本語3Ⅰ/Ⅱ			
					日本語4Ⅰ/Ⅱ			
			選択		日本語コミュニケーションⅠ/Ⅱ		※2	

※1・・・2017年度以降入学生のみ履修可

※2・・・2016年度以前入学生のみ履修可

※3・・・2016年度以前入学生は、0群科目として履修

※4・・・2016年度以前入学生は、総合科目として履修

◇・・・2017年度以降入学生と2016年度以前入学生で科目名が異なるもの。

ILAC(アイラック)科目/市ヶ谷基礎科目 新旧科目対応表

※単位数や履修年次は、科目一覧で確認して下さい。

国際政治学科生用

2017年度以降入学生				2016年度以前入学生				備考
群	科目配	必修選択	授 業 科 目	群	授 業 科 目			
0群	基盤	選択	リベラルアーツ特別講座	0群	リベラルアーツ特別講座			2020年度新規開講
			課題解決型フィールドワーク		課題解決型フィールドワーク			2019年度新規開講
			基礎ゼミⅠ/Ⅱ		基礎ゼミⅠ/Ⅱ			
			情報処理演習Ⅰ		情報処理演習Ⅰ			
			キャリアデザイン入門		キャリアデザイン入門			2018年度新規開講
			キャリアデザイン応用		キャリアデザイン応用			2018年度新規開講
			キャリアデザイン演習		キャリアデザイン演習			2017年度で閉講
			就業基礎力養成Ⅰ/Ⅱ		就業基礎力養成Ⅰ/Ⅱ			2017年度で閉講
			大学を知ろう <法政学>への招待		大学を知ろう <法政学>への招待			「法政学への招待」からの名称変更
	リベラル	選択	法政学の探究LA ◇		法政学の探究A			
			法政学の探究LB ◇		法政学の探究B			
			情報処理演習Ⅱ		情報処理演習Ⅱ			
1群	基盤	選択必修	日本古典文学A ◇	1群	文学Ⅰ			
			日本古典文学B ◇		文学Ⅱ			
			日本近・現代文学A ◇		文学Ⅰ			
			日本近・現代文学B ◇		文学Ⅱ			
			日本文学A ◇		文学Ⅰ			
			日本文学B ◇		文学Ⅱ			
			外国文学A ◇		文学Ⅰ			
			外国文学B ◇		文学Ⅱ			
			文章論 ◇		文章論Ⅰ			
			言語学A ◇		言語学Ⅰ			
			言語学B ◇		言語学Ⅱ			
			哲学Ⅰ/Ⅱ		哲学Ⅰ/Ⅱ			
			倫理学Ⅰ/Ⅱ		倫理学Ⅰ/Ⅱ			
			論理学Ⅰ/Ⅱ		論理学Ⅰ/Ⅱ			
			東洋史Ⅰ/Ⅱ		東洋史Ⅰ/Ⅱ			
			西洋史Ⅰ/Ⅱ		西洋史Ⅰ/Ⅱ			
			日本史Ⅰ/Ⅱ		日本史Ⅰ/Ⅱ			
			宗教論Ⅰ/Ⅱ					※1
			芸術A					※1
			芸術B					
	リベラル	選択必修	日本文学と文化LA/LC/LE/LG ◇		文学Ⅰ			
			日本文学と文化LB/LD/LF/LH ◇		文学Ⅱ			
			外国文学と文化LA/LC/LE ◇		文学Ⅰ			
			外国文学と文化LB/LD/LF ◇		文学Ⅱ			
			文学と社会LA/LC/LE ◇		文学Ⅰ			
			文学と社会LB/LD/LF ◇		文学Ⅱ			
			音声学L ◇		言語学Ⅱ			
			哲学LⅠ/LⅡ ◇		哲学Ⅰ/Ⅱ			
			倫理学LⅠ/LⅡ ◇		倫理学Ⅰ/Ⅱ			
			論理学LⅠ/LⅡ ◇		論理学Ⅰ/Ⅱ			
			東洋史LⅠ/LⅡ ◇		東洋史Ⅰ/Ⅱ			
			西洋史LA ◇		西洋史Ⅰ			
			西洋史LB ◇		西洋史Ⅱ			
			日本史LⅠ/LⅡ ◇		日本史Ⅰ/Ⅱ			
			宗教論LⅠ/LⅡ ◇					※1
2群	基盤	選択必修	法学Ⅰ/Ⅱ	2群	法学Ⅰ/Ⅱ			
			法学(日本国憲法)		法学(日本国憲法)			
			経済学Ⅰ/Ⅱ		経済学Ⅰ/Ⅱ			経営学部除く
			マクロ経済学Ⅰ/Ⅱ		マクロ経済学Ⅰ/Ⅱ			経営学部のみ
			心理学Ⅰ/Ⅱ		心理学Ⅰ/Ⅱ			
			地理学Ⅰ/Ⅱ		地理学Ⅰ/Ⅱ			
			政治学Ⅰ/Ⅱ		政治学Ⅰ/Ⅱ			
			社会学Ⅰ/Ⅱ		社会学Ⅰ/Ⅱ			
			文化人類学 ◇		文化人類学Ⅰ			
			社会思想Ⅰ/Ⅱ		社会思想Ⅰ/Ⅱ			
	リベラル	選択必修	経済学LA ◇		経済学Ⅰ			
			経済学LB ◇		経済学Ⅱ			
			心理学LA ◇		心理学Ⅰ			
			心理学LB ◇		心理学Ⅱ			
			地理学LA/LC ◇		地理学Ⅰ			
			地理学LB/LD ◇		地理学Ⅱ			
			政治学LA ◇		政治学Ⅰ			
			政治学LB ◇		政治学Ⅱ			
			社会学LA/LC ◇		社会学Ⅰ			
			社会学LB/LD ◇		社会学Ⅱ			
			文化人類学L ◇		文化人類学Ⅱ			
			社会思想LA ◇		社会思想Ⅰ			
			社会思想LB ◇		社会思想Ⅱ			

ILAC(アイラック)科目/市ヶ谷基礎科目 新旧科目対応表

※単位数や履修年次は、科目一覧で確認して下さい。

国際政治学科生用

2017年度以降入学生				2016年度以前入学生				備考
群	科目配	必修選択	授 業 科 目	群	授 業 科 目			
3群	基盤	選択必修	教養数学A	3群	教養数学A			
			教養数学B		教養数学B			
			基礎数学Ⅰ/Ⅱ		基礎数学Ⅰ/Ⅱ			
			入門物理学A ◇		原子から宇宙までⅠ			
			入門物理学B ◇		原子から宇宙までⅡ			
			入門生物学A ◇		生命科学Ⅰ/Ⅱ			
			入門生物学B ◇		生命科学Ⅰ/Ⅱ			
			入門化学A ◇		物質と環境Ⅰ			
			入門化学B ◇		物質と環境Ⅱ			
			サイエンス・ラボA		サイエンス・ラボA			
			サイエンス・ラボB		サイエンス・ラボB			
			天文学A					※1
			天文学B					※1
			科学史A					
			科学史B					
3群	リベラル	選択必修	数学特講LA ◇	3群	教養数学A			
			数学特講LB ◇		教養数学B			
			発展数学Ⅰ/Ⅱ ◇		発展数学Ⅰ/Ⅱ			
			教養物理学LA ◇		原子から宇宙までⅠ			
			教養物理学LB ◇		原子から宇宙までⅡ			
			教養生物学LB/LD/LF ◇		生命科学Ⅰ			
			教養生物学LA/LC/LE ◇		生命科学Ⅱ			
			教養化学LA ◇		物質と環境Ⅰ			
			教養化学LB ◇		物質と環境Ⅱ			
5群	基盤	必修	スポーツ総合演習	5群	スポーツ総合演習			
		選択	スポーツ総合演習S ◇					
	リベラル	選択	健康の科学LA ◇	0群	健康の科学Ⅰ			※3
			健康の科学LB ◇		健康の科学Ⅱ			
4群	リベラル	選択	ドイツの文化と社会LA ◇	総合科目 または 0群	ドイツの文化と社会Ⅰ			※4
			ドイツの文化と社会LB ◇		ドイツの文化と社会Ⅱ			※4
			ドイツ語の世界LA ◇		ドイツ語の世界Ⅰ			※3
			ドイツ語の世界LB ◇		ドイツ語の世界Ⅱ			※3
			フランスの文化と社会LA ◇		フランスの文化と社会Ⅰ			※4
			フランスの文化と社会LB ◇		フランスの文化と社会Ⅱ			※4
			フランス語の世界LA ◇		フランス語の世界Ⅰ			※3
			フランス語の世界LB ◇		フランス語の世界Ⅱ			※3
			フランス生活文化論LA					※1
			フランス生活文化論LB					
			ロシアの文化と社会LA ◇		ロシアの文化と社会Ⅰ			※4
			ロシアの文化と社会LB ◇		ロシアの文化と社会Ⅱ			※4
			ロシア語の世界LA ◇		ロシア語の世界Ⅰ			※3
			ロシア語の世界LB ◇		ロシア語の世界Ⅱ			※3
			中国の文化と社会LA/LC ◇		中国の文化と社会Ⅰ			※4
			中国の文化と社会LB/LD ◇		中国の文化と社会Ⅱ			※4
			中国語の世界LA ◇		中国語の世界Ⅰ			※3
			中国語の世界LB ◇		中国語の世界Ⅱ			※3
			スペイン語の世界LA ◇		スペイン語の世界Ⅰ			※3
			スペイン語の世界LB ◇		スペイン語の世界Ⅱ			※3
			朝鮮の文化と社会LA ◇		朝鮮の文化と社会Ⅰ			※4
			朝鮮の文化と社会LB ◇		朝鮮の文化と社会Ⅱ			※4
			日本の文化と社会LA ◇		日本の文化と社会Ⅰ			※4
			日本の文化と社会LB ◇		日本の文化と社会Ⅱ			※4
			日本語の世界LA ◇		日本語の世界Ⅰ			※3
			日本語の世界LB ◇		日本語の世界Ⅱ			※3
	外国語科目	必修	Academic EnglishⅠ/Ⅱ	4群	Academic EnglishⅠ/Ⅱ			
		選択	入門英語(SSI)Ⅰ/Ⅱ		入門英語(SSI)Ⅰ/Ⅱ			
		選択必修	英語オールラウンド・コミュニケーションⅠ/Ⅱ		英語オールラウンド・コミュニケーションⅠ/Ⅱ			2017年度で閉講
					基礎から固める英語Ⅰ/Ⅱ			
			ビジネス・イングリッシュⅠ/Ⅱ ◇		英語ビジネス・コミュニケーションⅠ/Ⅱ			※1
			English Reading and VocabularyⅠ/Ⅱ					※2
					英文ライティングⅠ/Ⅱ			
			English Academic WritingⅠ/Ⅱ ◇		英語アカデミック・ライティングⅠ/Ⅱ			
			英語で学ぶ社会と文化Ⅰ/Ⅱ ◇		マスメディアの英語Ⅰ/Ⅱ			
			English PresentationⅠ/Ⅱ ◇		映画で学ぶ英語Ⅰ/Ⅱ			
			英語アカデミック・リーディングⅠ/Ⅱ ◇		英語リーディング・ワークショップⅠ/Ⅱ			
			英語検定試験対策Ⅰ/Ⅱ		英語検定試験対策Ⅰ/Ⅱ			
		必修	ドイツ語(1)Ⅰ/Ⅱ		ドイツ語(1)Ⅰ/Ⅱ			
			ドイツ語(2)Ⅰ/Ⅱ		ドイツ語(2)Ⅰ/Ⅱ			
		選択	ドイツ語(3)Ⅰ/Ⅱ		ドイツ語(3)Ⅰ/Ⅱ			
			入門ドイツ語(SSI)Ⅰ/Ⅱ ◇		スポーツ・ドイツ語Ⅰ/Ⅱ			
			ドイツ語表現法Ⅰ/Ⅱ		ドイツ語表現法Ⅰ/Ⅱ			
			検定ドイツ語Ⅰ/Ⅱ		検定ドイツ語Ⅰ/Ⅱ			
			ドイツ語コミュニケーションⅠ/Ⅱ		ドイツ語コミュニケーションⅠ/Ⅱ			
			ドイツ語視聴覚Ⅰ/Ⅱ		ドイツ語視聴覚Ⅰ/Ⅱ			
			時事ドイツ語Ⅰ/Ⅱ		時事ドイツ語Ⅰ/Ⅱ			

ILAC(アイラック)科目/市ヶ谷基礎科目 新旧科目対応表

※単位数や履修年次は、科目一覧で確認して下さい。

国際政治学科生用

2017年度以降入学生				2016年度以前入学生				備考
群	科目配	必修選択	授 業 科 目	群	授 業 科 目			
4群	外国語科目	フランス語	必修	フランス語(1)Ⅰ／Ⅱ	フランス語(1)Ⅰ／Ⅱ			
				フランス語(2)Ⅰ／Ⅱ	フランス語(2)Ⅰ／Ⅱ			
				フランス語(3)Ⅰ／Ⅱ	フランス語(3)Ⅰ／Ⅱ			
			選択	フランス語視聴覚(入門)Ⅰ／Ⅱ ◇	フランス語視聴覚Ⅰ／Ⅱ			
				フランス語視聴覚(初・中級)Ⅰ／Ⅱ ◇	フランス語視聴覚Ⅲ／Ⅳ			
					スポーツ・フランス語Ⅰ／Ⅱ	2017年度で閉講		
					観光フランス語Ⅰ／Ⅱ	2017年度で閉講		
					フランス語コミュニケーションⅠ／Ⅱ			
				フランス語コミュニケーション(初級)Ⅰ／Ⅱ ◇	フランス語コミュニケーションⅠ／Ⅱ			
				時事フランス語Ⅰ／Ⅱ	時事フランス語Ⅰ／Ⅱ			
				検定フランス語(初級)Ⅰ／Ⅱ ◇	検定フランス語Ⅰ／Ⅱ			
				情報フランス語Ⅰ／Ⅱ	情報フランス語Ⅰ／Ⅱ			
					ロシア語(1)Ⅰ／Ⅱ			
					ロシア語(2)Ⅰ／Ⅱ			
					ロシア語(3)Ⅰ／Ⅱ			
		中国語	必修	中国語(1)Ⅰ／Ⅱ	中国語(1)Ⅰ／Ⅱ			
				中国語(2)Ⅰ／Ⅱ	中国語(2)Ⅰ／Ⅱ			
				中国語(3)Ⅰ／Ⅱ	中国語(3)Ⅰ／Ⅱ			
			選択	中国語視聴覚初級Ⅰ／Ⅱ ◇	中国語視聴覚Ⅰ／Ⅱ			
				中国語作文初級Ⅰ／Ⅱ ◇	中国語表現法Ⅰ／Ⅱ			
				中国語コミュニケーション基礎Ⅰ／Ⅱ ◇	中国語コミュニケーションⅠ／Ⅱ			
				中国語コミュニケーション初級Ⅰ／Ⅱ ◇	中国語コミュニケーションⅠ／Ⅱ			
		スペイン語	必修	資格中国語初級Ⅰ／Ⅱ ◇	検定中国語Ⅰ／Ⅱ			
				スペイン語(1)Ⅰ／Ⅱ	スペイン語(1)Ⅰ／Ⅱ			
				スペイン語(2)Ⅰ／Ⅱ	スペイン語(2)Ⅰ／Ⅱ			
			選択	スペイン語(3)Ⅰ／Ⅱ	スペイン語(3)Ⅰ／Ⅱ			
				時事スペイン語Ⅰ／Ⅱ	時事スペイン語Ⅰ／Ⅱ			
					スペイン語講読Ⅰ／Ⅱ	※2		
				スペイン語コミュニケーションⅠ／Ⅱ	スペイン語コミュニケーションⅠ／Ⅱ			
		朝鮮語	必修	朝鮮語(1)Ⅰ／Ⅱ	朝鮮語(1)Ⅰ／Ⅱ			
				朝鮮語(2)Ⅰ／Ⅱ	朝鮮語(2)Ⅰ／Ⅱ			
				朝鮮語(3)Ⅰ／Ⅱ	朝鮮語(3)Ⅰ／Ⅱ			
				朝鮮語3C(コミュニケーション)Ⅰ／Ⅱ ◇	朝鮮語コミュニケーションⅠ／Ⅱ			
			選択	朝鮮語4B(視聴覚)Ⅰ／Ⅱ ◇	朝鮮語視聴覚Ⅰ／Ⅱ			
				朝鮮語5A(講読)Ⅰ／Ⅱ ◇	朝鮮語講読Ⅰ／Ⅱ			
				朝鮮語5B(表現法)Ⅰ／Ⅱ ◇	朝鮮語表現法Ⅰ／Ⅱ			
日本語	選択		日本語コミュニケーションⅠ／Ⅱ	※2				

※1・・・2017年度以降入学生のみ履修可

※2・・・2016年度以前入学生のみ履修可

※3・・・2016年度以前入学生は、0群科目として履修

※4・・・2016年度以前入学生は、総合科目として履修

◇・・・2017年度以降入学生と2016年度以前入学生で科目名が異なるもの。

総合科目新旧対応表 2017年度以降入学生/2016年度以前入学生

科目名(2017年度以降入学生)	科目名(2016年度以前入学生)
人文科学系	
漢字・漢文学A/B	漢字・漢文学
文芸創作講座A/B	文芸創作講座
日本芸能論A/B	日本芸能史論
身体表現論A/B	身体表現論(バレエの世界)
美術論A/B	美術論
芸術と人間A/B	芸術と人間
仏教思想論A/B	仏教思想論
行為の理論A/B	行為の理論
中国の民族と文化A/B	中国の民族と文化
ギリシャの文化と社会A/B	ギリシャの文化と社会
古代日本・中国の法と社会A/B	古代日本・中国の法と社会
アジア・太平洋島嶼国際関係史A/B	アジア・太平洋国際関係史
クイア・スタディーズA/B	クイア・スタディーズA/B (半期科目として履修可)
キリスト教思想史A/B	キリスト教思想論
異文化コミュニケーション論A/B	異文化コミュニケーション論
社会科学系	
法哲学A/B	法哲学
福祉社会論A/B	福祉社会論
人文地理学セミナーA/B	人文地理学セミナー
文化人類学方法論A/B	文化人類学方法論
政治思想A/B(2018年度をもって閉講)	政治思想(2019年度より教養ゼミⅠ/Ⅱと読替)
人間行動学A/B	人間行動学
沖縄を考えるA/B	総合講座ー沖縄を考えるー
グローバル社会の地域研究A/B(2019年度をもって閉講)	グローバル社会の地域研究(2019年度をもって閉講)
自然科学系	
自然環境のしくみとその変貌A/B	自然環境のしくみとその変貌
数理論理学A/B	論理って何だ?
計算と言語のしくみ	コンピュータの裏側
コンピュータと数理の活用	
確率の世界A/B	確率・統計
集合論A/B	集合論
相対性理論と宇宙A/B	相対性理論と宇宙
現代の錬金術A/B	現代の錬金術
原子核と素粒子A/B	原子核と素粒子ーミクロの世界ー
ボルボックス生物論A/B(2020年度新規開講)	ボルボックス生物論A/B (2020年度新規開講、半期科目として履修可)
生物哲学(2019年度をもって閉講)	生物哲学(2019年度をもって閉講)
生命情報科学(2019年度をもって閉講)	
イオンの科学A/B	イオンの科学
光と色の科学A/B	光と色の科学
物質の科学A/B	物質科学
ITリテラシー	ITリテラシー
コンピュータ科学	
現代科学の新しい目A/B	現代科学の新しい目
エネルギーを考えるA/B(2019年度をもって閉講)	エネルギーを考える(2019年度をもって閉講)
人間と地球環境	人間と地球環境
Human Impact on the Global Environment	Human Impact on the Global Environment

総合科目新旧対応表 2017年度以降入学生/2016年度以前入学生

科目名(2017年度以降入学生)	科目名(2016年度以前入学生)
言語系	
	Business English I / II
	English for Certifying Exams:High Intermediate I / II
	English for Certifying Exams:Advanced I / II
	Cultures of the English-Speaking World I / II
	Comparative Cultural Studies I / II
	Aspects of Modern Society I / II
第三外国語としてのドイツ語A/B	ドイツ語初級 I / II
ドイツ語コミュニケーション中級A/B	ドイツ語コミュニケーションⅢ/Ⅳ
留学ドイツ語A/B	留学ドイツ語 I / II
ドイツの思想A/B	ドイツの思想I/ II
ドイツ語圏の文学A/B	ドイツの文学 I / II
ドイツ語圏の芸術A/B	ドイツの芸術I/ II
比較文化A/B	比較文化I/ II
第三外国語としてのフランス語A/B	フランス語初級I/ II
上級フランス語A/B	フランス語中級I/ II
フランス語コミュニケーション(中・上級)A/B	フランス語コミュニケーションⅢ・Ⅳ
検定フランス語(中・上級)A/B	
フランス語表現法A/B	フランス語表現法I/ II
フランス語講読A/B	フランス語講読I/ II
第三外国語としてのロシア語A/B	ロシア語初級I/ II
第三外国語としてのロシア語中級A/B	ロシア語中級I/ II
実用ロシア語A/B	ロシア語コミュニケーションI/ II
ロシア語講読A/B	ロシア語講読I/ II
時事ロシア語A/B	時事ロシア語I/ II
第三外国語としての中国語A/B	中国語初級I/ II
第三外国語としての中国語中級A/B	中国語中級I/ II
中国語視聴覚中級A/B	
中国語コミュニケーション中級A/B	中国語コミュニケーションⅢ/Ⅳ
中国語講読A/B	中国語講読I/ II
中国語講読中級A/B	時事中国語I/ II
中国語作文中級A/B	中国語表現法Ⅲ/Ⅳ
資格中国語中級A/B	検定中国語Ⅲ/Ⅳ
資格中国語上級A/B	検定中国語Ⅲ/Ⅳ
中国語翻訳・通訳A/B	中国語コミュニケーションⅢ/Ⅳ
中国語翻訳・通訳C/D	中国語表現法Ⅲ/Ⅳ
第三外国語としてのスペイン語A/B	スペイン語初級I/ II
第三外国語としてのスペイン語中級A/B	スペイン語中級I/ II
スペイン語上級A/B	スペイン語上級I/ II
スペイン語コミュニケーション中級A/B	スペイン語コミュニケーションⅢ/Ⅳ
スペイン語講読A/B	
第三外国語としての朝鮮語A/B	朝鮮語初級I/ II
第三外国語としての朝鮮語中級	朝鮮語中級I
日本語コミュニケーションA/B	
健康・スポーツ科学系	
スポーツ科学A/B	スポーツ科学I/ II

総合科目新旧対応表 2017年度以降入学生/2016年度以前入学生

科目名 (2017年度以降入学生)	科目名 (2016年度以前入学生)
系共通	
教養ゼミⅠ/Ⅱ (文芸創作の実践A/B)	文章論－文章表現の実践
教養ゼミⅠ/Ⅱ (思想と文学)	
教養ゼミⅠ/Ⅱ (愛の労働－「ケアの倫理」の行方(1)/「共依存」の倫理－「ケアの」倫理の行方(2))	人間存在論
教養ゼミⅠ/Ⅱ (在日朝鮮人の歴史A/B)	在日朝鮮人の歴史
教養ゼミⅠ/Ⅱ (アラビア語入門)	アラブの言語と文化
教養ゼミⅠ/Ⅱ (アフロアジア入門－映像で見るアフロアジア世界－)	アフロアジア入門
教養ゼミⅠ/Ⅱ (USAにおける抵抗の思想/宗教、ナショナリズム、国家)	現代政治学の基礎
教養ゼミⅠ/Ⅱ (ゼロ金利と米中新冷戦/グローバリゼーションと資本主義の課題)	グローバル経済論
教養ゼミⅠ/Ⅱ (政治思想史古典精読：アメリカの独立を考える/ 政治思想史古典精読：ジェファソンの憲法思想を考える)	政治思想
教養ゼミⅠ/Ⅱ (心理的ウェルビーイングを考えるA/B)	人間発達学
教養ゼミⅠ/Ⅱ (現代社会の人権問題A/B)	
教養ゼミⅠ/Ⅱ (自然史～沖縄本島北部ヤンバル地域の自然と文化～)	自然史
教養ゼミⅠ/Ⅱ (生き物研究会)	バイオイメージングの世界
教養ゼミⅠ/Ⅱ (持続可能社会のための化学)	
教養ゼミⅠ/Ⅱ (Issues in Modern Japanese SocietyⅠ/Ⅱ)	
教養ゼミⅠ/Ⅱ (独仏文化論)	ドイツ語講読Ⅰ/Ⅱ
教養ゼミⅠ/Ⅱ (移民社会とポピュリズム)	
教養ゼミⅠ/Ⅱ (フランス語圏文化への招待/フランスの現代社会)	
教養ゼミⅠ/Ⅱ (中国の食文化)	
教養ゼミⅠ/Ⅱ (スペインの歴史)	
教養ゼミⅠ/Ⅱ (トレーニングを科学する(Basic course)/(Advanced course))	スポーツ科学Ⅰ/Ⅱ
教養ゼミⅠ/Ⅱ (脱運動不足と健康づくり (ベーシックコース) / (アドバンスコース))	スポーツ科学Ⅰ/Ⅱ
教養ゼミⅠ/Ⅱ (身体活動による心身の変化と健康(1)/(2))	

M E M O

M E M O

M E M O

M E M O



学生証番号	
氏 名	